

れた譯である。

さて、世界大戦は、かゝる政治的情勢の下に開始された。戦争反対をテーゼに持つ社会民主党が、何故カイゼル政府の好戦慾を援けたか。「ドイツ亡びては諸君の主義も主張も何の用をか爲す」といふ宰相ベートマン・ホルウエツヒの煽動に乗ぜられたこと、そして参戦の理由としてドイツはロシアに對して防禦戦を戦ふのだといふ苦しい説明をして、第一回五十億マルクの戦費と同額の軍事公債とに協賛を與へたのだ。だが一九一六年に至つて黨は明かに二分した。即ち政府支持者の多數派九十二名、政府反対者が小數派十八名で、これは社会民主労働黨として分離獨立するに至つたのである。

翌年三月、ビーター大帝の築いた北方の大帝國に一大革命が捲起つた。この事實が、ドイツの上下に深甚の衝動を與へたことは言ふまでもない。ドイツ政府は内政の民主的改革を約束するやからカイゼル自身、プロイセンに直接普通選挙制を布くべきことの詔書を下すやら、流石に狼狽の色は蔽ふべくもなかつた。これに正面から、誤魔化しだと云つて反対する純正マルクス派のスパルタクス團と合流して、その名もドイツ聯立社会民主黨と改めたのは前記諸數派である。

戦敗と革命來 戦争が長引いて、一九一七年から十八年頃になると、ドイツ國民の不満が眼に見えて著るしくなつて來た。食糧は欠乏する。物價は昂騰する。搦てゝ加へて戦争の見込みが覺束なくなつてきた。そこでカイゼルの官僚政府は氣が氣でない。何とか人心轉換策を講じなければならぬ、といふので、そこで一八年の春の西部戦線大攻勢の大芝居が演ぜられた譯である。だが、もう帝制ドイツの運命も終焉を告げてゐた。そこにはたゞ、實に六十六萬の死傷者が血に呻いて呪咀の聲を擧げるに過ぎなかつた。

シヤイデマン等の社会民主黨は、四箇條の要求を政府に提出した。内三箇條は社会主義の權利並にプロイセン政府の民主化等に關するものであつたが、第四項は「十一月九日正午以前に皇帝退位及び即位權放棄」といふ要求であつた。政府も、周囲の政治情勢はもう如何ともすることができなかつた。次いで皇帝も、皇太子もこれを聽くべく他の探るべき方途を見出し兼ねた。かくてドイツの革命は、大した流血の慘もなく、大體靜穩裡に完成されたのであつた。

ドイツの即時休戦は、十一月十一日聯合國側に提議された。即ちこゝに、ドイツ帝國の廢棄と共に、その軍國主義も聯合國の前に白旗を掲げたのである。

共和国の建設 一九一八年十一月九日、ウイルヘルム二世が退位するや、人民委員会は直ちに政府を占領し、帝國議會を解散し、共和国の設立を宣言した。諸聯邦の諸侯は或は廢せられ、或は自ら辭職し、ドイツはこゝに一切の過去を棄て、新しき前途に上るべき準備を了した。そこで人民委員会は、更に國民議會の召集を發布し、その議員選舉は翌年の一月を以て行はれた。比例代表制度により、二十歳以上の男女に、投票権を與へられた。結果は社會民主黨が第一黨となつて一六五の議席を獲得し、第二黨は中央黨九〇、第三黨はドイツ民主黨七五、保守黨が僅かに四二、獨立社會黨が二二、ドイツ人民黨二二、其他七といふ順序であつた。

國民議會は、翌二月六日ワイマールに召集、六日にして共和國初代の大統領として、社會民主黨のエーベルトを選んだ。彼はハイデルベルグの洋服屋の息子で、一鞍匠を業としてゐた者である。次いで首相にシャイデマン、法相にスンスベルグ、國防相ノスケ、改造相ウイツェル等々の臨時内閣が選任され、八月十一日ワイマール憲法が發布された。曰く、ドイツは共和制であるべきこと、主權は人民に屬すること、外交、國防、關稅、鐵道事業等は中央政府の權限に屬すること、聯邦内の各邦は共和制を採り、比例代表直接平等無記名投票による男女を通じての普通選舉

を布くべきこと等を規定してゐる。これで新共和国の屋臺骨は出來上がった譯である。

スバルタクス團の蜂起 さて、新共和国の骨組は何うにか出來上つたものゝ、これに壁をつけ天井を張り、名實共に確乎たる一國家を造り上ぐることは、決して容易の業ではない。こゝにシャイデルマンを首領とする假政府が、一先づその爲すべき仕事を爲し終つて、愈々内外の治政につくべく着手され、同時にその政府が日と共に威容を附加ふるに従つて、困難は更に困難を倍加し來たつた。即ち一九一九年一月におけるスバルタクス團の暴動蜂起である。

スバルタクス團といふのは、思想的に言へばマルクスズムの本流を汲むもの、ロシア革命以後ドイツ政界の表面に現はれ、社會民主黨の左派、獨立社會黨と派を同じうしたことは前述したところだ。假政府が組織された時から、反政府的旗幟を極めて鮮明にし、直ちに團では勞兵會議なるものを召集した。目的はロシア式のプロレタリア革命による共産主義社會の建設にある。最高指導者はリーブクネヒト。かくて假政府と勞兵會議の對立抗争は日と共に尖鋭化し、遂にそのベリリンにある革命委員は、假政府に對する武力闘争を議決した。果然、スバルタクス團の指令に應じて馳せ集まる者二十萬、新政府の組織、假政府の中心人物エーベルトの免職を議決、次いで

新聞社、電話局其の他の建築物を暴力を以て占領した。混乱と動搖と機關銃の響きは五日間に亘つてベルリン市中を震撼せしめた。だが国防相のノスケは既にこの事あるを豫期してゐた。豫て彼の訓練せる軍隊は、よくこの暴動を鎮定せしめることが出来た。そしてスパルタクス團の首領リーブクネヒト並にローザ・ルクセンブルグの兩名は捕へられ、次いで殴り殺されてしまつた。ノスケは後人に語つて言つた「もし統領の決心がついてをり、目的が正確に決まつてをつたならばベルリンはその日の夕暮までには彼等の掌中に歸してゐたであらう」と。

獨逸横行時代 何れの國でもさうであるやうに、革命に對する反革命が必然の附物であることを見えない。ドイツでも矢張りさうだつた。今スパルタクス團の暴動を漸く鎮定したかと思ふと次に勃發したのは國民聯盟と稱するカツプ反革命の暴動であつた。主力はビルチツク諸國に滞在してゐたフォン・デル・ゴルト將軍麾下の五萬の舊ドイツ鐵師團、これが一九二〇年一月ドイツに歸還するや、彼等は共和を思ひ、復辟を夢想し、この旗幟を掲げて活潑なる反動運動を開始したかくて三月になるや、エルハルト大尉に率ゐられた反革命軍は、堂々とベルリンに向つて進軍した。その装甲自動車には「妨ぐるものは死を以て購はれん」と大書し、獨逸を描いて、その表徴

とした。するとこれを聞いたノスケ麾下の軍隊の大部分は、忽ち寢返りを打つて反軍に加擔して了つた。時の總理パウエルを初め、大統領エーベルト以下政府要人は密にベルリンを脱出し、スツツガルトに通れて、こゝに國民議會を招集した。

ところでベルリンを占領したカツプ反動軍の新政府である。彼等は畢竟猿芝居の演出者に過ぎないことが間もなく暴露して了つた。彼等が、新政府を樹立しても、およそ政府を運用すべき智識を皆目持合せなかつた。これを見たパウエル政府は、全國の労働者に檄を飛ばせて、直ちに反革命に對する總罷業を指令した。ベルリンに於ては、水道、ガス、電気、電車、鐵道は一齊に停止し、ベルリン全體の飢餓は目前に迫つて事態頗る重大化した。斯うなつては反革命も持続出来ない。彼等は三日天下の醜態を演じてベルリンを明渡して了つた。

間もなく、ベルリンは再びエーベルト大統領とパウエル社會民主黨内閣とを迎へたのであつた。共和國最初の總選舉 パウエル内閣は、しかし間もなくカツプ反亂の責を引ひて辭職してしまつた。そして後繼者は同じく社民黨のヘルマン・ミュラー。更めて議會は自らを解體し、新憲法下におけるドイツ第一線の總選舉を行つた。結果社會民主黨は五十三名を減じて百十名となり、

獨立社會黨は一躍八十名に、即ち五十八名の大飛躍を示し、其他ドイツ國民黨六十五、ドイツ民主黨四十五、中央黨六十七、共產黨二等々となつて、國民がやゝ平凡主義に飽き、従つて左するものは左し、右するものは右したことを反映した。

茲に於てミュラー内閣は辭職し、中央黨のフエーレンバッハが、ドイツ人民、ドイツ民主兩黨を聯ねて内閣を組織することに成功した。しかしながら、新憲法下に於ける第一次責任内閣たるこの内閣の當面する問題は、同じく苦難に満ちたものだつた。帝制から共和制に乘換へたばかりの混沌たる内政の整理、外には特に舊聯合との複雑たる折衝がある。しかも問題は第一ルル事件、ベルリン佛國大使館に於ける國旗凌辱事件、上部シレシアに於ける佛軍襲撃事件等々、陸續として勃發する。加之ヴェルサイユ條約に依る聯合國への天文學的賠償金がある。二千二百六十億マルクである。「支拂へ」支拂へぬ」で、結局フランス軍は保證占領としてドイツ領の一部を占領してしまつた。こゝに於てフエーレンバッハ内閣は一年にして斃れたのである。

次ぎ／＼に倒るゝ内閣 次に一九二一年五月、同じく中央黨のウイルトと首班とする内閣が出来上つた。この内閣は、聯合國側の賠償案を鵜呑みにすることによつて、——但し聯合國のスパ

ー會議によつて千三百二十億マルクに減ぜられたが——兎に角表面の關する限り、一般的賠償問題に一段落をつけた。かゝるところに、上部シレシア歸屬問題なるものが暗礁となつて、この内閣も亦翌二二年三月倒れて了つた。

そこで彼を襲ふたのが第二次ウイルト内閣、それから八月後にはドイツ人民黨のクノーを首相とする内閣に代つてゐた。クノー内閣は、賠償問題に對して一九二四年までのモラトリウムを提議した。フランスはカン／＼に怒つてドイツのルール地方を占領して了ふ。クノー内閣はこれに對して消極的抵抗を以てしたが効果がなく、結局一九二三年八月になつて、社會民主黨の不信任案提出を機會に辭職した。

次はストレーゼマン内閣、所謂學國一致内閣である。この内閣はヒットラーの叛亂、即ちバイエルンの白化を鎮壓し、ザクセンの赤化、即ちツアイグネル一派の共和無産者政府の樹立を一掃したりしたが、その最も力癩を入れたのはマルクの安定、換言すれば國民經濟生活の安定であつた。だが、この内閣も自ら造つた非常權力法案が問題となつて、同年の十二月にはもう他の内閣に椅子を明渡さねばならぬ様な始末であつた。

かくの如く内閣は轉々として更代した。以て如何に革命後ドイツの内治外交が、苦難に充ち満ちた荆棘の路であつたかが想像され得るのである。

ヒンデンブルグ大統領 内閣の頻々たる移動と共に、ドイツ國內に於ける多くの政黨は、又日と共にその消長を異にした。殊に一九二四年五月における第二回總選舉に於ては、合同社會民主黨一〇三、ドイツ國民黨一〇二、中央黨六四、共產黨五九、ドイツ人民黨四四、國權黨二八、ドイツ民主黨二五、バイエルン人民黨一五等々となつて、一九二〇年には僅か二名であつた共產黨が一躍五九名に達したことは、注目すべき現象であつた。

斯かるところに、ドイツ共和國初代の大統領エーベルトが死んだ。早速次期大統領を選出せねばならぬ。エーベルトはワイマール國民議會によつて選ばれた大統領であつたが、以後後繼者の選舉は、憲法の規定により國民の直接投票である。この意味からだけでも國民の血を湧かすに充分であるのに、大統領の人選如何によつて或は共和主義に罅が入るやうなことがないとも限らないといふ、ホヤ／＼の共和國としての當然の機も加はつて、こゝに息づまるやうな自然的大統領總選舉戦が行はれた。

結果は世界驚異の種子となつた。第二回決戦投票によつて、實にその月桂冠を獲たものは、他ならず彼の大戰に猛將の名を轟かした老ヒンデンブルグ元帥であつたのだ。老元帥の閱歴からみて、ドイツ人の或るもの、乃至世界の少からぬ部分は、其後餘程の時を経過するまでは、この大統領に對して警戒の瞳を放たざるを得なかつたのである。

老元帥の「軍服からフロックへ」の轉向振りには、實に鮮かなものであつた。彼が平和主義者になりきつてゐることは、彼が既に「余はカイゼルの軍人にあらず、ドイツ國の軍人なり」と云つてゐることで解るのである。

漸次的整頓へ さて、新大統領ヒンデンブルグ元帥の下にも、ドイツの國歩艱難は緩みなき程度の下にあつた。一九二五年には、共和政體を顛覆し、獨裁官を任じ、ヴェルサイユ條約を始めドーズ案、ロカルノ條約を破棄することを以て目的とする反革命團體の大陰謀事件があり、商船旗に雙頭の鷲をつけるか、つけぬかと云ふ、一見些細な問題も左右兩黨の白熱的な政争を捲起し國論は事毎に沸騰して物情常に騒然たるものがあつた。

それにも拘らず、次ぎ／＼に登場する閣員たちは、常に身を以て政務に執掌し、祖國ドイツの

安定と、復興とに献身的な成果を示して行つた。かくてドイツは、爾後衰滅甚だしきうちにも、刻苦して所定の賠償金を支拂ひつゝあつたが、一九二九年に至り、聯合國では更にドイツの窮境を緩和すべく新協定の必要が高調せられ、二月パリに列國會議が開かれ、アメリカ委員ヤングの提案を用ひて、その賠償の方法を更改するところがあり、ためにドイツ經濟界も略安定の域に入つた。ドイツがよく、共產主義の宣傳並にその影響にも拘らず、また人心の不安動搖、財政の窮乏混亂にも拘らず、總じて中正穩健なる改良主義的社會主義の治政を進め得、そしてドイツ崩壞の危き淵を脱し得たることは、一に歴代内閣の政治的手腕と、大統領の嚴正公平を旨とした施政に因るところである。

ヒットラーの覇權 然るところ、ドイツは近年頗にその勢力を増大してきたものにナチス運動があつた。その根據地はバイエルンで、同地方は王政復古的傾向、従つて反プロイセン的傾向が最も濃厚である。この團體は、ヒットラー之を總裁し、國民社會主義労働黨と稱して、マルクス主義的國際社會主義に對して、敢然挑戰の旗を振り翳し、唯物的世界觀に對して觀念的理想主義を、階級闘争主義に對して階級協調主義を、個人主義的國家觀に對して有機的國家觀を以てする

要するに國粹的民族主義を根據とする一種のファシズム運動であつた。その組織する突撃隊なる武装軍は、隨所に果敢なる敵黨襲撃を企て、は流血の慘を繰返し、好んで暴力的政權奪取に狂奔してゐたが、つひに議會に多數を制し一九三三年には、黨主ヒットラーが首相となつて内閣を組織するに至つた

ヒットラーが、その政權を掌握するや、斷乎敵黨を彈壓して潰滅せしめ、ナチス一黨を以て政權を獨裁した。同時にその對外政策は、急激に轉換して強硬となり、對佛軍備均等の要求、ヴェルサイユ媾和條約改訂の要求等を宣言して、フランス及び列國をして頭痛の種たらしめた。かくて一九三四年八月、ヒンブルグ大統領の逝くや、ヒットラーはつひに憲法を改正して、自らドイツ大統領の椅子につき、今やその地位の永久的安泰工作を完了した彼は、愈々その独自の政策を露骨に強行したのであつた。

外 交

獨佛關係の危險性

世界大戰前歐洲の外交は獨・佛を中心として廻轉してゐた。即ちドイツで

は一八七九年、ビスマルクがオーストリアと議してこれと防禦同盟を結び、一八八二年更にイタリアを同盟に加盟することによつてこゝに三國同盟が結成された。ビスマルクは一面フランスに備へると共にロシアに當り、以て普佛戦争後の歐洲に於ける自國の強化と地位の安固を策したのである。

一方これに對して、一八九四年に先づ露・佛同盟が成立し、一九〇七年に至つてイギリスがロシアと協商を結ぶに及んで、茲に新に英・佛・露の三國協商が成立した。

歐洲四十餘年の平和は、この二箇の武装せる陣營によつて保たれた。對立するこの二箇の陣營の勢力が相均衡するの間、そこに平和が存在したのである。

ドイツが世界大戦前に於て、歐洲、否、世界の國際政治に一個の重點を爲して居たことは、戦後に於ても何等變りはない。従つて又、戦後歐洲の國際的外交も、獨佛を中心として廻轉してゐるのである。

ドイツを繞る外交諸問題中、最も顯著なのはフランスに關係を持つものである。ドイツの復興の眼醒ましいのは、今こゝに説くまでもない。さてその復興が完成された時、ドイツとフランス

との關係か、果して現在の如くあり得るや否や、一八七〇年普佛戦争にフランスが負け、一九一四年——一八年の世界大戦でドイツが負け、戦ひは一勝一敗で怨みつこなしだと考へるや否や。

ドイツ人が、帝制より共和制に鞍替へしたとしても、その國民性をまで急變したものと考へることは痴愚である。彼等にして、今後その家を整理し、内容を充實して、最早負け戦さを戦ふの心配なしと見極めがついた時でも、フランスに復讐しないと斷言することは、可成りの冒險でなければならぬ。宜なる哉、躍起となつて「ドイツ復讐來」と叫び、恐獨病に戦慄しつゝあるのはフランスである。従つてフランスの國策はドイツを重點とする。ドイツの外交が、主としてフランスに關係する所以である。

ロカルノ條約とは 英佛その他の舊聯合國に従へば、世界戦争後の世界に、重大な光明を齎したる二つのうちの一つであるとある。二つのうちの他の一つが、かの國際聯盟であることは云ふまでもない。

ロカルノ條約(一九二五年十二月)は、(一)英獨佛伊白相互保障條約、(二)獨白仲裁條約、(三)獨佛仲裁條約、等々其他九つもの條約から成立つてゐる。戦後のドイツはもう何事も言はなかつ

た。七年間に亘りヴェルサイユ條約の不平を鳴らし、公然として攻撃の矢を放つて居たドイツが急に鳴りを鎮めてこの條約に調印した。一般には、ロカルノ條約は、舊聯合國側の提案されたもの、従つてこの條約は舊聯合國側の成功だと思つてゐる。ところが事實は反對で、條約そのものではないが、條約の基礎原案はドイツが提案したものである。ドイツは自ら活きんとして、更に戦争に喪へるところを取返さんとして、こゝにロカルノ條約の原案を作り、捨身になつて投げ出したのである。この意味から、若し成功と言ふならば、ドイツ側にあると言つた方が適切であるかくてロカルノ條約が出来、次いでドイツの國際聯盟の加入が事實となり、兎も角表面的には獨佛が非常に接近し、その結果獨佛・白・ルクセンブルグ間に、鋼鐵カルテルが出来たり、獨佛間にポツタシーシ協定が出来たり、同じく電氣工業協定、化學工業トラストが組織されたりして逆にドイツはロカルノ條約を自國經濟復興の具に利用することゝなつたのである。ストレーゼマン協調外交は、かくして一應ドイツを覆滅より救出したのであつた。

條約改訂の外交 戰敗國ドイツは、兎も角もロカルノ條約を承服した。しかしながら、それは當面の危急存亡から脱すべき方便の、暫定的性質の承服であつて、かくてその不満とするところ

は一に外交的手腕によつて解決すべく努力することゝなつた。ドイツが條約改訂を要求し、要求するであらう點は多々存在する。そのうちにも、西プロイセンを南から北方バルチック海に至るまでを貫通して、章魚の手の如く延びてゐる所謂ポーランドの廻廊、これあるがために、ドイツの他の部文がその一部であるところの東プロイセンから、全然斷ち切られるといふやうな東部國境である。ドイツとしては、到底忍ぶべからざる問題であらう。

次にシレシアの問題である。上部シレシアは、平和條約により、人民の一般投票によつて、その歸屬が決定されることになつてゐた。一九二一年その投票は行はれ、ドイツ側が六割の票數を得て、當然ドイツ領に歸屬すべきであるに拘らず、フランス側の作爲によつて、上部シレシアの内千二百四十平方マイル、人口約九十萬の地域を、ポーランドの附屬として決定してしまつた。ドイツとしては、無論これに對して未だ有効なる抗議を申込むの實力がない。しかし乍ら、ストレーゼマンが、機に觸れ折りに應じて、國際聯盟に間接にこれ等の問題を提起しつゝあるのは、ドイツ外交の片鱗を示したものである。

ロシアの重要性 戰後ドイツはロシアに對して親密政策を採つた。ドイツはロシアを以て、食

糧原料の供給地並びにその製品の販路地と考へてゐる。軍艦を取上げられ、商船を引渡すことを餘儀なくされ、鐵を喪ひ石炭カリーを奪はれたドイツは、ロシアを除いて斯る補充を與へ得る國を見出し得なかつた。即ちドイツに取つては、ロシアと手を握ることは、選擇でなくて必要であつた。すなはち、一九二二年、ラツパロ條約、一九二六年、中立條約、この二つを締結して、(一)ドイツはロシアを承認し、(二)ブレスト・リトウスク條約を取消し、(三)大戰の公私債務は相殺し、(四)平和條約による賠償は放棄、(五)相互間に於ける最惠國條項を設定した。ドイツが世界に先だつて、ロシアを承認したことは、特に注目すべきことだつた。

ところがこのドイツの親露外交は、フランスやイギリスをひどく怒らせた。何が故に舊聯合國は獨。露接近を嫌惡するか。要するに、「俄るたるドイツが、怒れるロシアに騎する」といふ、ロイド・ジョージの言葉が示すやうに、新たなる歐洲の危機がこゝに伏在するからである、と考へたからである。

だが、ドイツは之に對して、「ドイツは東西西歐を聯ぬる橋梁である」と言つて、ロカルノ條約や國際聯盟加入の爲めに、決してロシアを棄てるものではない意味を表示したのであつた。

ドーズ案よりヤング案まで ドイツの能力を顧みない、天文學的數字の戰事賠償金(一九二〇年スパー會議にて減額されたもの)、千三百二十一億金マルク(約六百六十億圓)三十年完納の舊聯合國の強要は宛も一時に牛乳を取るために、その牝牛を殺して了つたといふ童話その儘の愚學であつた。ドイツ國內の物資は缺乏する。産業の原動力は不足する。不換紙幣の濫發によるマルクの底無き下落、そこでもうドイツは全く經濟的に破滅した。換言すれば、賠償金は一文も拂へないといふことである。この事は、しかし同時に聯合國の悲鳴であつた。

大體かゝる實情からドーズ案が出来上つた。ドーズ案とは、一言にして言へば、取れるやうにして取る主義の改訂だつた。これは、一九二五年から實施され、どうやら四年間は持ちこたへたが、一九二九年目には再た困難となつた。そこで更に一九二九年八月、現行のヤング案なるものが出来上つたのである。ヤング案は賠償總額を一千三百二十億マルクから、その殆んど四分の一である三百五十八億マルクに減じた。償却期限も三十ヶ年みら五十八ヶ年に延長され、年額十七億マルク程度となつて、昔日の賠償金に比すれば實に雲泥の相違となつた。如何に丸腰の強味とは言ひ乍ら、隱忍自重終に能く時局を、こゝまで展開せしむるに成功したドイツ人のネバリの

強さに驚歎させられざるを得ない。正にドイツは、戦争に敗けたが、外交に勝利を得つゝあるのである。

植民地を選せ！ 世界戦争により、ドイツの喪つた植民地は、總計約十二萬平方マイル、人口一千五百萬。それ等の植民地所有権は國際聯盟にあるのだから、ドイツが國際聯盟に加入することによつて、ドイツも亦自働的に共同所有者となつた譯だ。

そこで外相ストレーゼマンが、「舊ドイツ植民地は、何れもドイツの統治を謳歌してゐる。これドイツが植民國であることを證明すると同時に、舊獨逸植民地が、ドイツの委任統治に移さるべき有力な理由である」と言つて、ドイツの目的が那邊にあるかについて、極めて明晰なる要求を聯盟否世界に向つて投げ掛けたのである。これに對してフランスの新聞は何れも眞ッ赤になつて怒つたが要するに、ドイツの要求は、世界戦争の燃を戦はずして戻さんとするものであるから、成程御尤もな次第である。

だが、ドイツのこの要望は、一ストレーゼマンに限らない。恐らく奪はれたその瞬間から現在ヒットラーの治世に至るまでの、一貫した全國民の聲であらう。ノスケ曰く「ドイツはその舊植

民地の返還さるべき道徳上の権利を持つ」と。左黨の連中も「ドイツを植民地運動から除外することは、不當極まることである」「人口原料兩問題解決のため、我等は植民地を獲得せなければならぬ」等々々々。

問題は、たゞ時期が解決するであらう。

經濟

科學的經濟とドイツ魂 「英國は海を支配してゐる。フランスは陸を支配してゐる。そしてプロイセンは空を支配してゐる」——空を支配してゐるといふ意味は、茫然と指を啣へて空を仰いでゐるといふのである。誰かの有名な批評の言葉だ。但し、これはもう今から百五十年前もの話である。

ドイツ資本主義經濟の發達は、確かに英・米に後れて世界の舞臺に登場した。封建的手工業國乃至農業國の域から脱脚して、近世産業國となつたのは、實に前世紀後半の事に屬するのである。そしてそれは、政治上に於けるドイツ民族統一の機運から生じたものと云へるが、經濟上に於いて

ては、ドイツ諸邦の關稅同盟の結成、鐵道その他の交通通信網の發達に負ふところが多く、而して經濟上にその人を求むるならば、フリードリツヒ・リストの如き最も重要な指導的人物であつた。そのリスト流の經濟主義が、ビスマルクの鐵腕によつて、徹底的に遂行せられ、十九世紀末から二十世紀にかけての、ドイツ軍國主義の地馴らしが出来上つたのであつた。又その間に於けるドイツ産業の革命的發展は、マルクスの革命思想を生み出す程度にまで進んだものであつた。やがてドイツは、ヨーロッパの中原を壓して、世界制覇のために聯合軍を向ふに廻して四ヶ年、半も戦つたのである。少々焦り過ぎた軍國資本主義は、慘めにも粉碎せられた。ドイツは戰敗によつて國土を喪ひ、植民地を捲き上られ、重要産業を奪はれ武器を失ひ、商船を取り上られ丸裸にされた。搗て加ふる、天文學的數量の賠償金がある。總てを奪はれ、足場を失つたドイツ人が、如何にしてこの艱難を克服し得るべきか。曰く、たゞドイツ魂があるばかりだ。科學的精神と、科學的方法があるばかりだ。創造と實用の合致こそ、曾ては大軍國主義を實現せしめた所の源泉であつた。今日も猶、戰と革命の下敷となつたドイツをして、復興の曙光を仰ぎ見せしむるものは、實にこの合理を追究して止まざるの精神でなければならぬ。

難關の克服 世界大戰における戰敗は、ドイツの國體を變革したが、その經濟組織には何の變りがなかつた。たゞ幾度か破滅し幾度か破滅の危機に頻したのである。その都度ドイツは最後の力をふるつて起ち、これが是正の合理的方法を全力的に講じたのである。

戰後ドイツの遭遇した多くの經濟的危機のうち、次の三つはその最も難事とするところのものであつた。(一)インフレーション、即ち通貨の無制限的膨脹、(二)賠償問題、(三)資本の缺乏とである。

もと／＼ドイツは、戰爭の當初から通貨膨脹主義で通して來た。といふのは戰勝の自信が強かつたから、自國の紙幣價值の下落など豫想もせず、一切の通貨の發行によつて始末してゐたのである。それが戰敗によつて事情は全く一變した。にも拘はらず、財政上の苦痛は背に腹は換へられず、膨脹に膨脹を重ねて終に無價値同様となるに至らしめ、ドイツ經濟は當に没落の淵に臨んだ。時に一九二三年十一月、かの有名なるレンテンマルクなる紙幣が藏相ヘリフエリツヒによつて創案實施された。紙幣十億マルクを一レンテンマルクに定めたのである。即ち新平價を樹立して、在來の通貨を極端に切下げた事により、危くこの危機を脱することが出来たのである。

次に賠償問題である。ドイツの経済力を顧みない、敵愾心に基く膨大な賠償金は、永續の可能性がなかつた。ドイツは丸腰で起つて、どうでもするがいと叫んだ。そこでアメリカ銀行家ドーズの肝入で出来上つたのが、ドーズ案である。だが、これを以てドイツ更生の曙光を與へたものとは言ひながら、未だ眞の解決には道が遠かつた。戦後十年なほ歐洲に漂ひつゝある暗雲を一掃し、よりドイツの経済實勢に即した賠償金が案出せられなければならぬ。かくしてドーズ案より五年後、一九二九に至つてヤング案なるものが出来たのである。これによつて、先づドイツ経済界の安定となり、茲にドイツ経済の復興は、一展開を擱む機会に至つたのである。

資本の缺乏は、又ドイツ最大の苦痛であつた。戦時状態から平和状態に入り、例へば武器製造を主としたクルップ工場を飛行機、自動車工場となすが如き、其他何をおいても國內産業開發のためには資本が要つた。國內資本はすでに枯渇してゐる。外資を輸入するより外に方途はないドーズ案以後、それが可能となり、財界回生の曙光となつたのである。

膨脹する経済力 ドイツは夙に農工商併立主義の経済政策を指導原理として、新たなる經濟復興に努力するところあつたが、今大戰前後の情勢を職業別人口割合に依つて比較し見れば、

職業別	一八八二年	一九二五年
農業及林業	四〇・〇	二三・〇
製造工業	三五・〇	四一・五
商業及交通業	九・七	一六・九
公務、軍事、教育、自由職業	四・三	五・一
家庭勤務、其他	五・七	三・一
無職	四・七	九・一
總人口	一〇〇・〇	一〇〇・〇

即ち大戰前と後に於けるドイツの経済が、如何なる方面に向つて動いてゐるかを觀取し得るのである。農業人口は減少し、製造工業及び商業交通人口が増加しつゝある。この簡單なる數字によつて、ドイツが幾多の政治的困難に遭遇しながらも、経済的には商工業化方面にその歩を緩めることなく、着々として躍進しつゝあることを認識しなければならぬ。

猶農業に於ては空中窒素の大量生産、石炭の液體化による燃料の革命、自動車飛行機等の製産

擴大、レンズその他の硝子工業を始め、織物、製紙等々の發達は目ざましく、現在米國を除けば工業上の設備と工業生産力と更に將來における工業發達の豫想から云つて、ドイツは既に他國に凌駕せる有様なのである。

産業の合理化 天産が豊かではなく、その上に戦敗によつて植民地は奪はれ、領土を狭められて重要原料の産地を喪つたドイツは、その唯一の更生方法としては自ら腦漿を絞るより他になかつた。こゝにドイツ人の科學的精神は、更生の指導者として新たな使命を發揮して顯はれて來たのである。その一適例としては實に産業の合理化である。産業合理化こそ、ドイツ産業を奈落の底から救ひ出した力であつた。

その「國立經濟化審議會」なるものは、商工業家、技術家、學者を委員として成立し、産業合理化の研究と宣傳を任務とするものであつた。曰く「合理化とは、技術及び計畫的組織によつて經濟能率を増進せしめ、やがて財産の増量低廉改良を來す限り、あらゆる方法を適用することである」。要するに現代の資本家的經濟社會に於て、出來るだけ理性を適用し、科學的方法を研究して、事業々々をその基礎に於て鞏固にしようといふ努力である。即ち第一には、生産並びに販賣

の統制及び管理であり、第二には生産品の技術的單純化、第三は生産の方法や設備の整理刷新である。

ドイツが早くも國際市場において、優に他の産業國と雄に競ふに至れるの事實は、實にこの産業合理化の徹底にあると云はなければならぬ。

軍 備

他日の飛躍を根柢に 世界大戰におけるドイツの軍備並びにその強大を前に語るべき要はない戦後のドイツが、その平和條約によつて、あらゆる方面に至嚴の桎梏を加へられ、特に大戰の原因をその軍國主義にあるとせられたドイツは、軍備に於て全く無に等しき状態に制約せられたのである。そのドイツが、今如何に苦慮を廻しつゝあるか。

ドイツの上下が、決して強要せられた平和條約の遵奉者でないことは、既に世界周知の事實である。國防方面に於ても、表面平和條約の制限を實施しつゝ、尙且つ有事の秋は、大陸軍乃至大海軍たらしむべき準備工作を専念しつゝあるのである。陸軍長官ゼークト大將は「諸兵聯合の指

揮及び戦闘」なる軍令書の冒頭に、次の如き訓示を掲げてゐる。

「本令は平和條約に依る強制せられたる十萬の陸軍に適應する如く定められたるものではない。否現時世界に於ける強大國の兵力編成裝備を基準として定められたものである」

かゝるドイツ陸軍の教育方針は、實にかの帝制ドイツの方針と何等異なることなきを裏書きするものではないか。即ち、現在の國防軍十萬及び警察隊十五萬は主として幹部を使用し、戦時數百萬の在郷歴戦者を召集し、立ちどころに強大なる野戦軍を編成し得るのである。

兵力運用の實狀 現在ドイツは、次の如き諸點に着眼して建設せられてゐる。

- (イ) 力を幹部教育者及び警察隊の訓練に用ふることに。
- (ロ) 統帥及び訓練を統一し、確乎たる軍隊を編成することに。
- (ハ) 武器彈藥材料の貯藏に努力することに。

——此等の材料は條約に従ひ、或は破壊し、或は聯合國に引渡されて了つた。然し前述の方針に基き、政府は極力多數の兵器を貯藏することに努めてゐるものゝ如くである。

- (ニ) 多數の馬匹を繋蓄すること——馬匹繋蓄に關する條約上の制限がないので、多數の馬匹

を繋蓄して有事の日に備へてゐる。

- (ホ) 通信隊自動車隊の施設に努むること。

(ヘ) 航空機其他新式兵器材料の發明制作に努力すること。——條約によりタンク、重砲、航空機等の軍の機械化に制限を加へられたドイツは、その國民の天稟たる科學的智識慾を傾けて、新式有爲の兵器材料を發明し、すでに多くの新兵器を實地に應用しつゝある。

化學戰の準備と軍隊補助機關 ヴエルサイユ條約によつて、ドイツは航空隊の保有と禁ぜられたが、一九二六年、將校がスポーツとして飛行機を操縦することを許可すべしとして、ドイツは二百名の飛行將校を舊聯合國に要求した。聯合國は遂に三十六名を限り之を許可し、警察隊でもその任務を鑑みて五十名の飛行士養成を許可したのである。従つて此等飛行士を軍事的に教育することは敢て不可能ではない。又民間飛行機製作に關しては、九箇條に制限規定が設けられてゐたのであるが、是れ又一九二八年春解禁せられた。有事の際民間航空を轉じて軍用となさんか、假令平時航空隊を有せずとも、偉大なる能力を發揮し得るべきは言ふまでもない。

ドイツは又、平和條約によつて明確に毒ガスの使用を禁止されてゐる。然し平時科學工業、就

中その染料工業の非常に發達した國であるから、一朝戦争の場合には急速にその多量額を製出し得るのである。且つ現在に於ても、暗々裡に之が研究に怠りなく、同時にその防護法の訓練、防毒面の配給等に周到の用意がなされてゐる。のみならずその戦事用貯藏品を整備し、尙軍馬、軍犬軍用鳩に至るまで防毒具を備へてゐる。

さて、前述のやうにドイツ軍は、その兵力を不自然に制限せられた結果として、各種の手段を盡してその威力の倍増に努めてゐるが、警察隊の如きは正に軍隊の補助機關たるものであつて、その總數十五萬は、舊獨軍に屬した歴戦の將士から成り、その機關銃を有する武装の如きは、殆んど軍隊に等しき能力を有するものである。

その他ドイツ國內には、各地に自衛團、應急技術團、ドイツ將校同盟團等々、多くの軍事的性質を帯びる團體が散在し、此等は皆舊獨の將士によつて組織せられ、官憲の庇護を受けて存在してゐるのである。

小粒で辛い戦闘艦 海軍に於ても、同様の政策がとられつゝある。即ち、如何にせば許された範圍に於て、最も能率的なる。最も効果的なる軍艦を造ることが出来るかといふことに歸する。

ドイツ海軍當局は、財政の關係上一九二一年以來、先づ比較的經費及び研究を要せざる補助艦の建造に着手し、一九二八年夏戦艦「プロエセン」代艦を起工したのであつた。此軍艦は工夫に工夫を重ねて創作されたもので、大型巡洋艦と云ふよりは、小型戦闘艦と呼ぶべきものである。キールのドイツ工廠で起工され、排水量僅かに一萬噸なるに拘らず、十一吋九門を三聯装として搭載せる點において、斷然從來の一萬噸艦の型と格を破つてゐる。而して致命部の甲板には、相當厚い鋼板が張られてゐるが、更に多くの部分はアルミニウムを主とする輕合金即ちデュラルミン等を使用してゐる。又劃期的一進歩と云ふべきは、一切鉄を用ひず、電気溶接で工作したることである。従つて重量の節約は五五〇噸に達すると言はれてゐる。エンヂンはディーゼル・モーターを採用し、速力二六節、一九三二年秋之が完成を見た。列國はこの新鋭の小型戦闘艦に對し驚異の瞳を睜つてゐるのである。

かくてドイツ海軍は、一方に於ては制限内代艦の建造に努め、機力の整備を圖ると共に、他方においては現有艦隊を以て鋭意訓練研究を續け、乗員の實力向上を期し、幾多の困難を排除しつゝ着々として復興途上に邁進しつゝあるのである。蓋しその造艦造兵その技術上に現はす科學的

叡智に至つては、すでに列強海軍を摩するものがあると信するものである。

【文化篇】

科 學

ドイツ勃興の鍵は科學に 前世紀の初頭に於ては、化學といふ學問は英佛に育ち、是等の國には巨匠星の如く現はれたが、ドイツには全く見る影もなかつた。當時ギーセン大學あたりでは、神學者が化學を教へてゐたと言はれてゐる。それが一八二四年、かの有名なリービッヒがパリ留學から歸朝して、その獨特の研究法と教育法とを以てドイツの化學界に臨むや、果然ドイツ學界は勃興の一路を辿り、遂に今日のドイツの科學及びその應用たる工業をして、世界に冠絶せしむるの素因を作るに至らしめたのであつた。

大戰後ドイツは、戰爭の創痍を治し、復興の目的を達する爲めには、如何なる方法を探るべきかについて考究した。國民は異口同音に答へた。「それは唯學問の發達を計る以外に存在しない。

國力の回復を促進せんがためには、全力を擧げて人材を養成し、學術工業の研究を盛んにし、他國に優越した智力と材能を造るにある」

會てウイヘルム研究所の創設に當つて、

「ドイツ帝國は二つの大きな柱によつて支へられてゐる。一つは兵力であり他は學術である」と謳はれたが、戦後に在つては「一つの柱なる兵力は地に塗れた。我等は他の柱なる學術を培ひ、之を強く大きくせねばならぬ」と叫ぶるゝに到つたのである。

かくの如き方針は、戦後窮乏のどん底にあるに拘らず、科學研究には尙多額の支出を爲し、全力を擧げて之が振興と人材の養成に努めた。即ち新大學、新研究所は増設され舊設の大學は充實擴張された。特に政府は學者に對する研究費を豊富にし、秀俊なる若き學徒に對しては十分にその才能を延ばさしむべく援助を怠らなかつた。戦前十箇所のカイゼル・ウイヘルム研究所は、戦後三十箇所に増設され、その研究費は五百萬マルク（二百五十萬圓）を越ゆるに至り、その他大學に於ける研究費補助、秀才獎學金は年々八百萬マルク（四百萬圓）を支出し、逐年激増を示してゐるといふ素晴らしさである。

ドイツに於ける爲政者の炯眼、國民一般の覺醒は實に斯くの如くなる結果、ドイツの學術をして戦後の疲弊にも拘らず、天馬空に駆け大鵬空に翔くるの思ひあらしむるのも決して偶然ではないのである。

専門智識の綜合化 戦前に於けるドイツ科學の花は、化學においてその最も艷麗なるものを見た。學徒は我も我もと科學の方面に走り、大學に於ける年々のドクトル試験の通過數は夥しき數に達した。この傾向は現代に於て更に加速度に増し、年々一千名以上の新進化學者が輩出せられつゝある。

蓋し學界に於ける巨人の輩出は、必ずしもドイツに限られた事ではなく、天才的ラテン民族の英米國人中にも、その多くの巨人を見る。然るに現代ドイツの學界に於けるが如く、第一流の學者の外に第二第三の學者の群が無數に居て、各々その分に應じて學術の進歩發達に貢献してゐるの狀態は、絶對に他國の見る能はざる所である。實に學者の數に於て、研究成績の量に於て、ドイツに比肩し得る國は他に存在しないと云ひ得るのである。その必然の結果として、限られたる或る専門の領域内に盤居せず、進んで他の専門の領域内に進出し、異なりたる専門的智識の綜合

による新たな見地からの研究を成し遂げ、學術の進歩に著しき成果を挙げつゝある。

かゝるドイツ科學界の風潮は、又必然に各専門學術の間に一定の境界を認められない程の學問的熔融作用が起り、相互的に緊密な連絡關係が生ずるに至つた。例へばノーベル受賞者たるネルンスト教授は、ゲツチンゲン大學並びにベルリン大學の化學教授であつたが、次いで國立物理工學研究所長として物理學の研究を統率し、現にベルリン大學物理學教室の長としてこゝでは彼は物理學者である。同じくノーベル受賞者たるハーバー教授は、もと有機化學者として出發したが次で瓦斯工業染色工業の實地に手を染めて新染色法を發明し、中頃は電氣化學の泰斗として、世界の尖端に幾多の輝かしい業績を發表し、今日物理化學者として學界に活躍されてゐる。又有有機化學者に於ける世界的巨匠井ルンテツター教授は、現代では、物理化學者として物理學上に於ける未到の境地を開拓しつゝある。等々々。かく世界的なる學者が、如何に一専門の領域を離れたる境域に、新なる研究の歩を進めつゝあるか、實にドイツには、物理學者であると同時に化學者であり、生物學者であると同時に礦物學者であり、化學者だか物理學者だか地質學者だか分らぬと言つたやうな學者が無數にあるのである。この顯著なるドイツ科學界の特長は、現代のドイツ

科學を論ずる者の注目すべき點であつて、科學は又かゝる新しい見地からの研究によつて、新しい進歩發見に導かれて行き、急速の發達を遂ぐるものと言ひ得るのである。

科學の民衆化 前述のやうに、ドイツには一流の學者以外に、二流三流の學徒が年々無數に輩出せられてゐる。天才に依つて科學が飛躍的に發展することは勿論であるが、天才的ならざる多數の學者の倦まざる努力も、亦科學の進歩に貢献するところ甚大なるものである。又多數の學徒の輩出は、勢ひ科學を民衆化し、民衆化することによつて、その進歩發達に拍車を加ふるものである。

現代ドイツに於ける一般民衆の、科學に對する親しみと科學研究に對する同情とは、實に他の何れの國に見られぬ程度に發達してゐる。この事はしかし、一朝一夕に容易に出來上つたものではない。實際科學智識を民衆に植付け、發明發見に到達する科學者の苦心を告げ、發明發見が如何にして生るゝか、研究の結果は人類の福祉を如何に増進したか、等々の事柄に關して、十分の普及理解を爲さしむるためには、又現代ドイツの學者爲政者の最も苦心してゐるところである。

一例を挙げれば戦後ミュンヘン市に建築された科學博物館の如きである。これは小學校から大

學までの凡ゆる學生、また労働者から支配人までの凡ゆる工業關係者乃至法律家藝術家文學者などに至るまで、すべての階級の民衆に、科學の眞髓を興味と利益とを兼ねて理解せしむるために至れり盡せりの設備をした世界無比の博物館である。此處に行けば、世界の凡ゆる重要な發明や最近の科學の進歩は悉く誰にも容易に理解さるゝやうに出來て居り、素人にも文人にも實に興味深く學ばるゝやうになつてゐる。その規模の大なる點から云つても、實に世界に冠たるものであつて、陳列館は延坪三萬平方メートル、各室巡回の延長距離十五キロメートル、經常費二十萬マルク、入場者數一ヶ所百萬に達する。しかもこれが戦敗疲弊のドイツ國の仕事である。これによつて民衆は、科學及び工業に就て、一層深遠なる洞察と理解を得、將來の科學並に工業の發達に對して一層の情熱と期待とを持つやうになるのである。

科學の國際的進出 從來ドイツの工業家は、工業技術の外國に洩れることを非常に恐れてゐた従つて外國の資本家と協同して、外國に工場を建てることなどは、製法を外國技師に傳へ、外國の労働者を自國の犠牲に於て、教育練習せしむることだと稱して、甚だしく嫌惡するかの傾向にあつた。ところが近來かゝる傾向は著しく緩和され、新たな見地に於てその國際的進出を高唱

するに至つた。それはドイツの強味は絶えず新しい工業を編み出して、世界をリードすると共にそれに依つて大なる工業上の利益を擧ぐるに在るといふのである。これを以ても、ドイツが如何に自國將來の科學を信頼し、且つ新工業の發明創造に期造をかけてゐるか分るのである。且つ近年外國との工業上の協力を實施する工業會社の増加して來たことは、この議論を裏書きするものである。

さて、科學はそれ自身、眞理探求の任務に於て、尊嚴なる價値を有するものなることは言ふまでもない。従つて、必ずしも工業上の實用價値によつて、その成果を評價すべきでないことは勿論である。戦後窮乏のドイツに於て、特に科學の實用化を利益とするは、これ又論を待たぬところであるが、にも拘らず、現代ドイツの學者爲政者は、しかく簡單なる立脚地に據るものではない。即ち諸種のカイゼル・ウイヘルム研究所を始め、研究補助を進めてゐる多くの學術は、眞理探求のための學術たる觀があつて、實生活には何の交渉もなく何の役にも立ちさうもないのが多い。蓋し、研究は實用に因はれず、學問に立脚すべきもので、學問上の發見は、やがて人類の福祉を増進する根本的のものであるといふ、遠大な理想から出發してゐるのである。

かくの如き高遠なる理想を有し、遠大なる計劃を有するが故に、ドイツは猶、戦後窮乏の艱苦のうちに、學界の尖端を行き、工業の先頭に立つて、よく列國を指導しつゝあるのである。

藝 術

文藝研究の新傾向 ペンを棄て、劍を握らなければならなかつたドイツ、しかも戦後十年間は尙擾亂と建設とに瀕死の大患にあつたドイツ、その踏み躪られた國土から、眞に時代精神を代表するの文藝作家を望むことは無謀である。しかしながら未來を約束する或る機運の動きつゝあることは、明かに看取することが出来る。それはドイツ的な綜合である。物質と精神の綜合である。文藝的に言へば、自然主義と表現主義との綜合である。相當の震幅を以て動搖しつゝも、本流を形づくるドイツ文藝思想の中心傾向はそこに在る。乃至日を逐ふてそこへ集中しつゝある。

最近著しく我々の注目を惹くのは、文藝研究の驚くべき隆盛ぶりである。作品全集の出版、大規模な文藝百科全書の刊行、文學史、作家評傳の著述、殊には各大學のドイツ國文科から發表される新進學徒の特殊研究、それらは確かに戦前に較べて優るとも劣りはしない。しかもそこに

は或る鮮かな新傾向を發見することが出来る。

即ち従來の考證的研究法又は列傳體的文學史の行方が、或る程度まで完成された結果、もうその方法としては新たに拓くべき途が無くなつてしまつてゐた。そこでこの従來の、事實を穿鑿的に確定する方法を棄て、主として文學の内容を關係的價値の上から認識しようとする、機械的實證的な、謂はゞ自然主義的であるとする従來の方法に代りに、哲學的認識論的、謂はゞ浪漫主義的方法を以てした。尤もこの新しい傾向の中にもいろいろな流派があるが、併しそのいづれにあつても、事實だけを材料的に個々に無關係的に探索することを排斥して、それ等の事實の間に存する必然的な近親の關係を掴んで、類を作り列を整へて、そして全體的な系統を眺めようとする。材料をあるがまゝでなく、構成的に理解して、そこに統一を見出す。例へば詩人の傳記にしても、従來のやうな閱歷のばらばらな事實をたゞ順序なく羅列するのではなくして、専ら作品そのものを中心として、それを通じて直ちに詩人の全體的風格を認識する、といふやうなやり方である。

創作界の現状

現在のドイツ文壇はかなり雜然としてゐる。だかち明かな傾向によつて、ドイ

ツ文壇を分類することは困難ではあるが、しかしこれを鳥瞰的に眺めてみると、大體三つの群を見出し得るのである。

第一のものは、既に歴史的の存在であつて、戦前から引き續いてゐる現實主義、それは自然主義印象主義乃至は新浪漫主義を一括したる一派である。これらはもう舊文學と名づけてもいゝものだ。最近「情熱の書」などを書いて、猶衰へざる筆力を示したハウプトマンの如き、更に故人となつたホーフマン・スタールやシュニツレルの如きも、もはや現代ドイツ文壇の中心からは餘程離れたものと言はるべきである。

第二に屬するものは、世界大戦の清算作家である。しかしこの第二群が現在では最も大きな領域を占めてゐる。言へ換へれば、ドイツ文壇の現在は、この烏合の衆によつて代表されてゐるのである。そこには戦争體驗物、犯罪物、探偵物、性慾物、政治的社會的人種的の際物問題を取扱つたもの、さてはアメリカ趣味のセンチシヨナルな小作品等時を得顔に氾濫してゐる。そのうち注目に價するものは、戦争物と問題物の二種であらう。

體驗記録としての戦争物 戦争物が、戦後十餘年の後に現れるなどは、いかにも重厚なドイツ

人的だとも考へられるし、また戦争體驗がそれだけに深刻なものであつたことを思はせられる。先づ「西部戦線異状なし」で、一擧文名を馳せたルマルクを擧げなければならぬ。これは實際の體驗の具體的な報告が核心となつてゐるものであつて、その中には戦争の拒否、流血の呪咀が色濃く描かれてゐる。大體戦争物の作家は素人の書いたものが多いが、ルマルクも亦文士ではなかつた。彼のこの本は、瞬く間に數十萬部を賣盡し、英米を初め、我國にもすでに多くの讀者を得たところである。

戦禍印象の告白として、またウンルーの「二個の翼」がある。これは單なる戦争體驗記乃至戦争の呪咀ではなくして、體驗を生かし、未來を期待するの意圖を以て書かれたもの。ルマルク以上を評價するものもある。尙この種のものに、フライブルグ文學教授キトコブが編纂した「戦死學生書簡集」、ルマルクに慄らぬ一部の人に誠意を以て讀まれたルトキヒ・レンの「戦争」等がある。其他戦争體驗物は四五十篇の多きに達してゐる。ハインリヒ・ブランドの「釣瓶打ちの砲撃」、ア・クローネルトの「婦人の戦線」、戯曲ではカアル・クラウスの「打ち克ち難き者(四幕)」、ゲルハルト・メンツェルの「トボガン」等、またレオンハルト・フランクの小説「カールとアンナ」は、所謂

創作として傑出したものであつて、戯曲に脚色され、映畫にもなつた。

尖端を行く問題物

政治的社會的の最尖端思想を主題としたものである。

「赤い將軍」は小説家として相當名の聞へたヘルマン・ウンガルの處女作戯曲「レニン」はエルンスト・フイツシエルの作で、左傾思想の批判であり禮讃である。更に、偉人を中心とする點では同巧異曲であるが、その右傾的なるものにカール・ネンシュタインの「ムツソリニ」がある。

また社會思想的問題物として「コンバツクは踊らねばならぬ」ヘルムト・ウンゲル作「青化加里・刑法第二百十八條」フリードリヒ・ウォルフ作、等々著名な作品である。

戦後ドイツは整理すべき多くの問題がある。最近益々鋭角化して來たユダヤ人問題もその一つである。これを文學創作の題材として取り上げたものに、ワルテル・メエリンクの「伯林の商人」アルノルト・ツワイタの「改心」等々がある。

しかしながら、かやうな端的な問題の投げ合ひや、記録の見せ合ひをいつまでやつてゐても困る。貴重な體驗の反省が、もつと深く試みられ、それが純粹な創作となつて來なければならぬ。過去の清算によつて現在を吟味し、そして將來の足どりを定めるのに、「冷靜」と「睿智」を

以て「要領」を把握し、昂奮と亂醉とを避けなければならぬ。——かゝる考へ方、そしてその考へ方からの文學的展開が、現在ドイツ文壇の最も若い人達の間に見出される。これが即ち第三群に屬するものである。

この新しい努力は、まだ全體的の名稱を持つてはゐない。新しい實在を探求する意味では、新現實派と呼び、實在の要領を把握する意味では、新即物主義とも呼ばれてゐる。「一層現實的な現實、即ち精神の或る現實へ向つての前進である」なども説明してゐる。

最後にドイツの劇壇、映畫界、音樂界などの事情を一巡してみたいのであるが、凡そその潮流は文學に隨伴する性質を具有するものであるし、また文學界に同じく、致命的な戦傷に喘ぎつゝあつたドイツから、特に傑出した傾向なり精神なりを、未だ決定的に述べることは稍困難の事に屬する。たゞドイツ並びにドイツ國民が、世界的に優越せる民族として、期年ならずして文學に音樂に乃至美術映畫界等、他のあらゆる分野における目醒しき復興と同じくして、その將來に輝かしき榮光を持つものであることを、著者は期待するものである。

社 會 ・ 思 想

フランス革命の影響 ドイツは、イギリス、フランス等の諸國よりも、資本主義社會の發展に於て數十年遅れた。一八〇〇年の初頭に於て、プロイセン、オーストリアの兩國を首班とするドイツ聯邦は、政治的にも經濟的にも、乃至社會的に思想的に、猶封建制度の桎梏の下に存在した。人口の八割までが農民で、それは主たる生産が農業であることを示すものである。一時、ハンザ同盟、南獨アウブスブルグ、ニュールンベルヒを中心として、商業・貿易・手工業の基礎の上に立つた中世都市が勃興して、ヨーロッパ内部に於ては、先進的な役割をつとめたこともあつたが、これらの都市生活も、第十七世紀以來衰微してしまつた。そして農奴制度の上に立つ領主經濟が、まだ聯邦全體にわたつて勢力を有してゐたのであつた。

フランス革命は、直接ではないが、ドイツ聯邦の封建的夢を醒ました。フランス革命後、ナポレオン出で、後ドイツの一部を占領したが、その地方では、ナポレオンの改革思想の影響をうけて、急激なる社會改革が行はれた。即ちライン沿岸の諸州に於ては、農奴制度が廢止せられ、内

國關稅が排除され、道路修築が行はれて、企業の勃興が促された。このライン諸州は、ドイツのうちで最も早く資本主義化した地方であり、従つてまた資本主義に反抗する社會主義的思想が最も早く發生した地方でもある。

かくてドイツも亦、漸次封建の衣をかなぐりすて、資本主義化する歴史的必然性の軌道の上にあつた。一八一三年第二次ナポレオンがライプチツヒに敗るゝや、ドイツ聯邦統一の叫びが大ひに起つた。その後一八三〇年の七月革命、一八四八年の二月革命が、相次いでフランスに起りブルジョアジの勝利が確固となるや、その影響はドイツにも甚大なるものがあり、そこに幾多の變亂を生んで、封建的領主の専制を打破して、自由憲法による政治的欲求が旺んとなり來つた。

一八二八年プロイセンは、全ドイツ聯邦を關稅同盟に結集した。このことは聯邦内の關稅壁より受くる不利を脱却し、全ドイツ聯邦を経済的に統一發展せしむることとなつた。

一八五〇年頃紡績等の事業も發達し、其他の工業生産も増加した。それはイギリスから、機械と技術者とを供給して、ドイツ産業を援助したからであつた。また五十年代には鐵道も敷設せられた。

れた。

かくて一八六六年、ドイツは聯邦内部における反對者、即ちオーストリアを聯邦外に分離することによつて、こゝにプロイセンを中心とする全ドイツの統一を確立し、更に一八七一年には、フランスを倒すことによつてドイツ帝國の建設を宣言した。爾來ドイツ資本主義の發展は、飛躍的となり、社會文化の向上は、隨伴して促進された。十九世紀末葉から二十世紀初頭にかけて劃期的な躍進は、先進國たるイギリス、フランスを凌駕せんとするに至り、ドイツは世界大戰前に於て完全なる帝國主義國となつたのである。

世界大戰前の社會思想 ドイツは社會主義の祖國なりと言はれてゐる。フランス、イギリスに發祥した空想的社會主義が、この國の生んだ二人の偉大なる思想家カール・マルクスとフリードリッヒ・エンゲルスによつて、科學的社會主義にまで昂揚せられたといふ意味から言つても、また今日まで社會主義思想の正當なる相續者としての重大なる役目をつとめ、ロシアについて勞働者の思想的並びに行動的活動が、最も熾烈なるものがあつたといふ意味から言つても、ドイツが社會主義の祖國であるといふ言葉は適當である。

ドイツ社会主義史上に名を遺した人々は数多くある。マルクス、エンゲルスはすでに餘りに有名であるが、その他フェルチナンド・ラツサー、アウグスト・ベーベル、ウイルヘルム・リーブクネヒット、カール・リーブクネヒット、ウイルヘルム・ワイトリング、ヨゼフ・デーリツゲンカール・カウツキー等々があり、これらは何れもマルクスの正統を汲む共産主義者であつた。

ドイツ資本主義の上向と共に、社会主義的諸思想も年を逐うて旺となり、従つてこれが大衆の各層に浸透して行く力は偉大であつた。普佛戦争後國民の思想的覺醒により、ウイルヘルム一世は止むなく普通選挙制による國會選挙を施行したが、その第一回には社会主義者の投票十萬二千票を得、ベーベルとリーブクネヒットが議員に當選し、次いで三年後の總選挙には票數三十五萬三千票と十人の議員を獲得した。

ビスマルクは、この社会的情勢に恐怖して、一八七八年有名なる社会主義鎮壓法を造つて彈壓した。にも拘らず、暴壓の砲火を潜つて社会主義的思想は社会一般に擴大し、一八九〇年の國會選挙には百五十萬餘の票數に激増したのであつた。

かくて同じ年の一八九〇年には、これより先にラツサー派とアイゼナツハ派との合同によつ

て成立した社会主義労働黨は、大會を開ひて黨を淨化し、社会民主党と改名して新しき首途に上ることゝなつた。即ちゴータ綱領を廢して、新にマルクス主義的なエツフルト綱領を採用したのである。この案の起草者は、今日も尙生存して、社会民主党内の一勢力となつてゐるカール・カウツキーであつた。

二十世紀に入ると共に、ドイツ社会民主党の勢力は、益々熾んとなつた。即ち一九一〇年の總選挙には、三百萬票と八十一名の議員を獲得し、世界大戰前の一九一二年には、四百三十萬票と百十名の議員を選出して、議會内に於ても乃至社会的にも、斷然第一位の勢力を占有することゝなつたのである。

大戰と社会思想の動き しかしながら、また一方には社会主義的思想の旺盛となるに従つて、その陣營内にも種々なる意見の發生、乃至對立論争を見るに至つた。即ち第十九世紀の末葉から第二十世紀へかけての修正派社会主義思想の勃興は、蓋し後年における社会思想の分派、政治的諸黨派の分裂抗争を惹き起さしむべき萌芽となつたものである。

一九一四年、戦争が不可避となり戦線がやうやく動き初めるや、ドイツ社会民主党も、各國社

會黨と同じく、その方針たる非戦運動を中止して、國家防衛の名の下に參戰に同意した。しかし
て飽くまで之に反對したのはカール・リープクネヒトのみであつた。

戦争が抄々しく進展せず、ドイツの敗抗が豫想さるゝや、ドイツ一般社會の中にも、乃至社會
民主黨内にも再び非戦論が擡頭するに至つた。一九一六年における政府の緊急軍事豫算の決議に
は、社會民主黨は公然の反對者十七名を黨より除名した。カウツキー、ベルンシュタイン等はそ
の中にあつた。彼等はリープクネヒト、ルクセンブルグ等の同志と共に、新に獨立社會民主黨を
作り、且つ、イタリーの舊時の革命運動者スバルタクスの名を取つたスバルタクス團を形成し、
非戦運動をモットーとする果敢なる闘争を社會民主黨に對して開始した。

さて「戦」が熄んで、ホーヘンツォレルンの王朝が覆滅し、社會民主黨による革命が行はれて、
帝制國は共和國に變革した。リープクネヒトを首班とするスバルタクス團は、一九一九年ドイツ
共産黨を組織するとともに、勞兵會議を召集して、ベルリンに共産主義革命の暴動を捲起したが
民主黨政府軍のために鎮壓され、一月十五日リープクネヒトとルクセンブルグは反戦派のために
暗殺さるゝに至つた。

民主主義か共産主義か かくてドイツ社會民主黨は、共産主義、無産者獨裁革命説に反對して
改良主義的、進化漸進説を採り、ことにドイツ共産黨の成立、サヴェート聯邦の完成以後は、漸
次右傾的色彩を増して、自由主義的諸黨との聯立内閣をさへ組織するに至つた。そして大戦以來
つねに第一黨の地位を占め、ドイツ政界を支配することゝなつた。従つてこの温健なる社會黨は
右翼反動と左翼の抗争激化の間にあつて、中間的、協調的役割をつとめ、最も多くの一般人の心
を捕へてゐる譯である。この事は、それ故にドイツ一般人の社會思想が、大體に於て社會民主々
義の上にあると言ひ得るであらう。

ドイツ共産黨は、リープクネヒト、ルクセンブルグを失ひ、その上民主黨政府の壓迫が激しか
つたため、一時はその勢力を著しく削減された。しかし戦後の國家經營難と、混沌たる國家の
中に、漸次その勢力を盛り返し、一九一九年には第一回大會を開いて黨是を定め、第二回大會で
は黨内の極左小兒病者を清算した。その後、共産黨は統一的に前進し、反動派、社會民主々義と
激烈なる闘争を繰返しつゝ、共産主義、無産者獨裁等とそのスローガンとして邁進した。大戦後
の疲弊、産業の合理化政策による失業者の増大と窮乏、等々の諸情勢は、社會民主主義にあきたら

ざる労働者、農民を駆つて漸次共産黨の旗の下に蝟集せしめたのである。

共産黨は、戦略上必ずしも議會行動を重視するものではない。しかし乍ら、ドイツ共産黨は全面的な運動の分野として、中央地方の議員選舉にはその活動を怠らなかつた。一九二〇年には國會に五十九名の議員を送つて、ドイツ諸政黨中の第四位を占め、地方議會に於ても五十六名の議員を選出せしめて、諸政黨中の第二位を獲得したのである。

扱てかゝる政治的、社會的思想の混沌は、大體一九三〇年後まで続いた。前世紀末、社會主義的思想はマルクス主義正統派と修正派の對立であつたドイツは、今やそれらマルクスズム内部に於ける理論闘争を揚棄して、社會民主主義か共産主義かの對立となつた。社會民主黨と共産黨とは、この對立せる兩思想の擔當者であつて、兩黨の抗争は日に激化の趨勢にあつた。

反動的社會思想の發生 ドイツ固有の國家主義的、英雄主義的傳統の思想は、その社會主義的思想の發生とともに、またドイツにも發生した。しかも反動的根強き精神は、牢固としてドイツ國民思想の根柢に伏在してゐたのである。

かの一八〇七年に行はれたフィヒテの有名なる演説「ドイツ國民に告ぐ」は道德的墮落の淵に

のぞめるヨーロッパを救ふものはドイツ國民なりとして、全國民の愛國的血潮を沸騰せしめたものである。故にプロイセンは、オーストリアを破つて獨立し、フランスに大勝してパリに城下の盟をなさしめ、聯邦を統一して帝國主義の牙城を固め、着々としてイギリス、フランス等の先進諸國に追いつき追ひ越し、世界大戰の勃發するや、かのカイゼル・ウイヘルム二世は、傲然として「ドイツ國民は神のほかに怖るゝものなし」と豪語したのである。不幸にして大戰は失敗に終り、帝制は共和制に變革しても、前述の如きドイツ國民の傳統的精神は、更に倍增するとも些かも解消はしてゐないのである。國家主義者、英雄主義者にとつて、かゝる事態は絶大の恥辱でなければならぬ。果然、彼等は先づその初期に於て、カツプの叛亂、社會主義の暗殺等々にその反動主義的テロリズムの鋒鏑を現はし初めたのである。

ドイツの反動思想には三種の體様がある。その一は封建的貴族主義であつて、中世の殘滓たる大地主の勢力、即ちエンケルの一團を中心とする思想である。第二は國粹的、シヨーヴィニズム的、軍國主義的、復辟的思想である。次には資本主義的、或はそれに追隨するブチ・ブルジョア的の反動思想の第三である。しかしてこれらの反動思想のうち、第一のものは今日殆んど全滅し、

後の二者が現在ドイツの主要なるファシズム的要素である。いまかゝる思想を奉ずる團體の二三を擧ぐれば、

(一)ドイツ國民黨 國粹家フウゲンベルグによつて率ゐらるゝ政黨、世界大戰後に創立せられた。

(二)國家社會主義ドイツ労働黨 ヒットラーを黨首とする政黨で、極端なる反ユダヤ人主義による國粹主義に社會主義的思想を混入せるもの、別項に詳しく述ぶるところである。

(三)スタールヘルム(鐵兜團) ゼルトによつて率ゐらるゝ國粹國防軍。

(四)中央黨 主としてカトリック教徒より成る保守的な政黨である。

(五)その他ドイツ・ブルジョアの集合體たる人民黨、中産階級の利益を代表する經濟黨、インテリゲンツィヤより成る民主黨。

以上は反動團體の内の眼ばしいものである。その筋の調査に依れば、ドイツに於ける反動的秘密結社の總數は、實に四百十數個の多きに上ると言はれてゐる。その内、バイエル愛國戰士團、ミュンヘン聯合國粹黨、ミュンヘン自由隊、ウインキング社、等々々々——また黒布に骸骨を白く抜

いた旗章を持つ鐵青團とか、さらに狼組など云ふ凄い名前のもある。

なほナチズムに就ては「列強の動靜」中ドイツの項で委細を盡した積りであるから、宜敷く御参照を乞ふ。

宗 教 ・ 教 育

大戰前に於ける教育方針 ドイツに於ける學校教育は、世界大戰を契機として根本的な變化を遂げつゝある。

世界大戰前に於けるドイツ中學校は、大學に入る準備としての一般的素養を與へるための機關として發達した。中世にあつては、中等教育の一部分は、大學内で行はれた。大學の中には、神學部、法學部、醫學部、文學部といふ四學部が設けられてゐて、そのうちの文學部は、半ばは他の専門學部の豫科的性質を持つてゐたのである。當時の大學にあつては、ラテン語を學用語としてラテン文で書かれた書物を材料として研究したのであつて、文學部は恰もラテン語を學習することを目的としてゐたやうなものであつた。且つ文學部では、其他の學科、即ち數學とか哲學とか

いふものも教へたので、文學部を卒業してから、他の専門學問に入學する順序となつてゐた。少なくとも、文學部である程度まで修學してから、他の専門部に移ることになつてゐたのである。従つて、大學に入學する年齢は、十五六歳位であつて、それから數年間文學部に入つて豫備的修養を積んだのである。

然るに近世に入つて、教育が追々發達し、大學以前に於て、一般的修養を施す中等學校といふものが獨立した。もつとも中世より都市の間にはラテン語の學習を目的とする中等教育のための學校も出來たが、近世特に文藝復興以後に於て、人文主義者の努力によつて獨立の中等學校が増加したのである。

いづれにせよ、ドイツの大學及び中等學校は、以上の事情に基いて發達したので、全く貴族乃至知識階級の子弟の爲の學校であつた。戦前のドイツに於て、役人となつて國政に干與する者は悉くこの大學教育を受けた者に限られてゐたのである。

かく中等學校が、大學教育の準備學習たるにあつたので、中等學校にはまた豫科が設けられてあつて、中等學校以上に進む者は、小學校に入らずして、滿六歳頃より直ちに中等學校の豫科に

入學し、本科に進んで大學に行ける順序であつた。

一般庶民の教育機關 之に反して、國民教育即ち初等教育は、高等教育を受けることを敢てせざる一般庶民のための教育機關であつた。しかしてドイツにおけるこの國民の義務教育制は、十七世紀に於てザクセンに實施され、十八世紀にはプロイセンに於て、大體八ヶ年の義務教育制が課せられたのであつた。

かくてドイツの國民教育は大いに發達したが、大學及び中等學校とは何等の聯絡を持つものではなかつた。小學校に入學した兒童は、ラテン語、ギリシヤ語を學ばない。ところが中學校及び大學に於ては、ラテン語、ギリシヤ語が中心科目であつた。ドイツの大學では、十八世紀まではラテン語を以て講義したのである。故にラテン語を學ばない小學校の卒業者は、中等學校に移ることが出來なかつた。かくして中等學校に入學する身分の者と、小學校に入學する身分の者とは全然階級的に差別を生ずるに至つたのである。社會の上層部の地位に立つ者だけが高等教育を受けるといふことにせられ、小學校教育を受けたる一般庶民は、永久に被治者の地位に止められたのである。

フランスに於ては、十八世紀末の革命以後、階級的闘争が續けられて来たにも拘はらず、ドイツに於ては、十九世紀を越へて二十世紀に至るまで、未だフランス革命の如き社會革命が行はれずに来たのである。尤も、十九世紀においては、フランス革命の影響を受け、種々なる啓蒙的社會運動が擡頭し、その末葉には労働者並びに庶民階級を背景とするドイツ社會民主黨が組織され漸次その勢力が擴大して来たことは他所にも屢述したところであるが、しかし世界大戰までは未だ國政を左右するまでの段階にまでは進んでゐなかつたのである。この事は、ドイツの一般庶民が、その受くるところの教育組織下にあつて、政治的にも社會的にも、比較的無智であつたことを物語るものである。

大戰後の教育改造 世界大戰が長く持續するに従つて、一般國民は戦争の責任者である貴族階級に對し、憎惡と反感を昂むるに至つた。かくて革命が來り、政治組織が變革して、社會の様相も異にするに至つたのである。即ち教育方針も、新たなる共和制の適應すべく、幾多の改正が行はれたのである。

殊に戦後に於ける中等教育は、顯著なる變化を見るに至つた。一九一八年のワイマール憲法は

従來のドイツ中等學校の豫科を廢することを規定し、すべての中等學校の入學者は、原則として先づ以て小學校に入學し、四ヶ年在學後に中等學校に移ることとしたのである。しかしして新たに設けられたドイツ高等學校の如きは、四ヶ年の小學校修了者を入學せしめた上、九ヶ年間連絡せる教育を施され、同じくアウフバウ・シウレ即ち接續學校とも名付けらるべき學校には、小學校七ヶ年修了者を入學せしめ、その上六ヶ年間を連續して教育を施すこととなつた。このうちドイツ高等學校の如きは、大體従來のオーベル・レアル・シウレに近いものではあるが、しかしその重點は、専らドイツ文化を中心とするといふところにある。従つてドイツ語を通じてドイツ精神を養ひ、ドイツに發達せる學術技藝を中心として教授することとなつたのである。このは、大戰後に於けるドイツが、その國體の上に變革があつても、そのドイツ精神の上に於ては、些かも變化を見ないといふことを示すものである。

民主主義の徹底 小學校の教育に關しては、従來の中等學校の豫備校の特權を剝奪して、それを小學校自體の中にとり入れたといふことが最も顯著な改正である。小學校の最初の四學年は、これを基礎學校とも稱んでゐて、一切の學校教育の基礎となる教育を施すといふ意味で、その儘

小學教育を繼續する者も、中等以上の學校に進む者も、國民たる者は悉く之を履修しなければならぬ。故に、之をまた統一學校とも異稱してゐる。基礎學校といひ、統一學校と稱するも、前述のやうに獨立した學校があつてそれを指さして言ふのではなく、八ヶ年小學校の、その最初の四ヶ年を指していふのである。

さて、この制度、即ち基礎學校又は統一學校を必要とする論は、戦前に於ても小學校關係者の輿論として可なり喧しかつたものであつた。だが、戦前のドイツの社會事情は之を許さなかつたのである。しかして戦後のドイツの社會組織が、初めて之を實現せしめたのである。かくの如きは實に、教育上に於ける民主主義の徹底と見るべきものである。

新教育政策と宗教 戦前に於けるドイツ中等學校以上の教育方針は、一言にして之を言ふならば、學者養成の教育といふことが出来るのであつた。しかも、ギリシヤ語、ラテン語を中心とする教育主義に、キリスト教的教育が加味したものであつて、その基礎を築いたものは近世人文主義の思潮であり十八世紀の末葉より十九世紀に初頭の榮へた新人文主義は、それを大成したものである。工科大学、商科大学、其他實業に關する學科が、大學及び普通の中等學校の埒外に置か

れたのも、かゝる事情に基いたものである。然るに大戰後に於けるドイツの教育政策は、前述せる如くドイツ文化の作興といふことを強調するに至つた。このことは、しかし必ずしも戦後に始まつた傾向ではなく、戦前に於ても既に次第に勢力を得來つた主張であり、カイゼルの如きは一八九〇年代に於て極めて熱心に之を提唱したものであつた。この點において、ドイツ共和國はカイゼルの意志を繼承したものとひ得るのである。

次に新ドイツ共和國に於ける教育政策の一として、宗教に對する問題は極めて重要であつた。ワイマール憲法議會における教育政策の検討に於て、「宗教は私事なり」とする社會民主黨はその主張に従つて、學校教育から宗教を排除すべきことを提案したのであつた。ところが當時、政界の分野が非常に錯雜して居り、且つ社會民主黨は絶對多數を議會に占めてはゐなかつたので、他の政策に於て宗教支持者たる中央黨等の聯携援助を受けたる關係上、宗教については中央黨等の主張に譲らざるを得なかつた。これ即ち、民主共和國ドイツにも尙宗教科が學校教育の一課目として存在してゐる理由である。

しかしながら、戦前宗教科が、官公立學校に於て必修課目であつたドイツは、戦後その適用は

著しく自由となつた。父兄の意志によつては是は免除し、また一定数の父兄が要求する時は、その宗派の者の爲めに特別な宗教を課することも出来、或は何等の宗派にもよらぬ所の修身を授けることも出来ることゝなつた。

ドイツ理想主義の下に 前述の如く、宗教教育の存否が論議されることは、ドイツにおける社会主義の發展、それとともに無神論的思想の増大を意味するものであるが、尙社会一般には宗教的信仰乃至その傳統的慣習が存在してゐる。最近の調査に依れば、新教徒は全人口の六割を占むる四千萬人、それらはドイツ新教社会聯盟によつて統轄され、舊教徒は約二千萬人、全人口の約三割に當り、カトリック教會によつて統轄されてゐる。

さて、戦後に於てドイツには又、種々なる新しき教育法が試みられた。例へば神祕主義者スタインルの思想に基づく自由學校、或は又、徹底的な學校教育改造運動を提唱するエストライヒの生産學校等、殊に戦後の共和國を通じて、國民體育の向上に腐心するの風潮は非常なものであつて諸所に體操専門學校を起して之が教育に従事してゐる。

何れにせよ、新興ドイツの教育思潮は、大體において尙ドイツ理想主義の旗の下に依存し、ド

イツ精神の鍛練涵養に努力してゐるものと見るべきであらう。

吼へるイタリー

【國勢篇】

華やかなる建國史

歐洲文明の搖籃 イタリーは歐洲文明の搖籃である。アナトール・フランスも「哲學、藝術、科學、法律學、一切を我々はギリシヤと、ギリシヤを征服したローマに負つてゐる」と述べてゐるが、ギリシヤ文化は東の間に光を失つたが、イタリーはローマ法主が精神界の靈首として數世紀に亘つて君臨してゐただけに、全歐洲の中心たる觀を呈し、文化の上にも歐洲を指導する地位に立ち、ルネッサンスの絢爛たる文明を放つた。従つて興亡三千年、その間榮枯盛衰極まり

なかつたとは言へ、古代ローマの時代より今日フランスとイタリアに至る迄、イタリアは歐洲史上に獨特の地位を占めてゐることは、誰しも承認するところである。

イタリア民族の躍起 イタリアの發展及び現状を知るにはその歴史を一瞥する必要がある。

歐洲の諸國民が中世封建制度の長夢より覺醒し、民族國家を建設せんとした十九世紀の初期に於て、イタリアはその狹隘なる地域内に於て、ナポリ、シシリー及びサルデニア王國法王領及びヴェネチヤ、ゼノアの兩共和國、トスカーナ大公國、パルマ及びピアチエンツア兩公國の如き八獨立國が相對立併存してゐた。而して北部はオースタリーハブスドルグ家の勢力絶大であつて、南部のナポリ、シシリー地方は佛國ブルボン王家の一族が統治し、何れも專制政治が布かれ、イタリア人民の自由及び獨立は全然抑壓されてゐた。然しイタリア民族の獨立的氣運は一八一五年ナポレオンの没落後、漸次マチニー等の先覺者によつて喚起せられ、次いでカヴール、ガリバルデイ等の大英傑が出で、イタリアの唯一の民族的君主であり、且つ民望あるサルデニア國王が中心となつて着々イタリア民族の解放並びに獨立の準備が整へられた。

イタリア統一と二大英傑 サルデニア王ヴィットリオ・エマヌエル二世は、一八四八年憲

法を制定し、上下兩院を設け、カトリック教を國教とした。これらの諸改革は統一イタリアに於てその儘繼承せられ、今日尙有効に存在してゐる。又外はナポレオン三世の援助を得て、オーストリー軍を大いに敗り、之をイタリア半島より驅逐し、カリバルデイ將軍は一千名の義勇兵を率ゐて南方ナポリ王國の征服に成功した。かくて一八六一年三月十四日、トリノ國民議會が召集せられ、ヴィットリオ・エマヌエル二世に統一イタリア國王の尊號が奉られた。爾來サヴォイア王統は國民より太陽を仰ぐが如く畏敬せられ、慈父を見るが如くに敬愛せられた。イタリア民族統一の大業はかくしてエマヌエル二世並びに之をよく輔佐したカヴール及びガリバルデイの二大英傑によつて完成せられたが、カヴールの歿後はその遺業を繼承すべき大人物なく、議會は多數の小黨分立し、内閣は微力にして概ね短命であり、之がため政局は絶えずその安定を缺いた。その間バランス及び妥協による政治が行はれ、議會は騷りに最も長けたデヨリツテイは、一九〇二年組閣以來、一九一四年世界大戰までイタリア實政治の統治者とも言ふべき地位にあつた。以上が大體、イタリア建國史の概観ともいふべきものであるが、さてこれから、いよ／＼吼へ猛るイタリア現實の姿を検討することにしよう。

一リタイるへ吼

勝利の榮冠の幻滅 世界大戦が勃發するや、三國同盟に加入せるイタリアが果して如何なる態度に出るか、は聯合國側の最も關心をもつところであつた。が間もなくイタリアは中立を宣言し、一九一五年には遂に聯合國側に參加して獨逸に宣戰するに至つた。世界大戦はイタリアを混亂に陥れた。が、やがて五ヶ年の戦争は聯合國側の勝利に終つた。ヅットリオ・ヴェネト及びモンテグラツパの戦勝はイタリア近世史上に比類なき勝利であつた。又事實イタリアの戦勝に對する貢献は十分に聯合國側でも認識してゐたので、當然イタリアの渴望しつゝある所の戦利品が、平和條約によつて平和裡に分讓せらるべきであつた。然るに締結された條約に於て、イタリアは根本からその期待を覆されねばならなかつた。成程、伊國多年の宿望たりし未回収伊國民族の併合、即ちイレデンティズムの要求は殆んど貫徹せられたが、植民地の獲得、鐵、石炭の資源獲得、地中海方面に於ける權利等は何者も得られなかつた。剩へアドリヤチツクの制海權さへ回收されず、その對岸には埃甸國の代りに、後日必ず伊國を脅威するに至るべき新興國ユーゴース

一リタイるへ吼

ラヴィアの出現を見たのである。この失望落膽の所へ搗て、加へて、參戰歐洲諸國を均しく襲つた戦後の經濟的社會的混亂による恐慌が、伊國を見舞つた。イタリアは、英、米、佛の諸國に比してその資源乏しく、工業も未發達で、資本も集積されてゐないから、戦後の疲弊による打撃は一層激しかつた。

恐る可き戦後の疲弊 かくて財政は忽ち混亂し、逐年莫大な歳入不足を告げ、生産力は減退し反對に外國貿易の輸入は驚く可き超過を示した。英米に對する戦時中の外債は數十億リラに上り益々増加する一方であつた。リラの崩落は實收入を減じ、小中のブルジョア、俸給生活者及び労働者の生活を甚だしく脅威するに至つた。そこへ參戰軍隊が歸還して除隊となつたが、そこには失業と餓えの外何者も待ち受けてゐたものはなく、これら「榮譽ある凱旋兵」は暴動團と化し、到る所で警察と衝突し秩序を破壊して、宛然暗黒時代を現出した。

共産黨の活躍 之を絶好の機會と許り社會黨はプロレタリアを欺き、戦争の慘禍を説いて、社會革命を企圖とせんとし、熾んに活躍し出した。社會黨首領はモスコ政府と密接なる聯絡を保ち、又莫大なる精神上、物質上の援助を受け、革命歌を高唱し、ボルシェヴィズムを讚美した。

かくて、社会黨の指導によつて一九一九年春以後に至つて、無数の罷業が勃發したが、當時のオランダ内閣は微力弱腰で、何らの弾壓も下し得なかつた。

その後左右兩黨の抗争は益々激化し、一九一九年の初めに於ては、最早内閣同様の状態となつた。動章。軍服は暴行の的となつて、正服の將校軍人は路上に於て白晝暴漢に襲撃して侮辱され或は殺害された。戦後に於ける總選挙は一九一九年十一月、ニツテイ内閣當時行はれたが、その結果は豫想通り社会黨が著るしく擴大し、百名より一躍百五十六名の多數議席を獲得した。これ等左翼勢力の増大は當然罷業煽動の現象を呈し、選挙後間もなくマントーヴに於て革命的暴動が勃發し、暴徒は市中を占領、牢獄を開放し、市民を殺戮掠奪等狼藉の限りを盡した。其後、郵便ゼネスト、鐵道罷業、紡績罷業等々無数の同盟罷業が續出、ニツテイ内閣は時局を收拾し得ず遂に辭職を餘儀ならしめられた。

難局打開にチヨリツテイ内閣 一九二〇年イタリー議會政治の大立物チヨリツテイが内閣を組織して、この難局打開に當る事となつた。然し期待せられた彼の手腕を以てしても、この難局を克服する事は困難であつた。即ち彼は先づ社会黨に屈してアルバニヤ撤兵を行ふの餘儀なきに至

らしめられ、次で労働者の工場管理法案に失敗した。この間社会黨は、地方自治體を占領し、之を地盤としてローマに對抗し、やがて中央政府を己が掌中に收めんとする策戦に出で、農民罷業を煽動し、地方労働組合を設けしめ、順次彼らの革命根據として行つた。

ファシスト黨の擡頭 斯かる間にムツソリーニは一九一九年三月二十三日、ミラノに於て彼の主宰するポポロ・デ・イタリア社に闘士團、即ちファツシヨ・コムパテイメントを組織した。これ即ちファシスト黨の前身である。當時黨員は僅かに百五十名にすぎなかつた。ムツソリーニは眞の労働運動に非ずして、ボルシェヴィズムの影響を受けた智識階級の下に立つ政黨を敵視した。そしてボルシェヴィズムは西歐文明、個性及び自由に對して大なる脅威であると考へ、之に反對し挑戦した。彼の主張は、唯物史觀、階級闘争に拘束せられない所の一種の國家社會主義であつた。ファシスト黨は創立早々は政治的勢力も微力だけに殆んど目立つた活動をする事が出来なかつたが、その後間もなく各地にファシスト黨の支部が創立せられ、去就に迷つてゐた自由主義者、國粹主義者らが夫々物質的に精神的に支援するやうになつた。その後政綱も次第に明瞭となり、組織化されるに従つて、激刺たる生氣を包蔵する愛國青年は續々とムツソリーニの周圍に蟻集し

て来た。

突撃する黒シャツ隊 一九二〇年に行はれた地方自治の選挙は、一般に反動的徴候を示し、國民黨、フアシスト黨、自由黨は相提携して、社會黨と戦つて、多數の都市に於て大成功を博したが、選挙後各地に左右兩黨の抗争が演ぜられて暴動化し、この内亂の爲に仆れたものは伊國統一戦争より多數に上つた。フアシスト黨員はこの戦時中、重い棍棒を唯一の武器とし、突撃大隊の着用した黒シャツを身に付けたので、黒シャツ隊と稱せられた。

デヨリツテイ内閣の次にはボノミー内閣が組織されたが、優柔不斷過渡的事務内閣にすぎなかつた。一九二一年一月ローマにフアシスト大會が開催され、こゝに初めてフアシスト黨は正式に結黨したが、同時に右に媚び左に阿るボノミー内閣を猛然と攻撃した。同内閣は一九二二年二月瓦解、今度はフアクタ内閣が成立したが、到底かゝる難局を切抜け得る實力は有しなかつた。左右兩黨の關ヶ原 同月同日フアシストと左翼黨との關ヶ原の戦ひとも言ふべき決勝的闘争が勃發した。夫は共產黨がフアシストを鎮壓せざる事に對する抗議の意味で、全伊國に亘つて無警告で鐵道、水道、電氣等凡ゆる分野に亘つてゼネストを決行した。フアシスト黨は直ちに之れに

對し應戦し、反同盟罷業運動組織の指導者となり、彼等は自ら列車を動かし、非同盟の従業員を保護し、又必要の場合には實力に訴へて、二三日間でさしも大規模なこのゼネストを全く鎮壓した。かくてフアシストの實力は初めて民衆に認識され、その信頼を勝ち得る事が出来た。最早政府の威令は内外共に全く行はれなくなつた。イタリーにとつてフアクタは最早必要なくムツソリーニのみが必要となつた。

フアシスト黨のローマ進軍 この秋ムツソリーニは國家救済の唯一の手段として、フアシスト黨の政權獲得を決心した。そして、彼はフアクタ内閣に對し、議會の即時解散か、又は内閣が總辭職をし、その後繼内閣の重要な椅子をフアシスト黨に提供するか、その何れかの一つを要求する一種の最後通牒を突き付けた。然しフアクタ内閣は兩者の何れも拒絶した。こゝに於て全く平和的解決は絶望となつた。フアシスト黨幹部たるミケレ・ピアキイ、イタロー・バルボ、デヴェツキイ伯、デ・ポーノ將軍より成る巨頭評議會が組織され、直ちにローマ進軍の計畫がたてられた。フアシスト義勇兵は四縱隊に集中され、四方面より旗鼓堂々進軍、ローマを包圍した。クタは狼狽して閣員の辭表を提出すると同時に戒嚴令を布告した。が、國王はその親署を拒否せ

フアられると共に法令の無効なることを警告し、その撤回な求められた。この國王の態度はファシスト黨員をしてサヴォイア王朝に對して忠誠を表せしむる動機となつた。二十八日、サランドラ内閣は大命を拜した。彼は、ファシスト黨の爲に、重要な數個の椅子を提供したが、ムツソリーニは、ファシスト革命の勝利を傷つけることを欲せぬとの理由で之を拒絶した。大命は直ちにムツソリーニに下り、かくしてファシスト革命は、何ら流血の慘事を見ることなしに遂行せられた。

ムツソリーニの獨裁政治　ムツソリーニが政權獲得後先づ着手したのは、戦争の殘務を整理し國民生活に即して國力を伸張する事であつた。この目的の爲には、黨派を超越して各方面から人材を抜擢した。次にムツソリーニが内政上大いに意を用ゐた所は、議會を抑制して政府の權限を伸張することであつた。之が爲に總理大臣の權限を擴張し、又政府が法律と同一の効力ある命令を發布し得るやうにした。又ファシスト黨の最高幹部とも言い可き大評議會を立憲化し、議會よりその重要な職能を奪つて之を附與し、議會をして單なる政府の諮問及び協力機關にすぎないものに化せしめた。この種の改革は專制、獨裁政治として諸外國識者より非難せられる種となつた。

たが、他面之に依つて伊國政界の宿弊であつた小黨の分立、内閣の微力並に短命、之に伴ふ政界の不安動搖を根本から排除することを得た。又行政機關にも一大改革を加へ、農務省舊商工省を一省に集めて、之を國民經濟省となし、國庫省を大藏省に併合し、其他航空省及び組合省を新設して近代的必要に順應した。伊國の財政難は世界周知の事實であつたが、土地臺帳の整理、近親相續税の廢止及び動産所得税の改正等によつて税制の根本的整理を行ひ、以て歳入歳出を均衡ならしめ又リラを、安定し國民經濟生活の安定を計り、他面經濟産業の健全なる發達を期した。其他教育制度の根本的改革、同盟罷業の禁止、組合議會の創設及び組合國家の建設等、ムツソリーニ獨特の痛快なる施設は枚擧に遑がない。が、何と言つても第二のカヴール・ガリバルディと許り國民的崇敬を集めて、一躍彼をして偶像的英雄に迄祭り上げるに至らしめたのは、一九三五、六年に亘る東阿遠征の勝利による、エチオピア併合の成功である事は言ふ迄もない。彼ムツソリーニは今やスペイン動亂を繞つて、英・佛・ソを向ふに廻して虚々實々秘術を盡して大芝居を演じてゐるが、その手の中たるや正に刮目して見物するに價する。

一リタイるへ吼

講和會議の失敗 イタリアは世界大戰に参加し、死者六十萬、傷病者數百萬を出し、貧乏國のイタリアとしては堪え難い程の莫大の國帑を費した。かるが故にイタリアはイタリアの拂つた犠牲が十分に尊重せられ、補償せらるべきを確信してゐた。然るに伊國は講和會議に於て何を報ひられたか？ 伊國のフューメに對する要求は人種上の理由により、又海港はユーゴスラヴィヤに必要であるこの理由に基き拒絶された。又植民地問題に就ても殆んど何物も與へられなかつた戰爭には勝つた、講和には敗れた。これが實に今日のムツソリーニの強硬外交ある所以で、又エチオピア征服を強行した理由でもある。

植民地の爭奪 パリ講和會議に於て伊國は、佛國に對してはリビヤ西部國境の改訂、同南部國境の擴張、紅海沿岸チブチ港の割讓及び佛國エチオピア鐵道の讓渡を求め、英國に對してはジャラブ地方及びキスマユ港の讓渡を迫つた。この要求は一九一五年伊國參戰條件に關するロンドン協定第十三條を根據とするのであつた。それに依れば戰後英佛はアフリカに於て植民地を擴

一リタイるへ吼

張する場合には、伊國も亦之が補償を受く可きことが約束されてあつたからである。兩國はこの伊國の要求を以て過大に失すとなしたが、結局一九一九年九月佛國はリビヤ西部國境をアダマス。ガット。ツモ線に擴げること同意し、英國も亦一九二四年七月ジュバランドとキスマユ港を讓渡した。英佛は之を以て協定第十三條の約束を完全に履行したものと解し、英國に關する限りは問題は起らなかつたが、佛國に關しては伊佛の間に大きな見解の相違があつた。即ち伊國の主張する所によれば、佛國の讓渡は協定第十三條全部の履行でなく、その一部の履行である。斯くの如きは伊國の世界大戰に拂つた莫大の犠牲を償ふに足らざるのみならず、自ら廣大な獨領植民地を得乍ら僅かに國境改訂を以て十分となすは伊國に對する甚だしい侮辱だと言ふのである。では伊國の佛國に對する要求如何と言ふに、(一)リビヤ南部國境の擴張、(二)チュニス在住伊人の權利、(三)チブチ港割讓の以上三件であつた。

伊國の右の要求は、ムツソリーニ政權確立以來、リビヤ中部地域を恢復すると共に、一九二四年にはガダメスを占領、一九三〇年にはムルツウク。ガットを奪取着々決行されたが、後一九三五年八月遂にエチオピア征服を敢行した事に依つて、最早問題でなくなつてしまつた。

エチオピア問題 これより先、伊國は佛國にチブチの割譲を求め、これを拒絶せらるゝや、エチオピアの中腹を横断して自國植民地エリトリアとソマリランドを聯絡する鐵道の敷設及びアサフ港灣を開發して、チブチの繁榮を奪ふ策を立てた。伊國はこの目的を達成する爲に一九一九年十一月英國政府に對して、もし英國がツアナ湖に堰堤工事を施し、ツアナ湖とスーダンとの間に自動車道路を敷設するの權利を得んとする時は、伊國は英國を支持すること、右代償として伊國がエリトリアの國境より伊領ソマリランドの國境に達する鐵道の敷設権を求むる時は、英國は伊國の要求を支持すること、且つ西部エチオピア及び前記エリトリア、ソマリランド鐵道附屬地帯が伊國の經濟的勢力範圍たる事を英國に於て承認すること、を提議して、英國は一九二四年この提議に應じ一九二五年十二月兩國間に覺書交換した。果然、この英伊覺書は佛國輿論を刺戟し伊國の野心を挫折する目的で、暗にエチオピア政府に對しこの問題を國際聯盟に提出することゝ恣恣した。エチオピア政府はその獨立を侵害するものとし大ひに憤慨、一九二六年六月兩國政府に嚴重抗議すると共に之を聯盟に提出した。聯盟は之を受理し、本問題に關する伊エ及び聯盟間に交換せられた一切の文書を公表し、問題は之で飽氣なく解決といふことになつた。次で一九二

八年八月には伊エ間に二つの條約が成立した。一は修好仲裁條約で、一はアサブ、デシー間の自動車道路の敷設及びアサブ港に於ける自由地帯に關する件であつた。右自動車道路は首都アデスアベバ、チブチ間の佛國鐵道の併行線で、之に競争する目的であり、アサブ港の自由地帯設定はチブチの繁榮を奪ふ目的である。斯くの如く宿命の佛伊の利害關係は事毎に衝突葛藤を生じた。

バルカン問題 伊國の外交上佛國に次いで重視すべきは、ユーゴスロヴィア國との關係である。ユーゴスロヴィアはクロアチア、スラヴォニア及びセルビヤより構成されるが、前二者は戰前伊國の世襲敵境國の一部を構成し、世界大戰中は伊國と戰鬪を交へた忌はしき記憶がある。そしてバリ講和會議に際して、伊國はアルバニア北部のユーゴスラヴィアへの併合其他同國の勢力増大を極力抑制する態度に出た。爾來兩國の不和は益々露骨になつた。併し國境の確定に就ては長年の交渉の結果、一九二〇年十一月ラツバアロ條約及び之に次ぐサンタ・マルゲリータ協定によつて大體解決を見た。然しそれとて満足のものでなかつたので、ムツソリーリは政權獲得以來、一舉に一切の懸案問題の終局的解決を企圖し、一九二四年一月ローマ條約が調印せられ、兩國の關係は之に依つて健全なる基礎の上に置かれることゝなつた。

屈服したユーゴスラヴィア 一九二九年一月十四日ユーゴスラヴィアは、佛國との間に修好、和解及び仲裁條約を成立せしむるに成功した。之に對しムツソリーニは、アーメツド・ツォーグとの間に第二次チラナ條約を締結して對抗した。同條約によつてアルバニヤは完全にイタリアの保護國と化した。

ユーゴスラヴィア國は、歐洲列國の援助を乞ふも積極的に支持する一國もなく、却つて益々強硬なる伊國の政策に自國の獨立と存在を脅威せられる有様なので、アルバニヤ問題の國際的解決は之を斷念し、遂に伊國の前に屈服、一九二八年八月ネツツノ協定を結んだ。かくて一時歐洲の平和を脅威した伊國、ユーゴスラヴィア間の葛藤も、後者の讓歩によつて著るしく改善された。

土耳其と握手

イタリアの外交上第三に重視せらるべきはトルコとの關係であらう。トルコにケマル・パシヤの國民黨が崛起してギリシヤ軍を小アジアより驅逐するや、伊國は之に大に同情を表し、爾來伊國は土國の懷柔に漸次成功し、一九二七年初頭には犯罪人引渡條約、司法上の相互扶助條約其他多數懸案の解決を見、遂に一九二八年六月には伊土修好、和解仲裁條約が締結せ

られるに至つた。伊國は斯くしてトルコをも自己の外交政策の軌道内に引き入れる事に成功した。かくてイタリアはハンガリー、ブルガリヤ、アルバニヤ、ギリシヤ、トルコと相提携して、所謂ユーゴスラヴィア包圍政策を執りつゝあるのだ。

エチオピア併呑

最後にムツソリーニ外交の一大飛躍として、彼の名聲を不朽たらしめたのはエチオピア併呑である。抑もイタリアが最初はエチオピアに侵略の手を伸ばしたのは一八八八年で、エチオピテ全土を屬領化し、その經濟上の利益を壟斷獨占せんとしたが、勇猛果敢なエチオピア兵の反撃に會つて失敗した。續いて一八九五年、再びエチオピアの天嶮を冒して兵を進めたが、又々メネリツク二世の指揮するエチオピアの精兵によつて散々な敗北を蒙つた。翌一八九六年三月にも二萬七千の精兵を以てエリトリア國境よりアドワに進出せしめたが、伊軍は一萬の死傷七千の捕虜を出すといふ決定的の敗北に終つた。かく再三の敗戦に流石のイタリアも兜を脱いで、所謂アチスアベバ條約によつて、エチオピアの獨立國たる事を公然承認しなければならなかつた。が、伊國の野心は仲々収まらぬ。今度はエリトリア、ソマリランド間の鐵道敷設權獲得に狂奔したが、利害の一致しない英・佛の反對に逢つて結局之も空望に終つた。次で一九〇六年英

佛・伊の三國間の秘密協定に依つて、伊國は漸くソマリランド、エリトリア間の鐵道敷設計畫を英・佛に承認して貰つたが、肝心のエチオピア政府が斷乎拒絶して聯盟に提訴した。形勢が右の如く切迫した所へ偶々一九三四年十一月エチオピア北部ゴンドルに於てイタリア領事館襲撃事件が起り、續いて翌年十二月五日には伊領ソマリランドとの國境にワルワルに伊エ兩國兵の衝突が起つて兩國の紛争は愈々深刻化した。エ國は伊國の不當を聯盟に提訴し、伊國又之を反駁したがその間着々伊國は出兵準備を急ぎ、一九三五年六月、十萬の大兵を國境に送つたのを初めとして飛行機五百臺、總員三十餘萬の大軍を送つて待機した。その間聯盟では和協委員會を設け、數度勸告案を作成したが、徒らにその無力を發揮するに止まり、英佛の調停亦効なく、遂に同年八月伊軍は決河の如く首府アヂス・アベバ目掛けて總攻撃を開始した。茲に於て英佛は自己の權益の侵さるゝを氣遣つて地中海に英艦隊を集中、スエズ運河の封鎖、對伊經濟封鎖等を仄めかして伊國を牽制一時地中海の形勢頗る險惡となつたが、ムツソリーニの強行政策は遮二無二エチオピア征服の一途に驀進し、さすが勇敢果敢を以て聞へたエチオピア兵も近代兵器の猛威には一堪りもなく潰滅し、遂に首府アヂス・アベバは伊國々旗の下に陥落し、皇帝ハイラ・シラツシエー一世

は英國に亡命した。かくてイタリアは多年の宿怨を霧らして、エチオピアを以て東阿植民地たることを宣言した。事茲に至つては列國としても手の下し様なく、今やエチオピアを伊國の領土として承認する國は日本初め十數ヶ國に及んでゐる。

經濟・産業

入超國イタリイ

イタリイは有名な入超國で、年々歳々六億圓位の入超を平氣でつゞけてゐる

年次	輸入	輸出	入超
一九二五年	二六・二〇〇	二一・〇一五	五・一八五
一九二六年	二五・八七九	二一・一七〇	四・九〇四
一九二七年	二〇・三八五	一五・六三二	四・七四三
一九二八年	二一・九二〇	一四・五五九	七・三六一
一九二九年	二一・三五三	一四・八八六	六・四六七

この表に示す如く、近來に至つて輸入増加輸出減少の傾向がある。然し、伊國當局は機會ある

毎に國民に對し、その對外貿易の狀況は益々好轉しつゝあるから、決して悲觀することはないと吹聴してゐる。

伊貨の販路 伊國のアジア及び濠洲諸國への輸出は逐年増加しつゝあり、伊國輸出總額の五分強をしめてゐるが、その輸出品目について考察するに、戦前は綿絲布を以て重要な輸出品としたが今日では恐るべき日本品の進出によつて著しくその輸出を減少したのは止むを得ない結果である。對支輸出は大戦前に比して約三倍の盛況で、トルコ地方亦一大顧客である。

伊國の輸出品中の大宗は生絲、絹絲及び人絹で、次に絹織物、毛織物、綿布、綿絲、柑橋類、葡萄酒、自動車、米、生皮、麻布、機械、硫黃、乾果物等である。

借金整理の大手術 イタリイは有名な入超國であると共に、有名な借金國である。借金はイタリイ財政の癥でめり、この病根を手術し除去しない限り、財政は立直らない。

フランスト政府もこの借金整理には随分手も焼き苦心もした。殊に厄介なのは外債である。抑もイタリイが外債を背負ひ込むやうになつたのは歐洲大戰の共同戦線に活動し、英米から融通して貰つた所謂戦争債務である。この戦債は米國に、二十億四千二百萬ドルあり、英國には六億一千

八十四萬ポンド（六十億圓）もあつて、こんな天文學的數字に近い莫大の借金は今日のイタリイに到底支拂へるものではない。そこでイタリイは、お互ひの利益幸福の爲に融通した金であるから當然棒引しろとか、貸借の性質上元利耳を揃へて返させるのは不當だから宜しく減額しろとかゴタをこねたが、債權國側では、貸した金を取るのが當然だと言つて耳を藉さない。

そこで一九二五年大藏大臣が、直々ワシントンに乗込んで米國政府に泣きを入れ、遂に頗る有利な條件で話を纏め、同年十一月十四日協定に調印した。その協定といふのは、一九二六年から向ふ六十二年間に皆済する事、但し一九三〇年迄の五ヶ年間は毎年五百萬ドルづゝ拂込み、その後は段々金額を増加して、一九八七年には七千九百四十萬ドルを支拂つて打止めにすることに決した。四十億圓からの大金を半世紀以上の長い年賦で支拂ふなんて、殆んど棒引に近い有利な話で、イタリイ側としては大成功であつた。又、英國とは一九二六年一月二十七日ロンドンで協定調印、伊國は之又六十二年賦を以て初年二百萬ポンド、二ヶ年目から四百萬ポンド、四ヶ年目から四百二十五萬ポンドづゝ支拂ふこととし、結局最後の年、即ち一九八八年に二百二十五萬ポンドを拂込んで皆済といふ事に結着した。然し六十年後に果して世界はどう變るであらうか？ 現

在の債權國果して健全なりや？と思ふと、この解決案はナンセンスと言ふ他はない。

債券を焼く 斯くの如く英米兩國に對する巨額の戦債が前記の如く有利に解決出来たので、ムツソリーニ政府の財政上の病源は、その一半を除去する事が出来た。残るは内債の整理である。一九二九年の調査によると伊國には、七百十五億リラの整理公債があつた。政府はその債權者たる國民の愛國心に訴へ、義勇奉公の精神あらば所持の公債を焼き捨て、幾分なりとも政府の借金を苦を助けて貰ひたいと勸説した。ところが世はフアシストの天下であり、御大の御聲掛りであるから、義に勇む面々は我もくも債券を持出し、政府に奉納するといふ有様、集まつた債券はローマの無名戰士の墓前に於て、首相自ら之を火中に投じた。然し之は只國民の愛國心に訴へた迄で決して借金返済の政策ではない。今日迄火中にした債券は七億五千萬リラで、總額の百分の一にしか過ぎない。そこで政府では一九二七年國債整理金庫を設け、イタリー煙草專賣局を新設、その収入より年額五億リラを公債買上げの資金に充當した。かくしてとも角借金整理は一段の進捗を見たのである。

電氣事業の發展 次に歐洲大戰以後に於けるイタリー産業の發展を展望して見るとしよう。先

づ電氣事業は逐年進歩發展し、伊國産業中稀に見る躍進振りを示してゐる。石炭の産出皆無であるイタリーでは、是非共水力電氣の發達に俟たねば、工業力の旺盛を期し得られないのであるが幸ひアルプス及びアペニン兩山脈が水力發電に絶好の條件を與へ、多々益々辨する有様である。イタリー人はこれを「白炭」と稱しその天恵を讃へてゐる。

これら伊國水力電氣の發達狀況は、七億八千キロワット時の電力を産し、これを地方別にすると、東部イタリーは三千二百萬キロワット時、南伊は七千五百萬、中伊は一億五百萬、又北伊は五億七千萬である。

世界に誇る大理石 大理石と言へば直ちにイタリーを聯想する位、大理石はイタリーの重要産物である。毎年加工大理石の輸出量は三十二三萬噸であるが、その中カララ産大理石が九割迄占めてゐる。故にカララの盛衰は、斯業の消長を左右する。

蠶絲業 蠶絲業はイタリーの黄金産と稱せられ、その産額は日本に一等を輸すと雖も、ヨーロッパに於ては第一位を占めてゐる。最近の統計によればこれが輸出額は二十億五千万リラに達し、伊國總輸出の約一割七分にあたる成績である。然し、伊國蠶絲界を通觀するに、その状態は進歩

發達といふよりむしろ不振衰退の状態にある。その原因は一般養蠶熱の冷却によるもので、かゝる事態に對し、政府は頗る憂慮し、既に夫々適宜な救済策、施設を講じつゝある。

農産立國策 元來イタリアは農業國である。鐵、石炭其他工業用原料に何一つ恵まれない國なので、ファシスト政府が農業立國を高唱し、これが諸般の改良發達に向つて、銳意努力しつゝあるは當然の事と言はねばならぬ。

然し伊國は農業に適した國土であり乍ら、最近迄農業は微々として振はなかつた。之には種々原因があるが、先づ第一は政情の變遷動搖である。政權の絶え間なき移動によつて、農村は省みられず、農事は等閑視せられ、百姓も亦熱を失つた。茲に於てファシスト政權の確立以來、こゝ氣付いて農業立國を標榜し、大に國民の農事熱を鼓吹し、次で小麦の増收戰を宣言した。抑々伊國民の要求する小麦の年額は約九千萬キントルであつた。然るに歐洲大戰直後より一九二四年迄は、平均實收年額僅かに需要額の半ばに達し、四千九百萬キントルに過ぎなかつた。その爲伊國は年々外國小麦買入れにより、米國初め諸外國へ約四十億リラの支拂ひを餘儀なくさせられた。そこで、政府は國防の見地から食糧の自給自足を圖るべく、遂に一九二五年を期し「小麦増收

戰」を宣布し、官民協力してこの國家大事業に當ることゝなつた。

この宣戰に對し農民は擧つて奮起した。その結果は果然、收穫は逐年増加する一方で、一九二五年から二八年迄の四ヶ年平均は實に六千萬キントルに達し、二九年には更に一層の好成績を擧げ、七千萬キントルの收穫を見るに至つた。かくして今や小麦の自給自足は目睫の間に實現せんとし、外國貿易の逆調に苦しんで來たイタリアの輸入は漸次減退して、面目を一新せんとしつゝある。

社 會

生めよ殖へよ イタリアー長靴半島の面積は三十一萬キロ平方で、北伊地方に、二三肥沃の平原があるのみで、他は概ね山岳地である。この廣からざる土地に、現今五千萬の人口があり（外國に在るもの約一千五百萬人）その増加率で毎年四十萬位は増殖してゐる。この點我が國と大いに似てゐる。一九二二年、ムツソリーニのファシスト政府が樹立される以前は、この急激な人口の處分方法として、外國移民を以て唯一無二の緩和手段と心得、量も質も不問、無暗矢鱈に移民を

奨励した。爲に年々四十萬人位は出稼人を移出し、出移民國として世界屈指の國であつた。然るにムツソリーニの天下となるや、俄然方針を改め、「生めよ殖へよ數は力なり」「一億のイタリー人あらは世界に雄飛することを得べし」等と宣傳し、爾來各國が産兒制限だ、やれ人口と食糧の調節だ等と騒いでゐるのを冷眼視し、一路人口の増殖に向つて邁進した。

未婚者に獨身税 歐洲大戰後の經濟的大恐慌は伊國民にも生活難を來し、その結果は結婚數の減少となり、延いては人口増加率の低下を來すやうとなつた。そこで伊國政府は大いに憂慮し、妻帯して家庭を作るのは人間の義務であり、將又人生の基礎であると宣傳し、男は十六歳、女は十四歳から法律的に結婚し得る事に規定し、大ひに結婚を奨励した。又、二十五歳以上六十五歳迄の男子にして、自ら勝手に結婚せず、獨身でゐる者に對しては、所謂獨身税を課した。而してこれに依つて得た収入を産前産後の母體及び小兒保護の財源に充てた。ばかには出來ない、この獨身税は年額約五千萬リラに達した。

子福者奨励 律義者の子澤山の諺通り、伊國にも子澤山の貧乏人が澤山ある。政府では、これら律義者を救済し、併せて子實の益々多からんことを奨励する意味で、子福者には奨励金とか

又は免税とかの特典を與へることにしてゐる。現行制度では、七人以上の子供を有し、それが皆親がゝりの時は、先づムツソリーニ首相から子實を儲け奇特の事に候とて、縣知事を通じ金一封を賞與する外、子供の學校授業料を免除し、地方税の一部を免除される。すると新聞は、その家庭全員の寫眞を掲げ、よく生んで下されたとの賞辭と共に、天下に紹介する。村によつては村長が一杯御馳走して、勞を犒ふこともある。

イタリーの人種的構成 イタリーの民族には各種の型があるが、その大部分は昔から半島に居住したエトラスカン・セルト等の諸族を基礎とするラテン種である。その後蠻族の侵入によつて多少の影響を受けた。殊にスラヴの侵略は、人種及び習慣の上に相當の影響を蒙つた。又、ポーヘンスタフン家に率ゐられた獨逸貴族は、一時各地に有力な地位を占めたが、シャール・ド・アンジエーによつて驅逐せられ、次でアランゴン王と共にスペインの貴族が侵入して來たが、これらは北方の貴族と同様全然イタリー化した。

強制的に言語統一 イタリー國語は、ダンテの時代から唯一種あるのみで、ラテン語が基礎を成してゐる。外國諸族の再三の侵入も言語の方面にはさしたる影響なく、唯若干の外國語が各所

に残つてゐる。佛語はヴァーレ。ダオスタ、ラテン語はフリユーリ地方、スラヴ語はチヴターレ地方、アルベニア語はカラブリア及びシシリ地方に残つてゐるが、これらを語る人種の数は至つて僅かで、教養語としては一般にイタリア語が使用されてゐる。世界大戦後イタリアは、アルト。アデイジに於て約二十萬人の獨逸族を併合し、スゴリチア。トリエスト。イストリア州に於ては約四十萬人のスロウヴェとを併合した爲、學校、官廳、及び兵營に於ては極力イタリア語の使用を強制してゐるが、果してこれら民族の母語たる外國語が消滅し、イタリア語のみが話されるやうになるかは將來に残された大きな問題である。

博物館王國イタリア イタリアの財源が博物館の存在によつて莫大の利益を收めつゝある事實は見逃せない。然し、一口に博物館と言つても、一朝一夕にして生れたものではなく、遠くローマ時代から三千年の過程を経て、今日イタリア財政に寄與してゐるのである。

イタリアが歐洲文化の搖籃と稱せられる以上、今日世界の何れの國を探しても、恐らくイタリア程貴重な名作を保存してゐる所はあるまい。かゝる重大な財源だけに、ファシスト政府になつてから、名作保護運動が擡頭し、法律案を以て嚴重にその輸出を取締つた。

現在イタリアで美術館と公稱し、觀覽料を徴收するものは三百有餘あり、毎年二百萬人内外の外人がこれら美術館の觀覽料として落す金は、四千萬圓以上に上るさうである。先年のアメリカの一經濟統計學者がイタリア内に保管されてゐる古美術の總價格に見積つて、その額九千億弗を超えるだらうと、如何にもアメリカ人らしい計算をしたが、之によつて見ても今日、イタリアが財政的に没落を暗示される理由は毫もない譯である。

博物館としては先づ第一に國立博物館、ローマ博物館が古代ローマ時代の遺跡をその儘存し、幾多の永世不滅の名作を蒐めその精華を誇つてゐる。地方的に散在してゐる博物館の主なるもの挙げれば、ナポリには國民博物館、カタコンブの人骨博物館があり、ポイベイには死灰の古都をその儘發掘した國立博物館がある。この發掘の背面に今尙濛々と白煙を上げてゐるヴェスピヤスの火焰地獄がそのまま山嶽博物館となつてゐる。更に南方のシシリ島のシラキユース市には、ギリシヤ移民の襲來した當時を歴史的に證明した移民博物館がある。

又植物博物館は一九二六年四月ローマ市に新設され、次いでナポリ、メシナに海外發展小博物館の設立を見た。寺院をそのまま美術館若くは博物館としたものには、アツシンのサン。フラン

チエスコの寺院博物館、ベルジヤのゾーモ美術殿、商業美術館、ゾーモ博物館がある。尚フ
 ロレンスは全市を擧げて美術の街であるが、主なる美術館を上げると、ウファイチ博物館、ピツテ
 イ美術館、サン。マルコ博物館、バルジエロ國民博物館あり、其他ピサ、ミラノにも寺院美術館
 があり、ヴェロナにはヴェロナ博物館、ラヴェンナにはラヴェンナ博物館等あり、到る所に博物
 館あらざるなしである。殊に異色のある博物館としては、ベルジヤのエトルスク考古博物館、ト
 リノ市のトリノ考古博物館、フロレンスの僧侶博物館、ヴェニス商業博物館、ナポリの兒童
 教育博物館、ゼノアの海上博物館、ミラノの藥品博物館、トリノの養蠶博物館、小麦博物館、ヴ
 エニスの古建築博物館、水上博物館、トリエストの船舶小博物館、ミラノの鐵道博物館、トレ
 ントの林業博物館、シンツリー島の酒造博物館、トリノの自然科学博物館、ローマの音樂博物館、
 戦争博物館、劇場博物館、骸骨博物館、ナポリの水族博物館、ポンベイの火山博物館等々あり、
 斷然イタリーは博物館の王國の觀を呈してゐる。

軍 備

國防機關の統一 イタリーといふ國は政治的に複雑した背景を持つてゐたので、その國防機關
 も亦複雑を極め、國家一朝有事の秋、之を統一して運用する事は頗る困難であつた。が、フアシ
 スト政權確立以來この缺陷を痛感し、その統一化が急速に早められた。その主なるものは國防最
 高會議と總參謀本部である。これは一九二三年十一月にムツソリーニの提唱に依つて創設せられ
 た。その目的とする所は國防に關する諸問題の研究と諸制度とを統一し、國家が國民の社會的活
 動資源を利用する爲に必要な諸規定を制定するにある。その組織は評議會、諮詢機關、事務局の
 三つから成り立つてゐる。評議會は、國防に關する諸問題を案出して諮詢機關に研究せしめ、其
 決定的意見と説明とを求め、之を基礎として實行上の諸準備施設を審議決定するのである。然
 し最後の議決權は大員と元帥だけが有してゐる。諮詢機關には、陸軍軍事參議官會議、海軍將校
 會議、空軍技術會議、及び國家總動員會議があつて、各専門事項の諮詢に應じて會議を開き諮詢
 機關としての意見を決定し、之を評議會に報告するのである。國防最高會議事務局長は、陸軍參

謀本部の大佐又は中佐を以て選任せられ、局長は陸・海・空各軍の佐官又は尉官參謀から成立つてゐる。

又、總參謀本部は、國防組織を統一し、戦時中の作戦指導を圓滑ならしむる様に、一九二七年二月制定されたもので、總參謀總長は、陸・海・空軍官中二軍以上が協同作戦をする場合、その計畫を立案し、又平時にあつては聯合訓練の方略を立案すると共に、實行上の指導に任ずるものである。總參謀長は陸・海軍元帥又は大將中より任命せられ、其職責遂行に關しては、總理大臣の指示を受ける。

ムツソリーニの軍事改革 さて最近數ヶ年の伊國陸軍の變遷を振り返つて見ると、實に多事多難である。

一九二二年にはイタリー國內各所に騷擾が起り、軍隊も亦不安に襲はれ、軍隊の士氣は非常に沈滞した。ファシストが祖國愛に燃えて奮然歐起したのはこの時である。一九二二年十月、所謂ローマ進軍を行つて政權を握つたムツソリーニは、チアチ元帥を陸軍大臣に任じ、直ちに應急處置を講ぜしめた。元帥は翌二三年先づ陸軍の基礎確立の爲、幹部の精神及び物質的諸制度を定め

ると共に新徴兵令を發布し、續いて陸軍編成を速かに發布しようとしたが、陸軍參謀本部は之が起草に可成の時日を要したので、ムツソリーニは遂にもどかしがつて、一九二五年自ら陸軍大臣を兼攝し、一気に法令の立案を進行、翌二六年之を可決すると共に空軍の基礎を確立し、海軍にも亦根本的革新を斷行した。これが爲にイタリー陸軍は一大躍進を遂げた。

伊國陸軍の現有勢力 伊國陸軍の平時編成兵力は二十八師と一兵團であつて、内半島本土に二十六師團、シシーリ島に二師團、サルチニアに一兵團を配置してゐる。この二十九師團は、更に十二軍團に編組し、更に半島軍團は平時より四軍に編成し、トリノ、フォレンツエ、ポロウニヤナポリに軍司令部を置き、全兵力中七軍團を北イタリー即ちアルプス國境に近く配置してゐる兵員の數は將校及び下士は各約一萬五千、一年次の徴集人員は約十八萬人であつて、下士の數の割合に少いのは准下士たる伍長が分隊長の職務を取るからである。此外に憲兵約五萬を有する。

軍團及び師團管區は即ち動員管區であつて、管區内には軍團及び師團の動員擔任部隊を迅速に編成するに必要な諸要素を備へてゐる。軍團は二若しくは三師團と直轄部隊として野戰重砲兵聯隊、工兵聯隊、高射砲隊、自動車隊各一を持つてゐる。又師團は三聯隊編成の歩兵一旅團と野砲

兵一聯隊から成り立つてゐる。これらの大單位部隊以外に、騎兵旅團二、海岸砲兵及び重砲兵聯隊とイタリイ陸軍特有のアルプス兵團三及びベルサツリエールと稱する自轉車編成の歩兵聯隊十ニをもつてゐる。このベルサツリエールは騎兵と合して輕快兵團二箇を編成し、輕快兵團がアルプス兵團はアルプス國境に於て特に山地戰に適す如く訓練を行つたもので、歩兵聯隊九と山砲聯隊三から成り、アルプス歩兵聯隊三と山砲聯隊三を以て一兵團を編成してゐる。要するにイタリイ陸軍の總兵力を各兵科別に見ると、歩兵聯隊一一一、戰車聯隊一、騎兵聯隊一二二砲兵聯隊六十七、工兵聯隊十七となる。

土人との混成植民地軍 この他、イタリイ植民地エチオピア、トリボタニア、チレナイカ、エリトリア、ソマリランド等には夫々植民地軍を有してゐる。植民地軍は各植民地總督に隸屬して居り、正規軍と不正規軍とに別れて居て、正規軍は伊國人たる將校下士兵卒を中心とし、主力は土人兵卒から編成されてゐる。尙植民地には陸軍の外に、空軍の偵察及び爆彈飛行隊、護國義勇軍も附屬してゐる。

黒シャツ軍團の活躍 黒シャツ軍と言へば世界に鳴り轟いてゐるが、正しい名は護國義勇軍と

いふのである。その起源はムツソリーニがファシスト黨擁護の爲に創設したもので、現在では總理大臣に直屬してゐる。其後之を純然たるファシストの私兵として置く時は、多くの維持費を要するので、一九二三年護國義勇軍條令を制定して、特殊の性質を帯びる國軍の一部とし、その職務は陸軍と同様の規律規則を遵奉する事になつた。義勇軍は常設機關として、總司令部一、管區司令部十五、獨立旅團司令部一、聯隊本部百四十を有し、階級及び團體の名稱徽章禮法等は凡て古往ローマ時代の型を取つてゐる。義勇軍の下士官兵卒は満十七歳以上五十歳以下のイタリイ國民であつて、身體強壯、道徳及び政治上の特別條件を備へた者の志願者中より採用する。而して義勇軍の教育は軍事教育及び警察勤務教育の二種に分れてゐる。義勇軍の召集には一部召集と總員召集とがあり、前者は聯隊以下及び小地方毎に實施出来るが、總召集は公安を維持する爲か、危急の場合、總理大臣の命がなくては實施する事が出来ない。

義勇軍はその特科隊として、鐵道義勇隊、郵便書信義勇隊、森林義勇隊、國境義勇隊、港灣義勇隊、防空義勇隊を有してゐる。尙義勇兵ではないが、やがて義勇兵となるべき、堅實なるファシスト黨員養成機關として、青年ファシスト黨及び少年ファシスト黨を持つてゐる。前者は満十

三歳以上十七歳の青年男子を以て組織し、後者は十三歳以下八歳以上の少年を以て組織してゐる
軍縮協定と伊太利海軍 イタリイは歐洲大戰前には弩級艦六隻を主力とする海軍を有し、尙三
萬一千噸級の弩級艦四隻の計畫を有してゐたが、大戰勃發の爲、全部之を抛棄して參戰、ブレ
ムダ沖では塙匈國艦隊を大に惱まして偉勳を奏した。

その後華府議會の開催となり、會議の結果イタリイ海軍は主力艦の代艦建造を認められたが、
先づそれよりも補助艦の充實が必要なりとし、一九二三年に一萬噸級巡洋艦五隻、一等驅逐艦二
〇隻、潜水艦二〇隻、敷設艦一〇隻を一九二九年迄に建造する補充計畫を立てた。然し海軍部内
に於ては當時巡洋艦の艦型に就て一萬噸級と五千噸級と何れを可とするやの論議に際し異論百出
して、結論に達しなかつた。結局一九二七年に至り起工二分を取消し、新たに第二次建造計畫を
立案するに至り、爾後空軍の大擴張と共に、海軍の補充計畫も年毎に立案され、漸次充實されつ
ゝある。

國を賭ける海軍政策 イタリイの海軍政策は、歐洲大陸の最大海軍國と均勢の海軍力を保持し
空軍と協力して、戦時に於て原料品と食糧品の輸入通路たる地中海の咽喉を扼する最も重要な

三交通路、ジブラルタル、スエズ、ダーダネルスの一を、完全に自己の制海權下に掌握するに十
分なる兵力を保持しようとするにある。殊に一九三六年エチオピアを領有してからは、一層この
目的が強化された譯である。

イタリイの本國沿岸は三鎮守府と一獨立要港部に分けてある。即ち西岸のスペチャには、上部
チレーノ海軍管區鎮守府があり、ローマの少し北の海岸から佛國々境迄を管區としてゐる。ネー
ブルスには、下部チレーノ海軍管區鎮守府があり、この鎮守府の麾下には三要港部がある。即ち
シシリイ島のメツシナにはシシリイ要港部、サルチニヤ島のマダレーナにはサルチニヤ要港部ネ
ーブルス灣内のカステラコレにはカステラコレ・デイ・スタビヤ要港部がある。イタリイの
南部即ち長靴の底と踵の方面は、イオニオ海及び下部アドリヤチコ海軍管區鎮守府の管轄に屬し
鎮守府はタラントに置かれてゐる。更にアドリヤチツク海の中部から以北はヴェニスにある上部
アドリヤチコ獨立要港部の所管に屬してゐる。以上の中、スペチャ軍港とタラント軍港が最も大
きく、海軍工廠が附屬し、尙カステラコレには造船廠がある。

伊國海軍の現有勢力 ところで無條約第一年たる一九三七年に於ける伊國海軍の現有勢力はど

れ位かと言ふに、約四十四萬噸の艦艇を擁して居りその内譯は次の通りである。

主力艦	四隻	八六・五三二噸
航空母艦	一隻	四・八八二噸
巡洋艦A級	十隻	九七・三四二噸
巡洋艦B級	十七隻	七七・九七四噸
驅逐艦	九十一隻	九三・三三三噸
潜水艦	六十四隻	四八・九八七噸
合計	百八十六隻	四〇四・一六八噸

この他目下建造中の艦艇四十一隻（一一六・四八四噸）がある。

空軍擴張に全力傾注 歐洲大戰の末期、伊國陸海軍は合計三千機内外の飛行機と數隻の半硬式飛行船とを有し、空軍兵力に於ては斷然獨逸軍を壓倒した事は、イタリアが如何に空軍の發展に鋭意努力しつゝあるかを物語るものである。では、何故にイタリアは空軍を重要視するか？之れは當然深い理由と根據がなくてはならぬ。

元來イタリアは北方に峻峻なアルプスの山系を負ひ、フランス、スイス、ユーゴスラヴィア、國境を接してゐる。而して伊國は開闢以來海上方面より侵略を受けた事なく、常に大陸方面より侵略の外敵の脅威を受けてゐるのである。よつて當然の歸結として、特殊の地勢と既往の歴史に鑑み、空軍擴張に全力を傾注する事となつたのである。

殊にアルプス諸山系は攻守作戰に非常な障害となり、動ともすれば活動の迅速性を失ふ恐れが多分にあるので、開戦と決するや、敵に先んじて優勢の位置に就かんが爲に、精銳強大なる空軍を充實し、以て敵の出鼻を叩かんとする魂膽なのである。

三百機から三千機に 歐洲大戰終了後の政局の不安定は、政權の目眩しい移動と共に、社會黨の反軍熱によつて、新興兵力たる空軍は全く顧みられず、一九二二年十月、ムツソリーニが組織した當時は、陸海軍合せて使用に堪え得る軍用機は僅かに三百を數ふにすぎなかつた。

ムツソリーニは、伊國の將來は空軍の力に俟つところ極めて大なるものあるを痛感し、組閣翌年航空總監部を新設、自ら航空總監部長を兼ね、新たに空軍並びに民間航空に關する諸規定を制定して空軍勢力標準を陸上機九大隊、水上機四大隊、飛行船隊一大隊より成る六個聯隊（三

個師團(編制)に定め、空軍兵學校を創設し、幹部教育の基礎を作つた。更に一九二五年四月には空軍參謀本部を新設し、同年五月には更に空軍次官を置き、伊國空軍法案を制軍發布して空軍兵力増勢の基準を定めた。次いで同年八月には航空總監部を廢し、航空省を設け、ムツソリーニ自ら航空大臣を兼攝し、茲に於て伊國は三軍制度を確立するに至つた。而し伊國空軍の現有勢力は陸海兩軍併せて約三千機有餘と推定せられる。

イタリー空軍の誇り 一九三〇年十二月から三一年一月にかけて、バルボ空相自ら參謀總長を從へて、爆撃機水上機十四を率ゐ、大西洋横斷ブラジル大飛行を企てた快舉は、伊國空軍の驚異すべき實力を世界に示したものと見て吾人の記憶するところである。又、その後一九三五年エチオピア遠征には、四百餘機の銀翼を列ねて、近代科學戰の猛威を發揮して、エチオピア黑人帝國を一朝にして壊滅せしめたことも亦、よくイタリー空軍の實力を世界に認識させたものと言ひ得よう。

【文化篇】

科學

科學のイタリー イタリー人が古來發明、發見の才に富んで、科學界にも幾多大きな貢獻をなしてゐることは顯著な事實である。

即ち古くはガリレオやボルタあり、近くは海底降下艇發明者のビノーあり、太陽鏡のクルツチ更に最近に至つては地震豫知のペンタンチがある。かくの如くイタリーは古來科學及び發明界に於て獨得の地位を占めてゐるが、近世科學界にイタリーとして世界に誇る一大發明は無線電信の發明である。

無電の恩人マルコーニ侯 今日科學界の花形として、最も文化向上に貢獻しつゝあるものは無電である。この無電の發明者は言ふ迄もなくイタリーのグリエルモ・マルコーニである。

一八四四年(弘化元年)米人モールスが初めてバルチモーア、ワシントン間の電信開通に成功

し、其後二十數年にして歐米間の通信を爲し得るに至つた時は、勿論當時の人々を驚歎せしめたに違ひない。然し有線電信は施設に多大の経費を要するのみならず、通信受授の範圍も自から限定されてゐた。

年若きマルコーニは、當時二十三歳の青年であつたが、イタリアボローニア大學理科に籍をおき只管物理学に研鑽、當時としては空想に近い無線電信の發明に心を潜めてゐた。かくして苦心慘澹漸く一八九七年その實驗に見事成功した。次で英國及びイタリア海軍に於ける實驗にも成功して十分の確信を得るに至り、一八九九年にはイギリス海峡を隔つる英佛間の通信に成功、世界通信界に一新紀元を劃した。

其後一九〇一年には英國のコンウォールと米國のニューファウンドランドの某地間との通信に成功し、無線による大西洋横斷通信の記録を作り、更に翌年にはイタリアの一洋巡艦に乘組んで英國からロシアに向けて航行中、彼はコンウォールから受信した無電を、更に當時ロシアの軍港クロンスタットに滞在中の露皇帝及びイタリア現皇帝ヴィクトリオ・エマヌエル三世に轉電し、又同年冬には英國カナダ間の通信に成功した。客船が無電機を設備したのは一九〇三年ローヤル

メール・スチーマー汽船會社がマルコーニ無電機を備へたのが嚆矢で、爾來無電は一躍時代の寵兒となつて全世界に普遍、爲に忽ちにして地球は短縮した。

彼は無電發明の功に依つて、一九〇九年學者として最高の榮譽であるノベル賞金を受け、又一九二九年六月には伊國皇帝から侯爵を授けられた。その他彼は現に一九一五年以來伊國上院議員として國政に與る外、ファシスト政府に依つて創設されたイタリア王國學士院の院長として、イタリア學界の振興、發展に盡瘁してゐる。一九三二年二月彼はチエノベ港から一萬マイルを隔てた濠洲シドニー市廳の電燈を特別装置によつて明滅する實驗に成功、次で無線電話にも成功、世界を驚かせたが、その壯者を凌ぐ精力と不斷の研究熱は、今後如何なる驚異の大發明をもたらすか豫側を許さぬものがある。實にマルコーニ侯こそは、イタリアのエチソンとも稱すべき至寶である。

北極の勇者ノビレ少將 マルコ。ポーロヤコロンブスを歴史に持つイタリアの探險熱も亦頗る旺盛である。北極探險では、既に三十餘年前、即ち一八九九年にルイチ・アメデナ殿下が貴族の身をもつて、北緯八十六度三十三分の地點に達し、當時の記録を作られたことがある。

その後にはける北極探險の壯舉は、一九二八年飛行船イタリー號で、ウムベルト・ノビレ少將によつて行はれた。ノビレ少將は、その前年一九二七年我國に來朝したことがあるので、夙に我國人に取つては親しみが深い。

ノビレ少將が北極探險の計畫を發表するや、ミラノ市ではその探險に要する一切の費用を負擔すべき事を申出でた。依つて船の名も「ミラノ市」と命合された。かくて一切の準備を整へたミラノ市號は、一九二八年五月二十日、地中海の軍港スペチアを發して一路スバルバード群島のキングスベールに向つて航行した。一行中にはベホーネク教授、スエーデンのフィン・マルモグリー等の知名なる科學者が参加してゐた。「イタリー號」は五月三十日ストックホルプを發し三十時間飛行の後ノルエーのバドソ着、翌日同地を去つて六時間後無事キングスベールに到着し、豫め用意された假格納庫に入つた。

白皚々の氷山は萬古の神祕を藏して聳へ、深夜の太陽に淡く照らされて氷原は何處迄も續いた各員はその重且つ大なる使命を痛感し、二年前の探險で北極には十分の經驗あるノビレ少將を絶対に信用し、夫々任務を遂行した。

イタリー號の遭難 五月二十三日、それは北極には珍しい好天氣で氣壓、溫度共に絶好の機會と見て一同勇躍キングスベールを發して北へ向つた。二十四日正午頃北極點に近づき、午後一時二十分イタリー號は稍下降して先づイタリー國旗を投下し、同三十分頃法王から受けた十字架を投下、幾度か千古の氷原の上を旋回した後南へ向つた。が、それから數日間杳としてイタリー號は消息を絶つて全世界人を不安と驚駭に陥らせた。が、漸く六月四日に至つてソ聯邦政府の北極無線電信局にSOSが受信され、七日には「ミラノ市」號も微弱乍ら受信し得て、一行は北緯八十八度三十分、東經二十八度四分の地點にゐることが判明した。安堵と共に一刻も早く救助すべく、ソ聯邦政府は直ちに碎氷船を派遣した。又探險家のアムンゼンは往年の意氣未だ衰へず、フランス政府派遣のラサム第四七號に搭乗、十八日ツロムソアを出發、救助に赴いたが、不幸其後杳として消息を絶つて行方不明となつてしまつた。二十日、マツダレーナ少佐のS第五五號は漸く一行の所在を發見して食糧を投下した。二十二日にはスエーデンの飛行家ランドボルグが無事着陸、ノビレ少將を乗せて、當時ヴィルゴ灣に碇泊中の「ミラノ市號」に運んだ。ランドボルグは更には殘餘の人々の救出に赴いたが、着陸の際機體を損じ、七月六日スエーデン機に救はれる迄氷山の

囚人となつた。

十日には、残りの隊員二名もソ聯のチユコノスキーに救はれた。

北極の悲劇 これによつて初めて判明したのであるが、イタリア號は五月二十五日、極心から南方へ航空中、氷山に衝突、僅か二分間で船體を破壊、ノビレ少將他九名の搭乗船員は船體から離れて残され、爲に重重の減じたイタリア號は、其他の乗員を乗せた儘、風のまに／＼東方に吹流されて行方不明になつてしまつた。かくしてミラノ大學教授アルド・ボンツレモリー、アルヅイーノ、カラーチ、アレツサンヅーニ、チヨツカの四少尉「ボボロ・デ・イタリア」紙の特派記者ウーゴ・ラーゴ等は行方不明となつた。一方氷上に残されたノビレ少將一行は一名が死亡、二三名が負傷したのみで生命を完うし、五十日分の食糧に生命を託し、無線技師が必死となつて SOS を発信してひたすら救助を求めたのだつた。

かくて全世界の耳目を聳動させたノビレ少將遭難の悲劇は幕を閉ぢたが、ムツソリーニ首相は何と感じてか七月十日、ノビレ少將以下の生存者に對し、即時歸國を命じ、且つ途中絶対に聲明書を出したり、新聞記者に會見することを禁じた。九月十四日、ローマでは陸軍大將ニコラ・バ

ツケルリを委員長とする一行に對する審査委員會が任命され、その後數ヶ月に亘つて審問が續けられ、その結果はパンフレットとして公刊されたとの事である。

宗 教

教會の絶対権能 イタリア人民の殆んど全部即ち九十七パーセントはカトリック宗派に屬し、二・五二パーセントが無宗派で、その残りが他の宗派に屬してゐる。然し信仰の自由は廣く認められ、又如何なる形式に於ても宗教上の迫害は存しない。カトリック教會に屬せぬと言ふ事によつて公私の生活上に何ら資格又は差別は設けられないことがない。

イタリアは永い間「教會」の絶対権能によつて支配されてゐた國だけに、郷土人の風俗に至るまで、教會の権能が影響を及ぼす。ギリゴリアン・カレンダーと言はれる新曆を創定した法王グレゴリオ十三世の大祝賀祭典に近郷近在の女といふ女は悉く、髪を頭巾でくるみ、色とり／＼の下袴を身に纏ひ、ローマをさして集ひ寄つたことがある。が、その下袴の餘りに短過ぎたのが輕佻浮薄の感じを與へてか、聖廳の役人の忌諱にふれ、お上の費用で悉く長く作り替へられ、

一夜にして聖都の若い女は、いとも敬虔な姿に變つたとかいふ記録があるが、以て如何に教會の權力の大なるかを推して知ることを得よう。

僧官の制度 又政治方面にも大きな勢力を有つてゐるのを證明する事實として、軍隊の特殊機關中に、僧官の制度がある。成程イタリアはカトリック教の世界的總本山たるサン・ピエトロ寺院の存在する國であり、ローマ法王の在す國である。勿論カトリック教を國教とし、寺院は國民の私的戸籍役場であるだけ宗教と國民生活とは分離し得ない因縁をもつてゐる。その結果僧官が軍隊の制度となつて現はれたのである。軍隊教育と宗教を結びつけた所に妙味がある。我國のやうに尊嚴な國體をもつてゐない限り、十字架の力を借りて、平戦兩時共に、軍隊の士氣を統一振作しようとする所に、この制度の價値があるのである。この制度は一九二六年三月制定せられたものであつて、カトリック教の僧侶中より僧官を任命して、陸、海、空各軍に配屬し、その最高指導は法王廳の僧正が行ひ、全僧侶の軍隊に對する宗教的紀律、法則を運用せしめてゐる。その待遇は軍隊教師たる僧正は、一般官吏としては中佐相當官であるが、精神的待遇としては中將の格式を與へられてゐる。その輔佐官たる管長は少佐相當官として大佐の格式を與へ、又宗教監

察官たる僧官は、大尉相當官として中佐の格式を與へ、その他一般僧官は身分及び待遇共に大尉相當官である。

ローマ問題の経緯 イタリアの宗教を語るには、先づ何を措いてもローマ教皇に就て知らなくてはならぬ。

歴代のローマ教皇は、キリストの十二使徒の頭目、ローマで殉死した聖ペテロの後繼者で、カトリック教會は原始キリスト教會の成長した後身である。かくてベルンヤ、シヤルマーニユの寄進にかゝる土地が基本となつて、イタリアの中部に所謂ローマ教皇領なるものが出来上り、その領域に多少の變動はあつたが、一千有餘年の間、ローマ教皇が、その領主或は國王となつて來たのであつた。

ところが近世に入つて小國に分裂したイタリアは、サルヂニア王ヴィトリオ・エマヌエーレ二世及び、宰相カヴァールによつて統一された。この際、最後まで孤立して残存したのは教皇領であつた。然るに一八七〇年、チポレオン三世皇帝が普佛戰爭に敗れ没落するや、ヴィトリオ・エマヌエール王は、當時の教皇の安全及び秩序を維持する爲に、教皇領を占領する不可避の必要あ

る旨を通知した。勿論教皇は王の要求を容れなかつた。そこで王はローマ占領を命令し、九月二十日カドルナ將軍の率ゐる四箇師團の軍隊は、形式的の抵抗を受けただけでローマ市に侵入した。翌朝午前十時、教皇は無用なる人命の犠牲を避ける爲に、サン・ピエトロ大聖堂の上に白旗を掲揚させた。かくして、教皇領は地圖の上から消滅した。イタリア政府はその後始末をつける爲に人民投票を行はせ、次で翌年三月十三日、教皇の安全と布教の自由を保證した保證法を一方的に發布した。ところが、ピオ九世は二日後の三月十五日、教皇領の占領、併合並びに保證法の法律上無効なる事實を擧げて斷乎として反對意志を表示した。この見解は爾後、ピオ九世の後を繼いで教皇となつたレオ十三世、ピオ十世、ベネクト十五世、並びに現教皇ピオ十一世によつて踏襲せられ、教皇と政府との對立によつて所謂「ローマ問題」の紛糾がつゞけられ來つたのである。

イタリア政府の壓迫　かくて爾來事毎に教皇廳とイタリア政府とは反目し合ひ、イタリア政府は數千の修道院を解散しその財産を沒收し、學校に於ける宗教々育を禁止し、一切の慈善事業を政府の管理に移し、これに宗教家の關與する事を禁止する等々教會に彈壓迫害を加へる事を怠らなかつた。かくの如く、凡そ世界大戰の頃迄、教皇廳とイタリア政府は悉く反目の状態で、ロ

ーマ問題はいつ解決されるかその見當さへつき兼ねる有様であつた。

和解の動機となつた歐洲大戰　しかし乍ら歲月の経過は双方の感情的分子を緩和し、お互ひの理解も生じて來た。そこへ更に兩者の間を著るしく接近せしめたのは、かの世界大戰の勃發であつた。特に當時の教皇ベネクト十五世の國務聖書省長官ガスパツリが「教皇廳は戰爭を利用し、政府を窮地に陥れんとする意志を少しも有ぜず。たゞ、神の攝理に信頼し、イタリア國民の正義感に基きて、自己の地位を正しく恢復せんことを欲するのみ」と一九一六年九月宣言したことは、イタリア政府に非常な好感を以て迎へられた。かくて、一九二二年二月六日、現教皇ピオ十一世が教皇に選舉せられ、一方フランスト革命によつてムツソリーニが政權を握るや、ローマ問題の解決の機運は徐ろに熟した。

ムツソリーニの斡旋　ムツソリーニは國民の市民的幸福の爲及びイタリア國の世界的發展の爲にカトリック教會と握手し、カトリック精神を取入れる事の賢明なる事を察知し、先づ國內のフリー・メーソン秘密結社（無神派で宗教否定論者の結社）を解散し、次に前に沒收した修道院の土地建物を返還し、學校と裁判所に十字架を掲げさせ、カトリック的宗教々育を小學校に於て義

務的に行はせた。これらムツソリーニの諸政策は大にカトリック教會の同情を買つた。

ラテラン協約の締結 ラテラン協約に依つて教皇廳と政府の和解が公式に發表されたのは一九二九年二月七日で、越へて二月十一日、ラテラン宮殿に於て、樞機官ガスパルツリとイタリー首相ムツソリーニとの間に記名調印が行はれたが、餘りに突然而も意外なので世人は半信半疑であつた。この和解工作は一九二三年から極秘裡に斷續的に行はれ、實に三十二ヶ月を要した。

教皇廳の國際地位の確立 このラテラン協約の締結によつて、カトリック教會の靈的主權者たるローマ教皇は、六十年來の主張を貫徹して、小なりと雖も獨立國、ヴァチカン市國の國王たる事が明かにされた。而して政府は賠償の意味で、教皇に七億五千萬リラの現金と、十億リラの五分利附公債を交附した。其他カトリック教會と國家との利害關係について、兩者の間の衝突を避け同時に兩者の相互の利益を増進するために八十餘ヶ條の協約が締結されたのである。

全世界のカトリック教徒は、この協約の締結を大なる歡喜を以て迎へた。然し、何と言つてもイタリーの將來と自己の政策とに、教皇の有力なる精神的支持を得べく、從來の行きがりを一切抛擲して、この大轉換を試みたムツソリーニの政治的見識を以て最もと偉すべきである。

戦争の慘禍より救ふ 協皇が世界平和の爲に如何に貢獻したかといふ實例は、世界大戰中に活動した教皇の活動により之を求めることが出来る。大戰中教皇は、各交戰國に屬するカトリック教徒の爲に直接宗教上の扶助の他、捕虜の解放、交換、救養に關する提議、侵略地在住民の通信に關する提議、ダーダネルスに於ける聯合軍戰死者墳墓に關する斡旋、戦争によつて窮乏に陥れる人民の爲の糧食給與、權利と正義との侵害に對する抗議等があり、又戦争の終結の爲の大々的平和運動等々が擧げられる。

獨立國ヴァチカン市國 ラテラン協約の締結によつて成立したヴァチカン市國は、ローマ市内にあつて、その面積凡そ十三萬坪、人口七百有餘名、世界最小の獨立國で、教皇國は大體サン・ピエトロ大聖堂及び附屬建築物とその前面の大廣場及ぶ、セアチカン宮並びに附屬建築物、その庭園に盡きる。
ヴァチカン市國の國籍を有するものは、ヴァチカン市國又はローマ市内に居住する樞機官、極めて少數の高位聖職者、數名の高級官吏、ヴァチカン市國總督、その他を除いてはヴァチカン市國に職を奉じてその中に居住する人々のみである。教皇の護衛兵は約百名ほどである。新聞はオ

ツセルヴァアトーレ。ローマノといふ純ヴァチカン御用日刊紙が發行され、無電局もあつて、ローマ教皇自ら全世界に向つて放送をされる事もある。面白いのはヴァチカン獨特の通貨を發行されてゐる事である。

ローマ教皇の使節は各國に派遣されて、教會の精神的利益の爲めに外交官として働いてゐるが一面列國外交の觀測臺たる役目も勤め、各國の駐在使節からローマに報告される情報は夥しいものである。この點、教皇廳ほど完備した全世界に亘る通信網はないと言はれてゐる。これがローマ教皇をして世界の政治上に重大なる權力を有せしめる一因である。

かくて三億六千萬の信徒を有するローマ教皇は、キリスト教の理想たる平和と博愛を標榜し、軍備なくして、又大なる領土を有せずして、全世界に隠然たる大勢力を有してゐるのである。その證據にはイタリーを訪問した各國元首は、自己の信奉する宗教の如何、自己の統治する國家の國情の如何に關せず、必ずローマ教皇の訪問を禮としてゐる。畏れ多くも我が天皇陛下（當時皇太子殿下）におかせられても海外御旅行の際、大正十年八月ベネチクト十五世をヴァチカン宮に御訪問あそばされた。これらの事實は、ヴァチカン宮の主人が、ラテラン協約締結以前に於て

も國際的主權者たるの地位を顯然として占めてゐる事を物語るものである。

藝 術

歐洲大戰の影響と文學 歐洲大戰及び戰爭直後の社會狀態は、イタリー文學に對して大きな影響を與へずには措かなかつた。即ち、國家組織、社會制度、人間生活に對する觀念が懷疑になり、破壊的になり、虚無的になり、單なる戀愛や、個人の意識を扱つた在來の文學が何らの興味も與へなくなり、現實から眼をそらし、夢幻空想に耽り、更に嘲笑的諷刺的になつた。この傾向は先づ端的に劇文學に現はれ、ルイーデ・ピランデルロの「作者を探す六人の登場人物」各人各説「ルイーデ・キヤレルリの「假面と顔」絹の階級」ルイーデ・アントネリリの「自己に出會つた男」等の虚無的幻想的な作品となつた。

ファシズムと文學 しかし、一九二二年ファシズム革命以後、イタリーが經濟的にも、政治的にも安定が出来、漸く社會的にも個人的にも統制されるに従つて、民衆はピランデル、キヤレルリ等の暗さ、厭世的虚無を嫌ひ出した。かゝる機運に乗じて生れたのが、アントニオ・ベルトラ

メルリの「ラドウーノ」運動である。ベルトラメルリは一九三〇年三月に死んだが、能子夫人の故に夙に我邦にもその名を親しましてゐる。彼は元來郷土詩人で、特に文學の郷土性を重視し、フアシズムの擡頭と共に、文學上の傳統主義を叫び、イタリア各地の凡ゆる藝術家、美術家、音楽家、小説家、評論家を糾合、然もそれを綜合し「集合」となし、飽迄イタリアの國土に根を下した藝術の隆盛を期した。フアシスト政府では、國家的見地から見て立派な傳統主義運動であるとて、絶大の後援をした。

藝術家組合と国立伊太利翰林院 フアシスト政府は、凡ゆる方面の隆盛を期して、全國的に各地方々に組合を設けた。著作家の組合も斯くして、若き作家から老大家を網羅し、フアシスト著作家組合と名附けた。一九二八年、フアシスト國立組合總長ロツソオニは著作家組合の幹部を指名した。幹部の書記長をエフェ。テイ。マリネツテイとし、他の人々は次の通りである。

アントニオ。ベルトラメルリ、リーペロ。ボヴィオ、パオロ。ブツツイ、アウロ。ダルバ、ダ
ンテ。デーニ、ルチャーノ。フォルゴレ、ビエートロ。ゴルゴリーニ、コルラード。マツカ
ーリ、クルツイオ。マラバルテ、ファウスト。マリーセ。マルテイーニ、カルロ。ラヴァージ

ヨ、ジーノ。ロツカ、フランチエスコ。サポーリ。

一九二九年にはムツソリーニの提唱のもとに、国立イタリア翰林院が生れた。こゝには最も功勞ある科學者、文學者、著述家、音楽家、美術家の元老が集められた。即ち、文藝家としてはアントニオ。ベルトラメルリ、サルヴァトーレ。デイ。ジャコモ、エフェ。テイ。マリネツテイ、アンジエロ。シルヴィオ。ノヴィオ。ノヴァーロ、アルフレード。パンツイーニ、ルイーヂ。ピランデルロがそれで、ベルトラメルリの死後マツシモ。ボンテムペルリが選ばれた。

女流作家の輩出 歐洲戦争以後のイタリア文學の隆盛は實に驚異に價し、懸賞小説の募集、文學賞金の授與、文藝書の出版等頗るさかんであつた。殊に驚く可きは、女流作家が五百人も輩出した。然しその存在権を主張し得る人々は極く少數であるが、ノーベル賞の受賞者で農民文學の雄グラツィア。デレッツダを初めとして、フラヴィア。ステーノ、シビルラ。アレラーモ、リーナ。ピエトラヴァアルレ、ビヤ。リミニ、ムーラ、ファウスタ。テルニ。チャレンテ、ローザ。クラウデイヤ。ストルテイ等何れも妍を競つて花と咲き亂れた。

現伊國文壇の作家

次に現在伊國文壇に活躍してゐる代表的男性作家を列挙すれば左の如くで

ある。

マツシモ。ボンテムベルリ(一八七八年生)、その代表作に「アドリヤとその子供達の生と死」がある。老大家だが常に若い情熱をもつてゐる。リツカルド・バツケルリ(一八九一年生)、長篇「結ばれた情熱」短篇集「甘い水と罪」詩集「詩の愛」等がある。ファシズム作家としてストラパエーセ派の重鎮である。

コルラード・アルヴァーロ(一八九三年生)、「窓に倚る愛人」アスプロモンテの人々「神秘と冒険」等の短篇集がある。田園文學農民文學派の作家で、そこに詩もあれば夢もある。然し飽迄も現実に立脚してゐる。夢と現実の交錯してゐるところはピランデルロと一味共通點を持つてゐる。レオニーダレバチ、代表作に「休みなき肉體」がある。彼の作品にはユーモアや優美はないが野人らしい力そのものがあり、衝動そのものがある。

尙新進作家としては、ファビア・トムバリー、ビエーロ・ガツダ、ジャコモ・デ・ベネデツテ、イ、ビエートロ・フラリー、アルトウーロ・ローリヤ、マリオ・スベランツア、ヴィットリオ・ロツシ、ジー・ビー・アンジョレツテイ、ジュゼツペ・スコルテツチ、マルコ・ラムベルテイ等

がある。

劇界の不振 イタリアの劇界は歐洲戦争以來不振状態を續けてゐるが、一面之は上演作品の不振とも言へる。イタリアの有力劇團としては、ザ・ブム座があり、アメリカ物の演劇を輸入して非常な成功を博した。それは取も直さずイタリアに秀れた上演作品のないことを物語つてゐる。その他、グイード・サルヴィーニ、ヴェーラ・ヴェルガーニ、パヴロワ等の名優の率ゐる劇團もあるが、後、各劇團の合同が成立して「イタリア演劇協會」代表者シニムベルギが出現し、上演作品は勿論、俳優まで交換して、所謂劇團の統制に成功した。

伊國の劇作家としては、ルイーヂ・キヤレルリ、ジャンニーニ、ピランデルロ、ジーノ・ロツカルイヂ・アントネルリ、ニーノ・ペルーニ、セム・ベネルリ等が活躍してゐる。

傳統美に輝く伊太利畫壇 イタリアが近代歐洲美術の搖籃地であることは既に何人も認めるところである。この傳統美に輝くイタリア式畫風の遺跡を繼ぐ、天才的畫家は、現イタリア畫壇に幾多見出すことが出来る。

北伊ヴェニスに於けるボミの如きもその第一人者であらう。又、ブラツスはヴェニスの風景風

俗を以てよく特色を表し、ザネツテイ及びスカトラは風景を、カドリンはフレスコ畫もよくし、線に於ける美を十分表し、サツキは寫實的な畫風を示し、且つ新味に富む人である。キエーザは中部イタリーに於ける多彩な人物畫をよくする。ノンメリーに至つては強烈な色彩を分離的に用ゐて効果を擧げてゐる。會つてシヤムに來遊した事のあるキニーは、裝飾畫の大家として普く知られ、版畫に於てはブルニョーリがあるが、彼は又エツチングの達人で、その圓熟した技能は比類なく、カルボナーニと共に並び稱されてゐる。

彫刻には多くの記念像を作つたヴィストルフィを初め、トレンタコステはイタリー風を代表し、カノニカは婦人像の制作に妙を得、ウイルトは性格表現に巧みでアカデミの榮冠を勝ち得た押しも押されぬ大家である。

一九〇〇年派の藝術活動 これは九百年前の畫家と云ふことであつて、即ち一九〇〇年代に生れた人は或はその時代に活躍した若い人々の團體であつて一八〇〇年派に對抗する集團である。

一九〇〇年派の現在の畫風は、各國の影響を受けたインターナショナル的傾向と、フアシスト黨の政策主義綱領を表象化した宣傳的な繪畫であつて、完全な畫風一派をなすものとは見做さ

れない。然し、早晚イタリー式の新しい藝術を生むに至るであらう。

この派に屬する代表的作家は、ポリモコンテイ、ピツポ、リツツオ。アメデオ。ボツキー、サ
ンタガツタ、ステフェニーニ、グララダ、ダーニ、スピオーホ、ボツシア、リオーニ、モンテイ
カネグラデー。ソツキ、ロツキ、レーヴィ、ベビアクア、モンタナリー、トレンティーニ等で
ある、其他、アメデオ、モデイリニアは現在イタリーに於ける最も進歩的な畫家として有名であ
る。デオルヂョ。デ。キリコも本國より巴里に於て國際的の最も新しい藝術家として名高い。

伊太利樂壇の二巨星

若きイタリーの樂壇を語るには、先づピツエツテイを擧げなくてはならぬ。彼はダヌツイオの傑作「フェードラ」をオペラ化すべく三年の日月を要し、一九一五年、初めてスカラ座の舞臺に上せた。彼は戲曲的表現の手段としてのリリズムの缺陷を痛感し初めて以來徐々に築き上げられた樂劇の理想は、この一作によつて初めて實現されたのである。つゞいて彼は自ら執筆した臺本によつて「デボラとジャエ」においてその理想を更に一步進めた。

かくして彼はイタリーオペラ革新の烽火をあげたのであつた。そして彼の努力は決して孤獨なものではなく、コルビエロに於て、最もよき盟友を見出したのである。

コリビエロは現代イタリー樂境に於ける最も進歩的な樂人の一人に屬する。彼はピツエツテイと異つて器樂の方面に多くの力を盡した。而して彼の傑作としては「英雄のシンフォニー」「海のシンフォニー」「パンテア」「七つの歌」「オルフェオ」等がある。

次で現はれたのはカゼラで、彼は古典音樂への復歸を叫び、先づ室内樂方面から國民音樂の礎を築いた。その業績としてはバレー「水上の尼僧院」其他がある。又トマシーニはバレー「上機嫌な淑女たち」によつて一九一七年一躍世界的聲名を馳せた。その他「カステルヌオーヴォ。デスコはピアノ曲」「ピエディグロツク」を作曲して成功し、レスビーギは「アリアンナの歎き」「コンヂエルト。グレゴリアノ」等の制作によつて、古いイタリー音樂への尊敬を示し、同時に室内樂の開拓に努力して、現代イタリー音樂を國際的に高めた。

彼の門下からはリエテイを出してゐる。リエテイは一九二〇年、既往の全作品を燒棄したといはる程、藝術的良心の強い作家で、その後一九二五年、ロンドンで「バラバワ」を上演して絶大の好評を博した。

思想

社會主義思想の勃興 元來イタリー國民は燥急狂熱の思想を有し、ともすれば純理に猪突せんとする傾向を有してゐる事はフランス人と全くその類を同じうし、従つてこの國では社會主義思潮は極端に急進傾向を示す可能性を十分に備へてゐた。社會主義的思想、正しく言へばマルキシズムは一八九〇年の頃初めてイタリーに入つたが、當時のだらけきつたイタリーの知識階級に屬する青年の間に著るしく急速に擴がつて大なる刺戟を與へた。然しイタリーの社會黨はマルキシズムのイタリーへの侵入以前に既に形成せられてゐた。即ち、イタリーの工業都市ミラノに於て既に一八八〇年、印刷工の團結した「労働黨」が出来た。しかし、最初の無産政黨たる「労働黨」は間もなく自然消滅し、代つて「イタリー労働者黨」が生れた。前者が労働者を主としたのに反し、後者はインテリを主とし、勢力大いに擴大し、一八九二年には六人の代議士を獲得したのを手始めに、爾來著しく好成績を収め、一九〇〇年には三十二人の代議士を、又一九〇三年には三十三人の代議士を獲得した。

一八九二年八月には、イタリア労働者黨を初めとして、社會主義各派の會議をゼノアに開催し各派はこゝに階級闘争による社會主義を標語とする一大政黨「イタリア労働者社會黨」を結成した。しかし、その後内部的の紛争や分裂を繰返して何ら統一を見ず、遂に世界大戰に際會した。その間社會黨から選出せられた代議士の數は逐年増加して、大戰直前の一九一三年の總選舉には各社會黨を通じて七十七名の議席を獲得し、一大勢力を政界に占めてゐた。

世界大戰と社會主義者ムツソリーニ 社會黨はその主義の建前からして當然、イタリアの參戰に反對し、嚴正中立乃至絶對平和主義を唱へた。然し、意外にも間もなく左翼陣營から參戰論者が飛び出した。それは誰であらう、ムツソリーニその人であつた。一九一七年イタリアの屈辱的なカポレットの大敗に際しては、今迄飽く迄非戰論を固持したトゥラテイ自ら國家防禦團員に加はつて非戰論を抛棄した。かくして遂に次々と社會主義者の參戰轉向が續出したが、終始一貫、非戰論を固持したのはマルキストの一派にすぎなかつた。

赤色昂奮時代 次で一九一七年のロシア革命は、さなく共熾急性に富んだイタリア人に大なる昂奮を與へずにおかなかつた。かくて、歐洲大戰の末期から數年イタリアは眞紅な色に塗りつぶ

されて、或時は明日にも革命の巷に化さうとする形勢さへ見えた。

赤色の昂奮に酔つたイタリア人は社會黨にだれ込んだ。一九一四年黨員僅か五萬八千人にすぎなかつたのが、一九二〇年には二十一萬六千人を算へた。斯く勢力が膨大しては會ては屢々彈壓を加へた政府も、今は指を啣へて社會黨を默認傍觀して、成すがまゝに任せるより仕方がなかつた。

共產主義者の跳梁 かくて左翼共產派中のマルキストの活躍跳梁はいよゝ目覺しくなつた。彼らはモスクワの指令を受けて、絶えず急進労働黨を動かして矢繼早に騷擾や同盟罷業を計畫し産業の攪亂にその精力を集中した。多くの大都市は大部分これらの勢力に占められ、北部イタリアの或地方では農業労働者は土地の占領分配を行つた。ミラノ市廳舎上の三色旗はひきずり下されて、二年の長日月赤旗がへんぼんと翻へつた。革命歌は街上に、公會席上に於て公々然と合唱せられた。總ての産業、殊に國有鐵道は現業労働者によつて現實に支配された。

この無遠慮な赤色恐怖の横行は、一般國民を戦慄せしめ、社會主義に對する反感と憎悪は陰々裡に次第に昂まつた。産業能力は地に墜ちて國內の物資はさらでだに缺乏した。物價は日にく

昂騰し、貨幣價値は下る一方であつた。この間に處する社會主義者の運動指導者の態度は、極めて不鮮明でその聰明をさへ疑はれた。民衆は當然社會主義に對する大きな裏切と失望を感じずにおられなかつた。かゝる情勢はファシズム發生に大なる奇與をした。社會主義者は、自らその墓穴を掘つて徒らにファシスト擡頭の機會を與へたのだつた。

左翼の落潮とファシズムの擡頭 イタリー社會主義は、かの有名なる工場占領の擡頭をその勢力の頂點として、爾後急角度に衰退した。

一九一九年十月、社會黨は公式に第三のインターナショナルに加入してより勢大に驕り、一九二〇年七月、金屬組合たる「イタリー金屬工聯合」は賃銀増給を要求して同盟罷業を開始したがこの闘争は一敗地に塗れた。よつて罷業員は工場占領の暴擧に出で、政府の調停によつて労働者の經營参加を條件として漸く終末をつけたが、爾後社會指導者の労働者間に於ける信用は全く地に拂つた。この時、既にファシストは十分擡頭の準備を整へてゐたのであつた。

ファシストの決定的勝利 社會黨は今や拱手して自滅するか、さもなくば、最後の一大決戦を試みるより外に途はなくなつた。そして遂に、一九二二年六月、社會黨幹部は意を決し労働總同

盟の幹部を誘ふて全国的に總罷業を宣言した。ファシストはこの機會を捉へた。彼らは政府に對し「四十八時間以内に罷業を終息せしめ得なければ、ファシストは政府に代つて自由行動を採る」ことを宣言した。遂巡した政府は俄かに警官や憲兵をしてファシストと聯携せしめて罷業の鎮壓に當らしめた。が、最初から熱のなかつたこの總罷業は、たゞいもなく鎮定せられ、總同盟本部は四十八時間後に罷業の終結を宣言すると共に、社會黨の實質的な生命を失つて終つた。

ファシストは更に猛烈な迫撃戦に移り、社會黨共産黨に對して峻嚴なる迫害を加へた。一方社會黨も共産黨も遂に黙し得ず武器を採つて抗争し、暫らくは隨所に市街戦を演じたが、政府も傍觀し得ず軍隊をして都市の警察權を行使せしめ漸く平靜に復歸するを得た。かくて遂にファシストの覇權は完成したのである。

戦争社會主義敗退の原因 戦争直後一九一九年乃至一九二〇年、國內に於て、今や革命の旗幟へつて第二のロシアを現出するかに見えたものゝ、須臾にしてマルキスト乃至共産派が朝顔の朝日に萎むやうに消え去つたのは何故であらうか？ イタリーの社會主義思想、もつと適切に言へば、戦争末期以來沸騰した「戦争社會主義者」の革命的行動が何故失敗に終つたかは、種々の理

由も存するであらうが、之を社會的に觀察する時は凡そ次の如き理由を發見する。

第一はイタリーの經濟事情である。イタリーは古來農業國であるが、しかも、それはロシアと非常に異つて人口が稠密なのみで、大地主といふものは存してゐなかつた。従つて農民が廣大な土地を占領するが如き事は到底不可能であつた。

轉じて工業事情を見るに、革命論轉落の客觀的條件は一層明瞭である。イタリーには、鐵礦、石炭、石油、棉花、銅等近代工業の主要原料は何一つとして備はつてゐない。かような事情の下に、若し自給自足の可能なロシアを模倣して共產主義革命が企て得られたにしても、隣國の經濟封鎖によつて一壇りもなく挫折を來してしまふ事は容易に考へ得られることである。

「官製思想」ファシズム ファシズムは「官製」思想と稱されてゐるが、少くともそれが社會思想の形態を形づくる迄には、以上の如き必然的情勢があつた事を忘れてはならぬ。

ファシズムは所謂ファシスト一團の人々の表現する思想、主義、綱領及び行動の全體を指すのであるが、それはムツソリーニその人のそれらを中心とするものであるから、ファシズムを一般的に考察するには、先づこのファシズムの開祖ムツソリーニその人を一應知つておかななくては

ならない。

ファシズムの開祖大本山ムツソリーニ ムツソリーニは早くから社會主義を信奉し、猛烈なサンチカリストとして社會主義の機關紙「アブンテク」の主筆をしてゐた。一九一四年世界戦争の勃發するや、ムツソリーニは労働者がブルジョア戦争に巻き込まれることなく、戦争が資本主義社會の危機を醸した場合、時を移さず社會革命を起さなければならぬと警告した。この反戰主義者は一九一四年十月突如心境の變化を來してイタリーの參戰論を主張した。彼は立所に裏切者として、社會黨から除名された。ところが彼は益々反動化して新聞ポポロ・デ・イタリアを創刊して大にイタリー參戰論を煽つた。やがて世界大戦は終幕を閉ぢたが、ムツソリーニが、會て蔑んだ社會黨は今や全盛を誇つてゐるのだつた。

ファツシヨの旗の下に 一九一七年世界、大戦も漸く末期に迫つた時、イタリー軍はカポレツトに墮軍と戦つて大惨敗を喫した。この國辱的敗北は、ボルシェヴィズムの反戰宣傳の影響だと言はれたが、この敗北は當時戦争に熱狂しにゐた國民に大衝動を與へ、こゝに出征軍人を激勵する國民體が組織され、なほ議會内部に於ても保守派の代議士等によつて、國防を衛の爲にファシ

オなる一團が組織された。これ實に後日のファシスト構成の第一要素であつた。又、戦争終了後歸還せる軍人が國內で蔑視せられた爲に、彼らは自己の地位を擁護すべく、且當時の非國民的思想に對抗せんとして「戦闘團」を組織した。これファシスト構成の第二要素である。果然、左翼の横暴に愛想を盡してゐたインテリ、學生、軍人、地主、資本家、獨立小商工業者は當時未だ頼み少くはあつたが、唯一の活路として陸續とファシヨの旗の下に集つて來た。かくしてファシヨ團は、大地主や富豪の提供によつて豊富な資金を獲得し、その活動力は頓に活潑になつて來たが、彼らの最初の標語たる「ファズムはボルシェヴィズムの絶對の敵として、労働者の利益は飽迄之を尊重する」との宣言は、いつの間にかこの標語の下半分を忘れ去られてしまつた。

ファシストの政權獲得迄の經過は「政治」の項に於て既に述べたから、こゝには重複を避けてファシズムの精神的方面に就てのみ述べることにしよう。

ファシズムの精神 ファズムは元來行動に發した一つの形態で、それは行動の必要上展開された活動の集積にすぎない。その理論的體系の如きものは最初から存してゐない。否、理論は自

由とともに、ファシズムの極度に否定する所である。もしそれに何らかの教理がありとすれば、それは從來のファシストの行動の歴史を採つて抽出し得られるのである。けれども之を抽出して見ても、恐らく捕へ難いもので、一貫した理路を跡づけることは出來まい。ファシズムは絶對復従と即時實行を正體とする軍隊化するサンチカリズムと謂ふ可きものであらう。

一九二〇年初め「ポロロ・デ・イタリア」の論説に於てムツソリーニは揚言して曰く、「如何なる形態、如何なる具現の國家なるも總て之を排撃せよ——昨日の國も、今日の國家も、亦明日の國家も、ブルジョアの國家も、而して社會主義國家も。將に死せんとする個人主義に對して忠實なる吾人にとつては、悲惨なる現在に於ても、陰鬱なる將來に向かつて、唯一個の信念を外にしては何物も残らない。その信念こそは無政府である」と。しかし一九二七年四月制定されたファシスト労働憲章の第一條に「イタリー國民は目的に於ても生命に於いても、亦活動方法に於ても、これを構成する各個人には集團のそれらを優越するものを有する有機體である。それは一個の道徳的、政治的、經濟的統一體として、その完全なる實現は之をファシスト國家に求むるを得」と宣明してゐる。先に總ての形態を否定したムツソリーニのファシスト國民黨は、一九二七

年に於ては、國家の神聖、神祕、尊嚴、絶對性を極度に誇張し、國家を最高の道徳と觀するに至つた。然し、その説く國家の正體には何ら言及しはない。彼らは無意識に民衆と國家を對立せしめてゐる。この場合國家と言ひ政府といふのは、取も直さず、支配階級即ちファシストの指導的幹部の謂ひに過ぎない。

ファシズムの教義の眞髓は、然し、上に述べたやうな點に存してゐるのではなくて、それはむしろ大規模に破綻したイタリー産業、悪性の深刻なる一般的經濟不況、之に基く労働者の生活標準の低下、労働者の絶望的反抗、要するに戦後一時窮極的となつた階級闘争の局面を、労働者側の犠牲に於て打開せんとするが、之に就ては強力なる組織的暴力團の組織を最も有効なる近道だといふ教訓に存するのであらう。

ファシストの經濟觀 上述した國家至上主義には、觀念上の社會階級否定の主義が不可分に隨伴する。従つて經濟關係は生産を中心とし、その厚生の方面は否定される。又従つて労働者の自衛權は認められない。その生活條件は「國家」の好意によつてのみ獲得せられるに過ぎない。労働憲章は之らの關係を詳細に規定してゐるから、一瞥して見る事としよう。

先づ第一に生産に關する規定である。國家はその利益を確保するに最も有効有益なる方法を私有私經營主義と認め、經濟的自由を承認し、労働者は技術者たる俸給使用人たるを問はず、企業活動に就ては進んで之に協力を與へる義務を負ひ、企業の指導は該労働者を雇傭するものゝ義務である。傭主の職業的組合は彼らの生産する物品の増加及び改善に努力すると共に、生産費の輕減を極力努力しなければならない。

次に労働者の團結權に就ては、職業組合は任意である。然し、適法に公認せられ、國家の監督を受くる組合は、該種類の一切の傭主及び労働者を代表し、國家又は他の職業團體に對して彼らの利益を擁護し、その範圍に屬する一切の個人を強制的に拘束する労働組合を締結し、組合員に課金し、組合員のためにする委託權限を法律上行使する權限を附與せられる。法認せられたる職業組合は諸生産力の統一的組織で完全にその利益を代表し、その代表性によつて各組合は國家的機關として法律上認められる。——換言すればファシスト組合以外は認められない譯である。以上を通觀するにサンチカリズム乃至ギルド社會主義、或はサンシモニズムの匂ひが濃厚に漂てゐる事が發見される。

フアシズムの將來 フアシズムは明かに歴史的発展の潮流に逆らふ反動思想である。しかし反動思想はその本来の目的に反して、歴史的発展方向への過程を急進せしめるに役立つ。

今日のイタリーは表面極めて健康さうに見へるが、しかし一皮剝いで見れば、陰惨な重苦しい空気に充ち／＼てゐる。民衆は自由があつてなきが如く、手も足も出ない。今後共フアシストの恐怖政治は益々強化する一方であらうが、失はれた自由は永劫に人々から去ることはないであらう。

ムツソリーニは今や我が世の春とばかり、得意の絶頂にあるが、その前途は決して豫断を許さざるものがあるであらう。

弗の王国アメリカ

【國勢篇】

政治・外交

アメリカの外貌 太平洋の東岸、英領カナダの南に當つて三百一萬六千七百二十方哩の龐大な土地と、一億二千八百萬の人口を有する國、これこそ一七七五年所謂義軍を起して母國イギリスから獨立し、今や國勢イギリスをも凌駕しつゝあるアメリカ合衆國である。

獨立の當時は十三の植民地が聯合して造つた國家であつて、中央の機關としては、たゞ一つ聯合會議があつたが、これは議會機關であつて執行権を有するわけでもなく、課税権があるわけでもなかつた。獨立戦争の費用さへも各州は容易に出し得なかつたので、獨立運動の先達であるワ

シントンの苦勞は想像以上のものであつた。然しどうにか獨立の目的は達し得たが、このやうな薄弱な團結を以てしては到底戦争の後始末を付けることも出来ず、更に進んで新大陸の開發を全うすることも困難であつた。新興米國には、ぜひとも強固な内閣を必要とした。幸ひ、獨立戦争の經驗は其國の國民的意識を發達せしめてゐたので、先達者等は一七八七年各州から代表者を選出させて、ファイデルフィアに憲法會議を開いた。現在の憲法はこの會議に於て議定したものである。而して第一代の大統領にはジョージ・ワシントンが選ばれたのである。

ワシントンの大資産 この憲法會議は頗る僭越的な振舞をやつたが、結果から言つて今日の地位を築いたものであり、誠に賢明なやり方であつた。彼等はこの仕事をなすに當つて、一意専心米國人民の福祉を祈念したことは争ふまでもない。

然し、それは同時に憲法會議に加はつた主要人物、並に新政府の政策が、ます／＼彼等を裕福にしたことは否定することの出来ない事實だ。たとへば、ワシントンは金儲けにかけても、なか／＼腕達者であり、正に當時に於ける米國第一の富豪であつた。彼は西部の土地にも多大の投資を行ひ、ポトヌリ河畔の（後首府ワシントンの建設された土地であつて、當時は殆んど無人の原

野に等しい）廣大な土地を所有してゐた。一七九五年の遺言狀と共に作政された財産目録を見ると、土地ばかりでも五千エーカーに達し、外に米國の公債六千二百四十五ドル、三大土地會社の株合計二萬四千九百六十六ドル、家畜一萬五千六百三十五ドル等合計五十三萬ドルの大資産を有してゐたのだ。これは當時としては驚くべき巨額であつて、當時、土地、公債、株券等は強固な中央政府が出来ると否とによつて、大なる損得があつたのである。西部寄りの如きは、強固な政府が樹立されなければ、殆んど値段のないのも同様であつたのだ。

彼が大統領になつた當時、公債の相場額面の四分の一以下に下落してゐたが、彼は政府の信用を維持するため、これを額面で償還することにした。勿論、相場は忽ちにして暴騰し、公債所有者は多大の利益を得た譯であるが、當時に於ける第一流の富豪ワシントンが、この間如何なる活躍をやつたかは知ることが出来ない。ピアード博士の如きも、

「若し當時強力なる中央政府が出来なかつたならば、最も多く損失を蒙つたのはワシントンであつたらう」とまで言つてゐる位だ。

これは單にワシントンのみでなく、貧乏人を通じてゐるベンチャミン・フランクリンの如き君

子でさへも、いつの間にか十五萬ドル以上の大財産を作つてゐる。彼はジョルジア州からオハイヲ河畔に三千エーカーの土地を貰つてをり、新政府の建設には大いに骨を折つたが、然も大いに儲けた側である。彼も一七九〇年死の直前まで、盛んに土地の思惑買をやつてゐた。

またワシントン大統領の参謀であり初代の大蔵大臣であつたアレキサンダー・ハミルトンは支配階級の忠實なる僕であつたが、彼の政策は金融資本家の利益を計ること、關稅の障壁を高くして商工業者を保護すること、土地開發を助けて投機者の利益を擁護することの三目標に力點を置いて動いてゐたので、遂に労働者、小農から激しく非難をうけ、演職の嫌疑で議會に於て究問されたこともある。

かくの如き例を挙げれば際限がない。憲法會議に出席した國父達（功勞者）五十五人のうち四十人以上は公債所有者として、大藏省に登記してをり、土地思惑買と見られるものが十四人、金貨が二十四人、商工業者の代表者が十一人、奴隸所有者（ワシントンもその一人）が十五人あつた。小農な労働者の代表と認められるものは一人もゐなかつた。これを見ても、アメリカの憲法が資本第一主義を非難されるのも、あながち無理でないやうだ。

アメリカの政治組織 さて順序としてアメリカの政治組織の輪廓を語る必要がある。言ふまでもなくアメリカ合衆國は四十八州よりなる聯邦共和國であり、その政治組織は、所謂三權分立の原則によつて、大統領を元首とする政府と、上下兩院よりなる國會と、司法部たる大審院を以て構成されてゐる。而して選舉權は極めて廣範圍にまで擴張され、殆んど徹底的な普通選舉が行はれ婦人も男子と同様の選舉權及び被選舉權を有してゐるのである。

政府と國會と大審院との關係は、所謂相互牽制均勢制度と稱するものである。即ち政府が國會によつて組織されたり、破壊されたりすることなく、國會は政府によつて解散されない制度である。國會はもとより立法の權を有するが、若し法律が憲法に違反する場合は、大審院によつて無効を宣告される。國會は國務大臣を選挙したり、更迭したりすることは出來ぬ。大統領は國民によつて選舉されるもので、政府を統轄してゐるが、國會に議案を提出する權限はない。然し國會を通過した法律案を拒否することは出來るのである。

また條約を締結したり、官吏を任命したりする權限を有するが、これには上院の同意を必要とし、自己の一存では行ふことは出來ない。大審院は憲法の最高解釋權を有し、國會が制定した法

律でも、これを憲法違反と認められた場合には無効にすることが出来るが、その判事は上院の同意を以て大統領に任命されるものである。

かうした制度は、元來政府の専横化を防止するための發案であつて、その目的のためには極めて有効に働いてゐる。然し時によると不便不都合の場合も少くない。殊に大統領と國會の多數黨とが黨派を異にしてゐる場合には、大統領は事毎にその活動を掣肘され、國會も思ふやうにその政策を實施することの出来ぬ憾みがある。嘗てヴェルサイユの媾和會義に於て、ウイルソン大統領が折角苦心して作り上げた國際聯盟に對し、上院が反對して米國の加入を不可能ならしめ、遂に米國の國際的信義を失墜し、ウイルソンをして憤死せしめた如きはその最悪なる例である。

州權の確立した米國 次にアメリカの政治組織の特色は、それが聯邦制度であることだ、即ち中央政府と州政府との間に統治權の分配が行はれ、互に獨立した權限を有し、その權限の範圍内に於ては、中央政府も州を侵すことが出来ず、州もまた中央政府の權限に立入ることが出来ないやうになつてゐる。これは地方分權なる制度とは根本的に異つてゐる。

我國の如き單一國家にあつては、たとへ如何に大なる自治權を地方に與へたとしても、地方の

有する權限は、要するに與へられた範圍内に限られてゐるのだ。總ての權限は最後には中央政府に統一されてゐるのである。然るにアメリカに於ては、これと反對に、中央政府の權限が憲法に列記されてをり、憲法上中央政府の權限に屬すと記されたもの、州に禁止されたもの以外は、總て州の權限に屬してゐるのである。

然らば中央政府の有する權限は如何なるものかと言ふと、主として合衆國全體に共通するもの例へば、外國との關係、州と州との關係その他州に委して置く混亂を招き易い問題、または不適當なりと思はれるもの等に限り、一方州の權限は、州内の土地所有權、小作權等に關する問題の如きである。これ等は州が勝手に處理することが出来るが、若し中央政府がこれに干渉する場合は、却つて事態の悪化を招來する結果になる。嘗て加州議會が日本人排斥を目的とする法律を制定せんとした時、日本の外務省が強硬な抗議を申込んだり、ウイルソンが熱心に警告を發したりしたために、却つて事態を悪化せしめ、遂に何等の効を奏することが出来なかつたのも、この理由による。中央政府が制定した禁治法が、州の官吏によつて嚴重に勵行されてゐないのも結局これと同じ理由である。

民主主義の表裏 アメリカは自ら言ふのによると自由の國であり、平等の國であり、民主主義の國である。然しこれは表看板であり、裏面には相當のカラクリがあるのだ。

譬へば彼等は自由を主張し、平等を唱へながらも、有色人種に對しては自由も平等も認めない。憲法には、明らかに、人種や皮膚の色によつて不平等なる待遇を禁ずることが規定されてゐる。然し太平洋岸諸州に行くと、日本人排斥を目的とする種々の法律が作られてゐる。これには一つとして「日本人には………を禁ず」と言ふ文句は用ゐられてゐない。だが、日本人が米國に歸化する權利なきことを理由として凡そ米國に歸化することを得ざる國民云々といふ一般的な文字を用ゐて、巧みにその目的を貫徹してゐるのだ。

つまり平等待遇の名の下に、差別待遇を與へてゐるのである。人は自ら正しくないと信ずることを敢てする場合には、とかくかうした論辯を弄するものである。このインチキな平等待遇の假面を用ふる差別待遇は、特に加州政治家の得意とするところであり、これに類するボロは至るところに見られるのだ。

共和。民主黨の發達過程 アメリカの政治は、政黨とその機構を知らない以上了解することは

出来ない。政黨こそは實に政府の原動力なのである。

然し、かゝる政黨も最初は呪はれた存在であつたのである。憲法制定會議に於ける輿論は、政府をして黨派の上に超然たらしむることであつた。ワシントンは、かの有名な告別演説に於て呉も黨派の害悪を説き、政黨をもつて民衆政治の最悪の敵であるとさへ極言してゐる。初期の政治家は政黨が民衆政治の中心であることを未だ十分に知らないからなのである。だが彼等の明白な反對があつたに拘らず、政黨は皮肉にもその憲法制定會議の中に早くも萌芽を示してゐた。

即ち憲法制定會議に於て強力なる中央政府の樹立を必要とする一派は、ハミルトンを中心に、所謂フェデラリストなる團結をなし、州權を擁護を主張するジェファソン一派と相對峙して、會議は明かに二つの黨派に分れたのであつた。聯邦政府の初期に於てはフェデラリストの勢力は頗る優勢であつたが、間もなくフェデラリストがその勢力を回復し、彼等は共和黨もしくは民主的共和黨と稱し、一八〇〇年にはフェデラリストの内訌に乗じて、その首領ジェファソン大統領を遷暴することに成功した。

その中フェデラリストは次第に勢力を失墜して、一八二〇年頃には全く凋落したが、間もなく

共和黨の内部にも激烈なる内訌を生じて大分裂となり、政黨界は一時混亂の状を呈し、一八二四年の大統領選挙には四人の候補者が亂立して鎬を削る有様となつた。然しかくの如く小黨に分立することは、何れの黨派にとつても甚だ不利であつたので、次期の大統領選挙の頃までには、再び二派に統一されるやうになり、中央集權を主張する保守的分子は、相合して國民共和黨を組織し、舊共和黨の主張たる州權主義者等は集まつて民主黨を作り、この民主黨は米國的政治家ジャクソンを大統領に選出した。ジャクソンが大統領に選ばれたことは、米國政黨史上に於ける劃期的の大事件であつた。彼は民主主義に對して獨特の然も飽迄も米國式の解釋を與へ、國民を分つて民主黨と共和黨との二種とし、所謂官職分抑制を最も大膽に實行して、以て黨員の忠誠に酬ふことにしたのである。かうして政黨は牢乎たる地盤を築いたのである。

かゝる間に奴隸問題を中心とする争ひは、共和黨の中にも民主黨の中にも分裂を生じさせたが共和黨はリンカーンを大統領に當選させて、爾來二十四年の久しい間、全盛時代を現出させた。南部諸州を根據地とする敗戦の民主黨は以後永い間苦難を嘗めた。

かうして兩黨とも幾度か勢力の消長があり、時としては第三黨の出現もあつたが、政界の主流

は共和、民主の二大政黨によつて常に導かれ、今日に及んだのである。従つて兩黨は互ひに對峙し上は大統領の選挙より、下は村會議員の選挙に至るまで、苟くも選挙といふ選挙には烈しく争ふのを常としてゐる。然し、兩黨の間には相容れることの出来ない根本的な主義主張の相違がある譯ではない。それは各政黨の標榜する政綱を見ても分る。これが相對立する所以のものは、その政治の機構がそれを要求してゐるが故に外ならぬ。

「ボス」とは如何なるものか アメリカの州と市の政治に關聯して見通すことの出来ないのは、「親分」の存在である。いはゆるボスの名を以て稱ばれてゐる地方的領袖であるが、アメリカの政黨は、これによつて動かされてゐるものと言つても過言でない。親分の下には當然徒黨があつてこれ等が地方の政治を蹂躪してゐるのだ。勿論ボスと言ふ呼び方は、尊稱した言葉ではなく、中央にはまだ親分と呼ばれる程大なる勢力を持つた領袖はゐない。

親分のある州はニューヨーク州のブラット、ペンシルヴァニア州のカメロン、及びクエー等を始めとし、その他至るところにゐるが、最も横暴を逞しうしてゐるのは、利權が多くて同時に纏めるにも手頃な市や區である。殊に大都市の政治は常に親分の獨裁下にあると言つてもよい。その

中でもボス政治が最も有名なものは、ニューヨーク市のタマニー・ホールである。
 タマニー・ホールの勢力 このタマニー・ホールと言ふのは俗稱であつて、正しく言へばニューヨーク市の一部分たるニューヨーク郡の民主黨地方支部のことなのだ。それはタマニー協會なる社交團體の政治部のことでもある。タマニー・ホールと呼ばれるのは、タマニー會館に事務所を置いてゐるからだ。

このタマニー協會は十九世紀の初め頃に作られた社交的慈善團體であつたが、間もなく民主黨に所屬して政治的にも活動するやうになつたのである。だが、これが天下に馳名を轟かすに至つたのは、ウキリアム・マーシー・トウキードといふ天才的指導者に率ゐられて、ニューヨーク市の市政を壟斷してからのことである。

トウキードは初めは家具屋であつたが、勿論商人としては成功しなかつた、一八五〇年二十七八歳の時、民主黨から市會議員に選ばれたのが振り出しであつて、次いで合衆國議會の下院議員に選舉された。だが、下院議員としては餘り振はなかつたので、自分としても中央政界に乗り出すことを諦め、一八五七年再びニューヨーク市に戻つて公立學校委員となり、更に監査委員となり

刻苦精勵して地盤を築き上げ、一八六三年にはタマニー・ホールの終身議員となつてその勢力は遂に市全體を掩ひ、腹心の部下を市及び州の要職に立て、これを占領し、最後に市會、州會は勿論のこと、裁判所までも自己の一味を以て固め、ありとあらゆる方法を以て公金を私し、公の機密を利用して私慾を満たした。

市民は勿論彼を憎んだ。新聞紙は當然烈しく彼の非を鳴らした。上流社會の人々は、彼等と席を同じうすることを恥辱とし、彼等の招待する會合に出席することを峻拒した。だが彼等は多數を恃んで毫も恥づる色なく、眼中反對黨なく正義なきが如くであつた。これがトウキードの全盛時代であつたのだ。

タマニーの大騒獄 然し思はざる破綻は内部から起つた。望むところの公職を與へられないのを憤激した一黨員が、不正の事實を新聞に暴露したことに端を發した。これを見た市民は甚だしく激昂し、民主黨に於てすらトウキード除名論が持ち上るやうになつた。

この騒動の最中(一八七一年十一月)に恰度州知事以下の選舉が行はれることになつたが、タマニー・ホールはマンノリーダ二三の幹部を引退せしめた外、依然としてその陣容を崩さず、結

東を固くして戦ひに臨んだ。ニューヨーク州の民主黨大會もトウキードを州の上院議員に再選することに決し、タマニー協會も、再びトウキードを總委員會の議長に選舉した。彼等はかうして總ての非難に答へず、如何なる攻撃をも否定せず、唯々々と選舉場裡に於ける實力を恃んで進んだ。果してにのトウキードの期待は裏切られなかつた。輿論の大攻撃にも拘らず、彼は再び大多數を以て選舉された。然し他の一味は枕を並べて討ち死し、さしものタマニーの堅壘も漸く壞れかゝるやうに見えた。而も輿論の攻撃は益々猛烈を加へて司直の手は次第に伸びた。腹心の一人は一切の公職より引退すべきことを宣言してカナダに遁れ、他の一人は收監せられたがトウキードは頑としてその職を退かず、飽迄も輿論に對抗してゐた。十二月には一旦收監せられたが、一味の判事の計らひによつて殆んど名義ばかりの保釋金をもつて出獄を許された。州の下院はこれを憤り、右の判事等を彈劾して免官の處分をした。ニューヨーク裁判所はその豫審に一ケ年以上を費して、漸く公判を開いたが陪審員は有罪か無罪かを決することが出来なかつた。トウキードは再び收監せられ、陪審員を改めて審議した結果有罪に定まり、十二年の禁錮を宣告せられ、間もなく控訴院はこの判決をもつて、法律上の缺陷を有するものとして無効を

宣したので、トウキードは再び放免された。茲に於て、市は私訴を提起し、三度トウキードを捕縛せしめたが、トウキードは警察の隙を窺つて巧みに逃亡した。而してスペインに於て四度捕縛せられ、本國に護送せられ、一八七六年遂に悲惨な獄死を遂げ、其他の醜類も或は處刑せられ、或は他國に亡命して再び公職へ復したものはなく、茲にトウキード一派は全然没落したのである。これがいはゆるタマニーの大疑獄と稱せられるものである。

タマニーの悪手段 トウキードの一派は、没落したが、タマニー・ホールにはこれによつて決して滅亡することはなかつた。非難の渦中に於ては、その勢力は一時萎縮し、輿論の激昂甚だし間だけは暫し鳴りを鎮めてゐたが、颱風一過と共に、再び次第に擡頭し、一八七一年の没落後五年たらずして又もや民主黨の牛耳を握り、市長以下の主なる市吏員を自派中より選出し、市會に多數を制して市の政權を再び手に納めるやうになつたのだ。市吏員の任命黜陟の如きも、市長によつてなされずして、事實はトウキードの後継者としてタマニーを率ゐたジョン・ケリーによつて行はれるやうになつた。反對黨は地をかへてタマニー・ホールのために復讐的に迫害される

やうになつた。ケリーがその反對黨に加へた復讐の如何に執拗なものであつたかは、同じく民主黨員でありながら、トウキード一派の糾弾の急先鋒を勤めたチルデンに對するその態度に見ることが出来るのだ。ケリーは、實に最後までトウキードの味方であつたが、これよりチルデンに含むこと頗る甚だしく、一八七六年チルデンが全國民主黨大會に於て、大統領候補者として豫選せられんとするや、彼は極力これを妨害し、その妨害にも拘らず民主黨の候補者として豫選せらるゝや、黨の節度に服せずして、却つて反對黨たる共和黨の候補者を援助し、以て最後までチルデンの當選を妨害したものである。

またその三年後、チルデンの股肱たるハシアス・ビー・ロビンソンが州の民主黨大會に於て、ニューヨーク州知事候補者たるの豫選をうけるや、これに反對し、タマニー・ホールを中心としたる別個の民主黨大會を開き、自らロビンソンと選挙場裡に争つて以て民主黨の勢力を兩分し、反對黨たる共和黨の候補者を當選せしむる苦肉手段を用ひてまでもチルデン一派に酬いたのであつた。

市政の中心勢力壟斷 ケリーの下にタマニーの勢力は回復したが、ケリーに次でタマニー・ホ

ールを率ひたものはリチャード・クロッカーであり、一九〇一年クロッカーが引退してからは、チャールス・エス・マーフィーこれを統率してゐたが、先年マーフィーが歿して後は、判事ジョージ・ダブリュー・オルヴァーニーによつて率ゐられて現在に及んでゐる。而してこの間、時々勢力の消長がないではなかつたが、常にニューヨーク市政に支配する中心勢力であることは否むことが出来なかつた。

一九二九年十一月の選挙の如き、タマニー派の寵兒であるところの當時の市長ウォーカーは、五十六票の多数を以て次點者の共和黨候補者を抜いて市長選挙のレコードを作つてをり、市會議員の定員六十五名の中二名、州會議員のうちニューヨーク市より選出すべき定員六十四名のうち二名、區長五名のうち一名、郡裁判所判事三名を除く以外の全部、即ち市會議長、會計検査員、國會議下院議員各一名、市會議員六十三名、州會議員六十二名、區長四名、郡執行官四名、郡書記四名、名地方検事三名、郡登録官四名、郡裁判所判事二名、普通裁判所判事一名、市裁判所判事五名、市裁判所判事十九名、州最高法院判事六名等を悉く自派より選出せしめた。以てその實力を想像するに足るのである。

タマニーの組織と統制　かくの如きタマニーの強味は、その一絲紊れざる統制と組織との點にある。彼等の行動は、あくまでも黨派本位である。彼等は自黨に忠實なるものを絶対に支持する代り、その統制に従順でないものに對しては毫も假借するところはない。この統制は一九二二年の選挙に對して檢裁判所判事のジョン・ビー・ユハーランに對して示されてゐる。ユハーラン判事はタマニー。ホールから選ばれた人であるが、過去十四年の間判事として人望を有し、數個の法曹團體も、また此の適任なることを認めて、任期満つるや再び豫選せられんことを推薦してゐたのであつたが、時のボス、マーフィーの命令に従順でなかつたと言ふ理由で、タマニー。ホールからその市選を拒まれ、而してその代りに多年マーフィー氏の配下たりし某が指名され當選したのだ。

市民の反感と不評判にも拘らず、タマニー。ホールの政治的勢力が牽手として抜くことの出来ない所以は、かやうなところに存するものゝやうである。だが、ほんとうの強さは、その組織の點にあると言はねばなるまい。その組織は次の如くであつて、政黨として最も模範的且つ能率的なものであると言はれてゐる。

前にも言つたやうに、タマニー。ホールは、ニューヨーク市の一部、ニューヨーク郡の民主黨支部の俗稱である。そして、そのニューヨーク郡は二十三の州下院議員選挙區に分かれてゐる。これ等の選挙區に於ける民主黨員は、それ／＼の投票區——その數約五千——殆に數人若しくは數千人の選挙區委員を選出する。この選挙區委員は、各選挙區毎に選挙區委員會を作り、民主黨支部の命をうけて、その選挙區内に於ける一切の政治運動の指導をする。

その運動は、選挙の有無に拘らず、止むことなく、平時の場合と雖も頗る活潑に行はれる。これがために、各選挙區には各種の俱樂部の如きものが設けられてゐる。斷へず黨員及びその友人等を集めて、懇談會を催し、または晚餐會を開いたり、遠足會や運動會を行つたりして、相互の親睦を計り、その結束を固めることに努めてゐる。また必要に應じては、人事百般の相談にも與り、警察署に貫ひ下げにも行つてやれば、市會への運動もしてやり、職業紹介所ともなり、營業または職業上の便宜をも與へ、一切の面倒を見る。クリスマスやその他の場合には、區域内の貧民に食物や衣服や靴や然料等の惠與もする。斯様にして、通常は殆んど社會團體もしくは、慈善團體であるかの如く行動してゐるが、一端選挙となれば、全組織を擧げて投票獲得のために邁進

し、殆んど手段を選ばざる如き熱心を以て、目的を追究するのだ。各選挙区委員会の中心人物は委員長であるが、委員長は各投票区に一人宛の投票区長を任命する。

この投票区長は、その投票区に於ける黨の代表者として選挙運動を指揮し、常に選挙人と密接なる關係を維持し、選挙期日に投票せしむる迄の責任を負つてゐる。彼は無給であるが、その仕事に必要な金はタマニー。ホールの會計課から與へられる。この投票区長が、委員会の訓令を實行するところの主なる常任役員なので、タマニーの勢力はこの投票区長によつて築かれてゐると言つてよい。選挙区委員会の上に、郡委員会即ち民主黨ニューヨーク郡支部がある。この委員会は二十三の選挙区委員会全部をもつて構成する。従つてその数は一万人以上に達してゐるが、その仕事は執行委員を選挙することだけで、支部の事務は、二十三人の選挙区首領と執行委員によつて總て處理せられる。この執行委員会の牛耳を握るのが即ちタマニー。ホールのボスなのだ。候補者の選定、利權の分配、運動費の調達等は總てこゝでされるのだ。

魔手に踊る政治家　ボスは何處に於ても表面には民衆政治家の假面を被つてをり、輿論の忠實なる僕の如くに装ふてはゐるが、裏面には所謂「見えざる政府」を作つて思ふ存分のことをして

ゐるのだ。

ルーズヴェルトの説によると、彼が初めて知事に當選したとき、當事の共和黨のボス、プラツトが訪ねて来て、懐中から州議會の委員人名表を出し、「今度はこんな風にきめるつもりだ！」と話した。ルーズヴェルトは州議會は未だ議長選挙さへしてゐないのだから、議長の任命すべき委員を勝手にきめて置いたところで仕方があるまいと返答したところ、プラツトは、にやりと笑つて「誰が議長になつても、僕をしたいやうにするさ！」と放言したが、事實悉くその通りになつたといふことだ。これは所謂ボスのボスたる所以で、極めて通常のことではあるが、これによつてその勢力の一斑を窺ひ知ることが出来るのだ。

豪奢なボスの生活　ボスと言ふものは何れも實利主義であつて、元より理想派ではない。政治を商賣には評價してゐない。政治家を物品と同様に心得てゐる。だから彼等は實權を求めてはゐるが、必ずしも地位を欲しない。表面に立つて華々しく活躍するよりも、裏面で畫策することを好んでゐる。

然し實利派であるから金を取ることには相當愚辣で拔目がない。サンフランシスコのボス・ア

ベ・ルーフは公營事業會社から顧問格として毎月千ドルづゝ取つてをり、また南部太平洋鐵道のために州の共產黨大會を纏めるからと言つて、巨額の金をせしめた證據も擧がつてゐるのだ。ペンシルヴァ州のクエーは州金を勝手に消費した廉で告發されたことがあり、タマニー・ホールのクローカノは別段に事業らしいものに關係した様子もないのに、それでゐて數百萬ドルの資産を積んでをり、同じくマーフィーは死後二百萬ドルの財産を遺族に残してゐた。イツノイ州のローチアー・サリヴァンは州政府の保護下にある某會社の顧問となつて、數百萬ドルを蓄積した。ゼヨセフ・シデイはニューヨーク市ウエーンズ區長を四年も勤めてゐたが、その間年俸僅か五千ドルをもつて王侯の如き豪華な生活をして、尙ほ且つ不動産に五十萬ドルの投資をすることの出来る金持になつた。尤も彼は公職買買の廉を以て處罰されてはゐる。だが、總てのボスが賄路を取つてゐると斷定するのは過言である。清廉潔白なボスが或は有るかも知れない。

シカゴのジョーヂ・ブレナンの如きは、一介の工夫から身を起して百萬長者の仲間に入つた男であるが、彼は悪いことをしてゐないと言はれてゐるし、またやつた證據もない。ブラットも相當に富んではゐたが、彼は私利私益を富んだ男ではないと、その友人ルーズヴェルトが保

證してゐる。尤もルーズヴェルトだつて、トラスト征伐をやつて全國の人氣を一身に集めてゐた最中に、その攻撃してゐる相手の一人、鐵道王ハリマン氏から巨額の金を平氣で受取つてゐるのだから、その言葉も額面通りに信用してよいか否かは判らない。かうしたことは、數へ立てれば限りもない。

現在の議會 アメリカの現在の議會は上院議員九十六名、下院議員四百三十五名によつて成立してゐるが、上院議員の任期は六年で、二三年毎にその三分の一づゝを改選し、下院議員は二年毎に全部改選する規定になつてゐる。目下民主黨が與黨となり、共和黨がこれに對立してゐる状態であつて、他に農民勞働黨、社會黨等の小政黨があるが、流石資本國アメリカだけに、勞働者階級が他の國より遙かに恵まれてゐる關係と、無産黨の勢力は甚だ微弱である。他の國であれば階級闘争の戦士になるかとも思はれる位の有爲な勞働者も、アメリカにあつては物質に恵まれてゐるために、忽ち小株主や小資本家の仲間入りをしてしまふ。彼等は會社の利益は即ち自分の利益と言ふことを寸時も忘れない。こんなところに共產主義、社會主義の發達しない原因があるのだ。(だが、最近赤色コミンテルンの陰險な魔手が、そろ／＼伸びようとしてゐる。この事に就

外 交

ては、思想の項に於て述べよう)

モンロー主義とは何か 米國の外交、それを約言して見ると、同國の附近即ち中米南米を含む西半球に於てはモンロー主義を徑とし、汎米政策を緯として自己の優越的地位を造ることに力めてゐる。一方遠隔のアジア太平洋西部方面、並びにヨーロッパを含む舊世界即ち他國が勢力を振り易い地域に於ては、米國は第一に自國の經濟發展に比較的有利に見らるべき門戸開放主義を振りかざし、他國がアメリカよりも優位の位置を築かないやうに策略し、第二に所謂國際協力問題等に付いては、一種の臨機應變主義、もしくは自由行動政策を取りつゝあるのだ。勿論、一國の外交政策は複雑であつて簡單に述べるをとは出来ない。だが、アメリカ外交の根幹は以上のところから發してゐる。以上の順序に従つて、第一に中南米方面、第二にアジア太平洋方面、第三にヨーロッパ方面に對する外交を検討することゝしよう。

然らば米國の外交は如何に動いてゐるか。その根本政策たるモンロー主義とは如何なるもので

あらうか。これに就ては一八二三年十二月時の米國大統領モンロー氏が議會に送つた教書の一節いはゆるモンロー宣言そのものを見究めなければならぬ。

このモンロー宣言には、第一にアメリカ大陸は、ヨーロッパ諸國の植民を許さぬことを冒頭とし、左のやうに述べてゐるのだ。

兩米洲大陸はその自由獨立の状態を維持せるに照らし、將來ヨーロッパ列強の植民の地と考へらるべからず、これ實に米國の權利利益に關係する一原則なる旨を聲明するはこの機會を適當とす。

モンローは更に言葉を續けてゐるが、言はうとするところは、ヨーロッパ諸國は最早米國に領土を獲得する時機は過ぎ去つたから、新しく野心を包蔵すべきものでない。並びに、アメリカ洲は共和政體を維持してゐる關係と、ヨーロッパの帝政の如きものが入り來ることを反對し、アメリカ洲はアメリカに委せよ。これに就てヨーロッパは關係するなど言ふ意味を聲明したものである。同時に米國もヨーロッパ洲に對しては大體として干渉せず、たゞ自己の權利利益防護の場合のみ行動を取る權利を保留するといふことを、その根柢としてゐるのだ。

自己流に變更してきたモンロー主義。だが、この聲明の中にあるヨーロッパその他舊世界に干渉せずと言ふ一點は追々怪しくなつて來た。近年米國がその勢力を次第に伸張し、殆んど世界の覇權を競ふ勢ひとなるにつれて、歩一步と變更され、場合によるとモンロー主義に聲明した、自己の權益に無關係な場合と雖も、舊世界に對して旺んに容喙し出したのである。尤もそれは繼續的でなく一時的ではあるが、一方アメリカ洲に關してヨーロッパ諸國の干渉を許さずと言ふ點にあつては、牢乎として守られて來たばかりではなく、反對にこの主張行動は擴大されつゝあるのだ。従つて同主義が今日に於ても過去百餘年前當時と同様米國の外交方針の根本をなしてゐることは、何人も否むことが出來ないのである。

何故モンロー主義を強調するか。モンロー主義が、米國の自己保全に根柢を置く以外に、自國の勢力をアメリカ洲に伸張しようとする一種の膨脹政策であることは、これまた見遁すことは出來ない。それはモンロー主義聲明當時の事情を見れば、直ちに判明されるのみである。時代は溯るが、丁度ナポレオン戦争當時、スペインはフランス軍に打破られ、一八〇八年ナポレオンの兄ヨセフ・ボナバルトがスペイン王となつた。その機會に、南米中米のスペイン領は

叛亂を起した。一八一〇年ヴェネズエラのミラングに於て叛亂があり、同年アルゼンチンのヴェノスアイレスにも叛亂が起り、かうしてラテンアメリカの獨立の機運が進捗した。ところが、一八一五年フェルデナンドがスペイン王に復し、スペインの政狀も鎮靜したので、南米中米のスペイン領の獨立を取消せようとしたが、一旦獨立した中南米は獨立取消しに同意せず、米にスペイン王は、ヨーロッパ列強に訴へ、列強中フランスの援助を得て、中南米の舊スペイン植民地を回復しようとしたのである。

而してその間、フランスはスペインを助けて中南米植民地を回復せしめると共に、一の手數料としてキューバ島、もしくはスペイン植民地の一部を手に入れようと企らんだのを、米國政府の知るところとなつたのである。かうなると米國は、たとへ弱國とは言へ、スペインの植民地回復は面白くないが、それ以上にフランスの如きヨーロッパの強國が、隣地に新しい勢力を扶植することに多大の不安を催し、さてこそ、モンロー宣言を發する重大な素因となつたのである。

要するに、その裏面には、他國の強大なる力を入れる餘地を與へしめず、反對に自國の勢力を膨脹しやうとする野心を抱藏することは既に明かなのである。その事實は舊メキシコ領の蠶食、

中南米諸國に對する歐洲諸國の外交交渉妨害のための國際的警察權の行使、メキシコ國がマグダレナ灣讓許賣却問題に關する白人會社に對する横暴等着々その假面をかなり捨て、來た。だが、これを一々詳細する違はない。こゝでは米國外交の根本をなすモンロー主義が如何なる建前によつて行はれてゐるかを傳へれば満足である。

汎米主義とは如何なるものか モンロー主義に次いで米國の外交の主張をなすものは、汎米主義である。この汎米主義とは如何なるものかと言ふに、前アンゼンチン駐劄米國公使であり、汎米聯合事務局第一期主任であつたジョン・バレーの言葉を徴すれば判る。彼はかう述べてゐる。「二十一のアメリカ共和國が相互の主權を損することなくして、その中の一國もしくは數國の幸福を計るため、行動もしくは態度の意である」と言つてゐる。またコロンビヤ大學講師ビヤ氏は「全アメリカ間の精神的、政治的、經濟的關係を密接にしよとするアメリカ國際運動」と説明してゐる。だが、これらの定義によると米國が如何に中南米諸國の感情を害してはならぬかに腐心してゐるかを示すものであつて、定義としては實際的のものとは言ひ切れない。寧ろ多少皮肉ではあるが、實際の状態を言ふと「同じく未だ陸にあると言ふ地理的事情を利用して、協同の形

式を隣國に強ひ、これを以て膨脹策を遂げようとする米國の政策」と稱するのが至當であらう。蓋し今日アメリカが協同する國際的團結として見てゐる汎米と言ふのは何かと言へば、それは北のカナダを除いた二十一國を意味するのだ。

この二十一國と言ふのは、第一に米國、それに次いでメキシコ、中南ではサルヴァドル、ホンジュラス、ニカラガ、コスタリカ、グアテマラ、パナヤの六ヶ國、南米ではヴェネネから、コロンビア、エクアドル、チリ、ペルユー、ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ、ボリヴィアの十ヶ國、カリビアン海ではキューバ、ハイチ、サントミンゴの三ヶ國、面積としては全體で一二〇〇萬方哩、その中、北米合衆國三〇〇萬方哩、ラテンアメリカ九〇〇萬方哩、全人口約二億からなつてゐるのである。

この汎米主義につき、我々が先づ注意を惹く點は、他の汎斯拉ヴ主義、汎獨主義、汎ラテン主義の如きは總て人種を根據に於てゐるものであるが、汎米主義は人種ではなくて、地理關係を根據に於てゐることが著るしく違つてゐるのだ。譬へば汎斯拉ヴ主義は、ロシア人、ポーランド人、チェツコ人、スロヴァツク人、ブルガリア人等大體人種の同じものになつてゐり、汎獨主義

もドイツ人系統の聯合であり、汎ラテン主義もラテン系統即ちフランス、イタリア、スペイン、ルーマニア等のものである。だが、ひとり汎米主義は人種を根據としてゐない。蓋し中南兩米に
 ゐる大部分のものはスペイン系統である。尤も土民を除く白人系はラテン系統である。これに反
 して米國はアングロ・サクソン民族の系統なのだ。民族的にこれが一致すべきわけがない、のみ
 ならず、汎米の團結から除外してゐるカナダこそ米國と同様にアングロ・サクソン民族ではない
 か。民族を同じうするカナダは、これを排し、民族を異にする南米中米と手を携へてゐるところ
 に、單に地理的關係を利用してゐるといふ姿が明かに現はれてゐる。

而も同じ民族のカナダを排斥してゐるのは英の領土であるからだと言ふことを考へると、強國
 イギリスはこれを排斥し、弱國たる中米南米諸國と握手の形に於て協同の形式の下に實力ある自
 己の力を積極的に伸張しようとするところに、汎米主義の眞相の存することとを忘れてはならな
 い。

汎米會議開催 米國の汎米唱道は、先づその主張した汎米會議に現はれてゐる。この汎米會議
 は一八八一年時の米國々務長官ゼームス・ブレインが發議したものであつたが、不幸にして實現

されず、一八八八年大統領クリーブランドが招待を發した時、始めて中米南米が同意したのであ
 る。その後二三年毎に一回開催され今日に至つてゐる。

この會議は主として國際法、國際衛生、國稅、通信交通の如きアメリカ州諸國共通の問題を協
 議して、條約を作つて來たものであるが、元々アメリカ合衆國を中心として行はれて來たもので
 あることは否定出來ない。第一に同會議の中央機關汎米事務局なるものが、ワシントンに置かれ
 てゐ、同會議の理事長には長年米國々務長官が當り、理事はワシントン駐在中の米諸國の大公
 使がなつてゐる。然し米國に駐在するこれ等の大公使は、米國政府と好い關係を續けない限り、
 日常の事務を取ることが出來ないから、自然汎米會議の事務に於て、米國の主義に従はねばなら
 ぬ境遇にある。その後理事長を選擧制と改めたけれども、實際問題として米國に事務所が置かれ
 て、米國々務長官のすることになると、形式が選舉に變つても、事實は以前と少しも變化はない
 且つ米國の汎米政策等は獨りこの會議を経て行はれるわけではなく、他の種々な策略を以て、
 中米發展策を進めてゐるのだ。

對中南米外交の種々相 米國の中米南米に於ける汎米外交には地域的に見て二つに區分されて

ゐる。即ち第一は中米地帯並に南米北端であり、第二はブラジル、チリー、アルゼンチン、ペリ
 ヌ等を含む南米の南部及北部の大部分である。右の内第一區域に於ては、米國は該地域を事實上
 の保護領視した行動をとり、内政干渉等も敢てしてゐるのだ。これに反して第二區域に於ては專
 ら自己の經濟發展、即ち貿易策等を進めることを主にして、政治的權力を及ぼすことは、躊躇し
 てゐるのである。これ一は第一區域が自國に極めて近く、第二區域が遠いためでもあらうが、ま
 た一には、第一區域が實に現在の米國の經濟發展と、政治的、軍事的政策に重きをなす地峽運河
 地帯にあるためだと思はれる。左にその概略を述べよう。

キューバに對する暴壓 先づ第一に我々の目につくのはキューバである。このキューバは米國
 から見ると、ニューヨーク方面からパナマ運河に進む道筋に近い場所、交通上重きをなす事情
 もある。次に一八九八年米國が力を借してスペインより獨立させたといふ歴史的事情も加つてゐ
 るので、今日米國が權力を揮ふのは多少辯護すべき理由も存在するが、我等は兎も角も米國がこ
 れに自己の保護領化してゐると主張しても過言でないと思ふ。それは何かと言ふと一九〇一年二
 月、キューバの憲法を制定した大會では、米國の求めた監督權を承認しなかつたのだ。

ところが米國上院は、これを遺憾とし遂に所謂ブラット修正案なるものを通過し、一九〇一年
 六月十二日キューバの憲法大會をして無理にこれを採用せしめたのである。その内容は、第一キ
 ユーバはその獨立を損する如き條約を外國と結ぶ能はざること、その領土を外國に讓る能はざること、
 第二、歳入より支拂ひし得ざる如き借金を外國よりなすべからざること、第三、米國は獨
 立保護秩序維持のため干渉するの權利を有すること、第四、キューバは米國に石炭鑛及び海軍港
 を賣り、若しくは貸與すること等を定めたのであつた。

然して現にアメリカはキューバのガンタナモに海軍根據地を獲得してゐるばかりでなく、例の
 一九〇五年キューバの政治に干渉し、タフト氏が假キューバ知事となつたことさへあつたのだ。
 その後、大統領、議員等の選挙の行はれる時は、水兵を上陸させてこれを監督すること度々であ
 つた。更に米國はキューバに於て經濟的に同島を支配する策動に出でゐる。即ち米國が同島に迫
 つてその憲法の一部たらしめたブラット修正案中の一項に對し、キューバの債務に就てその監督
 權を米國に與へたといふ如き極端な解釋を下し、それを基としてヨーロッパ資本のキューバに入
 ることを制止し、以てその政治に干渉する策動を續けてゐるのだ。

パナマ共和國獨立の陰謀 更に眼をパナマに轉すると、如何に米國の策動の露骨であるか、知れる。パナマ共和國に於ける行動を歴史的に見ると我等はこゝにも米國の膨脹政策もしくは覇權政策を發見する。顧みると現在獨立國を形成してゐるパナマは、元南米コロンビア國の一領土にすぎなかつた。ところがコロンビア上院が一旦締結した。パナマ地峽運河權を米國に許すアメリカ、コロンビア條約の批准を拒むと、米人はコロンビアの一州たるパナマに獨立運動を起させ、而も非常なる援助を與へてこれを成功させ、新政府を作らせた後、これと條約を締結して運河權を獲得したのだ。當時パナマ獨立派の中心人物アマドール等は、豫め事前に米國を訪問し、その暗黙的瞭解を得たものだ。而して愈々一九〇三年十一月革命を遂行する時にも、米國砲艦ナツシビルがコロン港に到着したのを見て、その後援に安心して、始めてこれを擧げたのであつた。次にこの革命の報を聞いたコロンビア國政府は軍隊をもつて鎮壓すべく、一九〇三年十一月三日司令官トバル等に命じ愈々叛徒鎮壓をしようとした時、米國海軍のナツシビル艦長はパナマ地峽に革命戦争の起る時は、地峽鐵道の交通機關妨害せらるゝ虞れあるとの理由を以て政府軍の叛軍征伐を停めたのであつた。

かくして微力な革命派は何人よりも征伐を受けなかつたために、安全に革命政府を作ることが出来た。

これを見た米國政府は、革命後僅か九日目に事實上政府と認めた。そして急速にこれと條約に作り、パナマ運河開鑿の權利を獲得したのである。普通、新政府承認の如きは容易ならぬ問題であつて、相當の時日を経過し、相手の政府の安定能力の明確をたしかめてのち承認するのが常識である。

然るに米國はこれに反し、コロンビアの主權を無視した措置に出で、その後七億萬圓の巨費を投じてパナマ運河を作り、漸く世界大戰初期完成したのであつた。且つ米國は爾來パナマ共和國を自己の屬領の如く扱ひ、大正十五年には自國に有利な同盟條約を締結した。それによると、第一、米國が他國と戦争を開始した場合はパナマは直ちに米國に加擔すること、第二、パナマは戦争の場合、無電、飛行場の支配運用を米國に渡すこと、その他交戦に必要な土地を自由に取上げること等が明記され、一方、米國のためには、パナマは直ちに參戰する等、事實に於て米國の屬領化すやうな條約を作つた。然しこの條約は一九二七年一月のパナマ議會に於て批准を拒否され

たのだ。それはパナマも國際聯盟の一員となり、その規定によつて不當極まる條約が失敗に歸したのである。然しこの條約が成立すると否とに拘らず、パナマは米國の保護領化したことは否認することが出来ないものである。

ニカラガ運河開鑿權獲得 米國の魔手はパナマ保護領化することだけでは飽足らず、更に中米ニカラガにまで伸びたのである。このニカラガは面積に於てニューヨーク州位であるが、米國は豫てから内政に干渉し、先づ一八九〇八年ゼテヤ大統領を失脚させんと謀つた。ゼテヤ大統領は過去十八年の地位を繼續し、鐵腕を以て鳴る人物であり、且つ獨立心強固な爲、米國の傀儡たることを潔しとしなかつた。

そこで米國は反對派のエストラダを助けて叛亂を起させ、武器を供給し、反對にニカラガ政府へは武器供給の途を閉鎖し、次いでガラヤの没落を餘議なくさせた。その後も國內に争鬭がある度毎に米國は親米派の力を助けて次第に自國に有利に導き、遂に一九一三、四年に亘つて、ニカラガ運河開鑿の權利を獲得したのである。而してこれと同時に、フオンカセ灣を米國の海軍根據地とすることを承諾させた。

運河開鑿の機迫る ニカラガ運河開鑿に就ては、時機が愈々迫つて來、本年一月米國の大海軍主義者として有名な下院海軍委員長ウイルソンは、陸軍の協力を求めて、近く開鑿のプランを議會に提出し、その成立を期することになつた。

この開鑿案は、多年に運河地帯測量に従事した陸軍省測量部隊の報告に基くものであつて、それによつて豫算金額七億二千二百萬ドル、大西洋から太平洋に至る全距離百七十二哩。八、そのうち七十哩はニカラガ湖を通過することになつてゐるのだ。元々米國とニカラガ間には既に條約があるので、何等政治的困難は無いが、ニカラガの隣國コスタリカ政府に改めて交渉する必要がある。

だが、もし運河開鑿と決定しても、事業に着手されるのは二年後であり、工事着手から竣工するまでに約十年の長日月を要することになるだらう。前記の見積りのうち、約五千萬ドルは要塞築城軍事防備施設のため、二千五百萬ドルは運河地帯買収費等に當てられる筈である。

米國の陸海軍がニカラガ運河開鑿の必要を強調する理由は、現在のパナマ運河地帯の地質の脆弱なこと、同運河の閘門が巨船と巨艦の通過に不便であること、同運河が水面より非常に高い地

點を通ずること、ニカラガ運河が右の反對であり、全長はパナマ運河よりも長いが、高地を通過せず、更に國防の見地から見て、パナマ運河よりも五百哩米本國に接近すること、パナマ、ニカラガ兩運河を同時に所有する時は、一旦緩急ある場合に米艦隊の行動が迅速に行はれる等が擧げられてゐるのだ。

ニカラガの内政に干渉す 米國がニカラガ運河條約を作り、フオンカセ灣に海軍根據地を作つたことは、一は大平洋方面からパナマ運河を攻め、若くは將來作られるニカラガ運河を攻めるものがあつた場合、これを防ぐための準備であることは言ふまでもない。

これに關して注意すべきことは、米國がこの政策を遂行する必要から、常にニカラガの内政に干渉し、自己に味方する政府を立て、反對するものは如何にニカラガがこれを支持後援しても、斷然排斥するといふ干渉政策を取つてゐることである。即ち一九二六年にも、米國はニカラガの保守黨を助けて米國に面白からざる自由黨を排斥し、自由黨軍には武器彈藥の輸送を中止させた。更に一九二六年十二月、米國海軍は自由黨軍の本營であり、米國在留者のあるペルトオカベサスに軍隊を上陸せしめ、こゝに米人の生命財産保護の名目で、中立地帯を作つた。而もニカラガに

ゐる米國人は僅か七百名にすぎないのに、米國水兵は六千人に達した。これは當時排米的であつたサカサ等の勢力を打破することを目的とし、自由黨軍の行動を妨げたのであつた。その他、ニカラガの總選舉に際し、ニカラガ議會の反對をも無視して、米水兵を上陸させ、選舉監督を行つて、米國と妥協した一人の大統領候補者を選出せしめるといふやうな暴壓を敢てしたのである。

メキシコに於ける石油政策 米國が自國の石油會社の成功のために種々畫策し、これがために隣國メキシコに實際的の干渉政策を繼續して來たことは既に人の知るところである。即ち三十年勤續のメキシコ大統領ディアスが、メキシコの利權を維持する必要上、従來の親米政策を一變してイギリスの事業家に恩寵を與へたといふ點から米國官民の反對が起り、遂に米國系はマデイロの叛軍に援助を與へ、一九一一年ディアスをして政界から隱遁、ヨーロッパに遁れさせるやうな策動を施した。

次いで一九一三年親米派でないウエルタ將軍が政權を握ると、米國はまたもやこれに反對し、米國々境近くに兵を擧げたカラランザに味方し、遂にウエルタを失脚せしめた。その後カラランザの死去後、オブレゴンが大統領に當選すると、米國はメキシコ政府の米人石油會社に對する監督政

策、徵稅政策に反對し、大統領たることを承認せず、後に至つてメキシコ政府が漸く妥協態度を取るに至つて、始めてオブレゴン大統領を承認したのである。かくの如く米國は常にメキシコに於ける米國資本家の權益の恩寵如何を根據にして、常にメキシコ政府を支持し、或る場合は反對する。

以上によつて中南米に對する米國外交が、如何に私利私慾のためになされてゐるか判るであらう。

米國の東洋外交 翻へつて米國の東洋外交はどうであるか。これをイギリス、フランス、ロシアなどの極端な侵略政策を取つた國に比較すると、表面では領土的野心も割合に少く、單に交通線の獲得に主力を注いだことが、外交過程に現はれてゐる。尤もイギリスと雖も最初のうちは太平洋アジア方面に於て交通線を獲得すること位を希望してゐたのが、後になつて領土獲得の野望に轉換したのであるから、單に一時の政策を以て將來を卜することは出来ない。

たゞ米國は國家を建設したのが十八世紀末であり、建國後は暫くアメリカ大陸の問題に忙殺されて、アジア方面に活動する餘裕のなかつたことが、前記のイギリスなどと對東洋政策を異にし

た理由である。とにかく米國の對東洋政策は領土に關する限り、ヨーロッパ諸國の極端な侵略政策と異り、最小限度の交通線獲得であつたことだけは認めねばならぬ。

門戶開放機會均等主義の外交 米國の東洋外交の根本となるものは「均等待遇」の要求である。米國はイギリスやロシアの如く武力を以てアジア太平洋の弱國を壓迫してこれから特別の權益を獲得するが如きことは敢てしない代りに、他國が如何なる手段にせよ獲得したものに就ては、その正當たると不正當たるを問はず、その權利利益に均霑を主張すると言ふのが、その外交の特徵であつた。それは「最惠國待遇」の主張といふ形態を示し、その後事情の變化につれて、形を變へた均等待遇を主張すべく、所謂「門戶開放・機會均等主義」を鼓吹し來つたのである。その意味に於て、所謂最惠國條約と言ひ、門戶開放、機會均等の要求と言ひ、言葉は變つてゐるが根柢に於ては同一外交政策に出でたものである。

小笠原・琉球占領の意圖 米國が太平洋に於ける交通線獲得に先立ち、日本の小笠原島及び琉球を占領して、こゝに石炭貯藏所、其他必要な建物を設備する計畫のあつたことは、嘉永六年ベリ提督が日本を訪問した當時の、米政府首脳部間の計畫となつてゐたが、その後、日本が通商

を承諾したので、米國としては武力を用ひてまでも、これを占領する必要を見なかつたので、この計畫は打切られた。

いま、その間の事情を詳記することは紙面がこれを許さず、且つ時代も大分遡るので、遺憾乍ら割愛することとし、一方、ハワイ併合、アラスカ買収等によつて、太平洋に於ける米國の東洋政策たるものを紹介しよう。

アラスカ買収とハワイ併合 一八七〇年頃になると、米國のカリフォルニア州及太平洋沿岸の米領は漸次發達し、時代は漸次大西洋より太平洋に移らうとする傾向を示した。當時國務長官シユワードは一八六七年ロシアと條約を結び、一千四百四十萬圓を投じて、アラスカ及びアリユースアン群島を手に入れたのである。言ふまでもなく、これ等の土地及群島は、米國の北太平洋に於ける海軍根據地、及び交通線を獲得する上に必要な土地であつた。

一方、太平洋政策上、米國が豫てから着目してゐたハワイ諸島とは、最初互惠條約を締結してゐたが、その時分には、既に自國の手中に入れる野心を抱懷してゐた。恰も、一八九二年同島に在留米人が革命を起し、それまでハワイ女王の治下であつた同島も、王政が潰滅し、翌年共和制

となつたが、一八九八年には遂に米國に併合される運命に立至つたのである。

フィリッピン群島占領 次に米國に占領されたのは西太平洋のフィリッピン島であつた。同島は總面積十一萬五千六哩、人口千二百萬を算し、大西洋西端に散布する七千八十三の島群である。これは久しくスペイン領土であつたが、一八九八年キューベ問題からスペイン米國間に戦争が起るや、五月一日米國デユウイ提督はマニラに於てスペイン艦隊を撃沈し、同年八月フィリッピンを占領したのである。かくして米國の太平洋交通線は漸次擴大されて行つた。

東洋に於ける投資 機會均等。門戶開放によつて働かずして同等の利益を得ようとする米國の東洋外交は、特に支那に於て露骨に發揮された。然らば何が故に米國が、斯くも東洋に驥足を伸ばさうとするのかと言へば、それは米國が今後東洋に於て生産品の市場を求めなければならぬ状態に立至つてゐるからである。言ふまでもなく、世界大戰前米國は農業を主とする國であつたが大戦と同時に各國の軍需品製造を引受けたのが轉機となつて、一躍工業國と變つてしまつた。ところが大戰が終熄すると、漸次歐洲各國の工業も回復し、米國の工業品の販路も次第に狭められて來た。必然米國はその膨脹した工業の得意先を、太平洋アジア方面に求めねばならなくな

つた。

更に注意すべきは米國の物資政策である。アメリカは誰も知るやうに、石油、石炭、鐵、棉花、羊毛、その他重要な資源に恵まれてはゐるが、なほ缺乏してゐるものがある。それは熱帯産物である。米國はこの方面に着目してアジア、太平洋方面に十四億を投資してゐる。勿論、この金額は驚く程ではないが、既に開發されつくしたヨーロッパは、決して有利な投資目的地ではない。資源の開發されないアジア太平洋方面こそ、有力な投資目的地であるのだ。

以上の貿易政策、物資政策、投資政策に刺戟されて米國が所謂機會均等主義と交通線維持策とを基礎として、今後東洋に於て、經濟競争を主要とした外交政策を進めるのは、見易い道理である。

米國外交の豹變 最後にヨーロッパに對する米國の外交を見ると、従來は政治的にも自由に有利な場合のほかは、なるべくこれを避ける方針であつた。その顯著な例は國際聯盟との關係である。この聯盟は誰もが知る如く米國が主唱して自ら指導的地位に立つたのであるが、自國はこれに加入してゐない。何故米國がかかる態度を取るかと言へば、一は國祖ワシントン以來、ヨーロ

ツパの問題には干與せずと言ふ例のモンロー主義と、一は世界大戰によつて、ヨーロッパ諸政府に對して、二百億圓の債權を有することになつた。この上ヨーロッパ諸國と公式協力を續けることは、やがて債權棒引その他の厄介な犠牲を餘儀なくされると言ふ懸念に基くものと察せられる。然し米國のかう言ふ「非協力主義」の外交も、最近では漸次改變せられなければならない破目に立至つた。その顯著な例は、ドイツ賠償金問題である。この問題は、一九二四年ドーズ案に於て一進展を見、更に一九二九年ヤング案によつて再進展を見たことは周知の事實である。ヨーロッパとの協力を避けようとして、避けることの出来ないのが、世界の密接な經濟關係である。かく米國の非協力主義も次第にその色彩を稀薄ならしめた。否、そればかりでなく米國は進んで一九二八年不戰條約締結に乗り出さねばならず、次で一九三〇年にはロンドン海軍會議にも参加しなければならなかつた。かく觀すれば、米國の外交も要するに都合主義に豹變されつゝあることは否むことは出来ない。

(尙、軍縮會議に就ては、この項に於て述べるのが妥當であるが、既に、英、佛の章に繰返し記述して置いたから、それを参照していただきたい)

米國の國民所得 米國の國民所得は何程であるか、これは米國の經濟的實勢を知るためにも、また國富の實數を知る上にも、最も必要なことである。然しこれを正確に知ることは不可能であるから、我々は推定概數を知る程度に止まらなければならぬ。

ハー・ヴュー・イ・フィスク氏の最近の調査によると、米國民所得の總額は八百九十四億一千九百萬弗、米國の積金は二百二億七千萬哩、人口一億三千萬入であり、この面積と人口から計算して見るに、一方哩一ヶ年の所得は二億九千五百四十弗となり、一人當りの所得金高は七百四十九弗となつてゐる。

これを他の主要諸國の所得と比較すると、最近に於ける英國の總所得は百八十四億萬弗（四十二億六千四百萬ポンド）面積一平方哩の所得は、十九萬五千弗、人口一人當り所得四百〇九弗である。佛國の所得は八十二億三千萬弗、面積一平方哩の所得三萬六千弗、人口一人當りの所得二百〇一弗である。獨逸は一ヶ年の所得高百二十億弗、面積一平方哩當り六萬五千弗、人口一人

當り百九十弗である。序に同氏の調査による日本の所得を掲げると、日本の一ヶ年の所得五十五億弗、面積一平方哩當り二萬一千弗、人口一人當り六十六ドルである。

米國は總額に於ても人口一人當りの所得に於ても嶄然頭角を現はし、他國の比に非ざることを示してゐるのだ。總所得にあつては（一）米國、（二）英國、（三）獨逸、（四）佛國、（五）日本といふ順序となり、國民一人當りの所得にあつては、（一）米國、（二）英國、（三）佛國、（四）獨逸、（五）日本といふ順序となつてゐる。

ウォール街の繁榮 米國の經濟的繁榮を如實に現はすものは、ウォール街である。このウォール街なる名稱は二百七十年前に、この地に移住したオランダ人が、土人の襲撃に備へて城壁を築いたのに起因してゐる。これが今日のロンドンのロムバード街と對立して、世界の二大金融市場であるばかりか、寧ろ英國のそれを凌駕して經濟的の繁榮を誇つてゐるのだ。

ウォール街を國際金融の中心市場といふのは、こゝには各種の金融機關が並立して巨億の資金を抱擁し、何時でも巨大な資金を調達することが出来るからである。この國際的な大金融市場を形成するものは、ニューヨーク聯邦準備銀行、チエーズ・ナシヨナル・バンク、ナシヨナルチー。

バンク等の如き銀行の外に、モルガン商會、クローレ・ローブ商會、フキナンシアア、ガラランチー
トラスス等の信託會社等々である。
ウォール街が米國の經濟的活動の中樞たる他の原因の一つとしては、この地が大規模な有價證
券市場であるためである。即ち米國の富は一方には銀行預金となつて蓄積され、他は有力なる運
用手段たる株式投資となつてゐる。従つて、米國の富が増加すればする程、株式投資は激増する
譯であるのだ。

世界貿易界の覇者米國 貿易國として多年世界一の地位を占めてゐたのは英國であつた。特に
大戦前に於ける英國の貿易上の地位は著るしく高まり、到底他國の追従を許さなかつた。然るに
大戦を契機として貿易界の情勢は大轉回し、今や米國の地位は隆々として英國を凌駕するに至つ
たのである。

即ち大戦當時たる一九一三年に於ける英國の貿易は輸出合計百四十億圓であり、この年の米
國の貿易は八十四億圓にすぎなかつた。然るに一九二九年には、英國が二百〇六億圓であり、米
國は百九十二億となつてゐる。これを發展の割合から言ふと、英國は十六年間に四割七分の増加

であるに對し、米國は同期間に十二割九分即ち二倍以上の増進である。かくて最近に至つては、
遂に貿易界の古豪を却け嶄然世界の覇者として、縦横に手を展げるに至つたのである。

茲に米國の貿易上看過してはならない重大特色がある。それは、米國の貿易が毎年必づ輸出超
過であることだ。これは米國が國際經濟上の覇者たる重大原因である。單に金額から言へば英國
の貿易額も頗る巨額であるが、同國は年に著しい輸入超過に悩んでゐる。たゞ英國には、貿易外
の受取超過、即ち海運収入とか對外投資益金とかが巨額が上り、これ等が貿易上の入超を支拂つ
ても尙餘りあるのだ。だから英國は右のやうな莫大な入超があつても、國の經濟を破産させるや
うなことはない。

然るに米國の貿易は、前記のやうに年々巨額の輸出超過であり、最近の調査によると、年三十
億に達してゐる。いま米國の貿易の主なるものを商品別に考察すると、次のやうになる。

輸入品(1)生ゴム(2)生絲(3)コーヒー(4)砂糖(5)羊毛(6)印刷用紙等、總輸入全額の四割
輸出品(1)棉花(2)製精油(3)自動車(4)小麦及小麦粉等、總輸出全額の四割
尙我國と米國との貿易を見ると、米國としては必ずしも重大な取引國ではないが、我國から言

へば、米國は輸出入貿易上第一位の取引先である。即ち米國の輸出品中第二位にある生絲の八割は我國からの輸出にかゝるものである。更に米國の輸出品の第一位にある棉花は、我國の輸出品の第一位にあり、印棉と對立して米棉は我が貿易上、最も重要な地位を占めてゐるのである。

對外投資二百億弗 世界の國際經濟事情を見ると、貿易の出超によつてその經濟を立てゝゐるものもあり、反對に貿易は入超を續けてゐるが、國際投資が多いために、その利子によつて入超を補つてゐる、前述の英國の如きものもある。大戰前の状態を見ると世界第一の資本國は勿論英國であり、次に佛、獨であつて、米國はそれ以下であつた。

大戰前英國の對外投資は約二百億ドルであり、佛國百億ドル、獨逸約五十億ドルであつた。然るにこの状態は大戰のために一大變化を與へた。英國は大戰のために對外債券の一部を賣却することを餘儀なくされ、佛國もまた同様であつたが、更に特別の事情が潜在してゐた。と言ふのは佛國の債權の相手國の第一はロシアであつて、大戰前のロシアは主として佛國の資本によつてその産業を開發してゐたのである。

然るにロシアは大戰後政情が一變し、外債は一切支拂はない態度を取るに至つた。そのそのた

めに佛國のロシアに對する債權も殆んど消滅してしまひ、その他の確實な債權のある部分も賣却してしまつたので、同國の債權國たる實力は非常に低下してしまつた。

これに反して、米國の對外投資は、戰前に比して非常な變化を示してゐる。元來米國は戰前に於ては寧ろ債務國で、外債利子も年々二億ドルに達してゐた位だ。即ち戰前は歐洲の資金によつて自國の産業を開發し、經濟上の發展に努めてゐたのである。然るに大戰によつて出超は著しく増加し、これを以て對外債務を減少して行くと共に、反對に新たな貸付を行つたので、現在に於ては國際投資國として米國の地位は歐洲諸國に比して、一頭地を抜くことになつたのである。かくて戰前（一九一三年）僅か二十六億ドルであつた米國の對外投資も、一九二八年末には一躍百五十億ドルに達し正に六倍の巨額を示すやうになり、現在では遂に二百億ドル驚異的數字を見せてゐるのである。

盛んなる棉花と小麦の生産 一方、米國の産業界は如何と言ふに、農業が經濟力の根柢をなしてゐるのである。元々米國の耕地面積は驚くべき廣大さであり、地味は頗る豊饒である。米國が今日の經濟的發展をなしたのは、前記の通り輸出貿易の賜であり、その輸出品の最大なるもの

は棉花である。即ち經濟的發展は農業と最も緊密なる關係を有するから、政府としても、これの保護救済には主力を注いでゐるのだ。

米國の農業に就ては勿論記すべきものが多いが、茲には二大農業品なる棉花と小麦に就てのみ述べることにする。兩者とも、國際的商品であつて、その産額市價は直ちに米國の經濟に影響するのみならず、ひいて世界の經濟にも重大な波動を及ぼすからだ。

米國に於ける棉の作付面積は大略五十萬エーカーに上り、嶄然世界第一位にある。而して棉花の産額は世界の總産額の六割に達してゐる。尤も同國が棉の試作をやつたのは一六二二年であり、今から約三十四年以前であつたが、その後次第に發展を遂げて今日に至つたのである。

元來、米國の棉作はその起源をヴァージニア州に發し、氣候、地味、交通等の關係から、漸次ミシシッピ河の下流地方に傳はり、これを中心として、次第に東西に擴がつて行つたものであるが、現在では北緯三十七度附近を北の限界とし、東は南北カロリナ州、西はテキアス州オリラマ州に至る區域が最も盛んである。

そのうち、太平洋沿岸の地域はその歴史も古いが、土地は赤色の粘土質で極めて豊沃であり、

栽培と肥料を要することも少ないが、棉の品種は陸地棉と呼ばれる短毛のもので、品質は優良でない。反對にメキシコ灣沿岸地方は緯度と暖流の關係と、氣温も高く、比較的濕潤な氣候を有する關係と、海島棉の栽培好適地であつて、優良なる棉花を産出する。

次にミシシッピ河一地の地域は豊沃な沖積層で西部に次で優良な棉花を産し、棉作經營も極めて大規模に行はれてゐるのだ。而して州別に生産高を上げると、第一はテキサス州であり、全産額の四分ノ一以上を占めてゐる。第二はミシシッピ州、第三はアンカンサス州、其他オクラハマ、アラバマ州がこれに續いてゐる。

一方、麥類の産額であるが、米國はロシアと比肩する世界有數の麥作國である。産額は年によつて多少の相違はあるが、小麦二億キントル、大麥四千キントル、ライ麥一千萬キントル、オート二千萬キントル、即ち小麦が斷然主位を占めてゐるのである。

世界大戰によつて穀價が著るしく暴騰を來し、米國が歐洲に對する重大な食糧供給の役割を演ずるに至つたので、これが生産事業も頗る活況を呈した。従つて戦後の反動も最も強く受ける道理で、一時減少を來したが、近年再び増産の傾向を辿るやうになつたのである。

この麥作には大體二通りの種類があつて、即ち秋時小麥を主として栽培する所謂冬麥地帯と春時小麥を主とする春麥地帯とに分れてゐる。而もその領域が頗る廣大なためと、勞銀の高い關係から一般に農業經營は大規模であり、極度に機械力を利用してゐることが特長である。整地、播種、刈取、調整等悉く機械力を利用するため、收穫率の低いのは止むを得ない。これを小麥の例に取つて見ても、一ヘクター當り收量八・六キントルで、他の歐洲諸國の等分以下の收穫率なのだ。

尙ほ我等は米國の殷盛を物語る製鐵業・造船業・紡績業・鑛業等を述べたいが、限りある紙面では到底これを記述することは出来ない。こゝでは、時代の寵兒たる自動車工業と、映畫工業の概略を記して、如何に米國が、この方面に躍進してゐるかを述べよう。

大規模なる自動車工業 現在の世界文明は、自動車工業の偉大なる發達の賜と言つても敢て過言ではない。而してその先驅をなすものは實に米國であつて、最近同國各州政府に登録された自動車現在数は、實に四千萬臺の多數に上り、一年の生産高約六百萬臺、この價實に六十億の巨額に達し、世界製造高の八分の五を占め、これに従事する労働者約二十五萬人、動力使用高七十

五萬馬力、勞銀の支拂高四億五千萬ドルに上つてゐる。もつて米國の自動車工業が如何に偉大なるかを知ることが出来る。

然しこの新興工業の恩恵は獨りこれに従事するもののみならず、廣く一般の産業並に文化の上にも甚大な影響を與へた。即ち米國の今日の繁榮は自動車の發達に負ふところ頗る大なるは言を俟たない。それは使用される原料の高を見ても推察することが出来る。即ち米國に於て需要するゴムの八割五分、板ガラスの六割七分、鐵及び鋼鐵の二割、銅の一割五分、硬質木材の八割、鉛の二割、ガソリンの八割は、自動車製造または使用のために消費されるものであつて、これを見ても如何に産業上重要な關係を有してゐるか判らう。

自動車發達の素因 然らば何故に米國自動車工業が、かくも急速に進歩したかと言へば、その原因は種々あるが、時代の要求に適したことにある。例へば輸送力が迅速で且つ豊富なこと、土地の廣大であり、國情がかゝる輸送機關を必要としたこと、製造業者が極めて安價にこれを市場に提供することに成功したこと、ガソリンの供給が豊富で、價格の低廉であるため、運轉に多額の費用を要しないこと等々が挙げられる。

この自動車工業の中心地はミシガン州のデトロイトであつて、米國に於ける自動車の約七割は同地に於て製造され、有名な自動車會社は殆んどこゝに集まつてゐる。かのフォード會社もその一つであり、その敷地はハイランド・パーク工場が二百七十八エーカー、ハドソン工場が千二百七十八エーカー、合計千六百五十六エーカーに及んでゐる。而してこれに幾多の壯大な建物が並列し、それが車輪工場、車軸工場、螺旋工場、車體工場、ハンドル工場等の幾多の専門部に分たれその各々が何れも立派な獨立の工場になつてゐるのだ。蓋し、フォード會社の特色は、第一に作業が非常によく分業化せられ、而もその協力が最も完全に行はれてゐることであつて、最後の組立作業の如きは、最も目醒ましいものである。

第二は職工を優待することであつて、この點に於てフォードは實に米國工業界の模範をもつて目せられてゐるのだ。

フォードの新政策 即ち一九一四年にフォード氏は、他の資産家が未だ労働者優遇の問題につき少しも氣付かなかつた際、率先して一日八時間労働、賃銀五ドルを發表して、大いに世人を驚かし、更に一九二六年に至り、一週五日間労働の例を開き、而も賃銀は從來の六日分に相當する

金額を支給し、その他にも種々な特典を與へたが、かういふ大膽な政策は、從來他の工場主等の夢想だにも思はなかつた所である。彼等にとつては實に青天の霹靂とも言ふべきものであつた。

而もフォード氏は飽迄も高賃銀、能率増進大量生産賣價の低廉をその目的とし、これに向つて最も勇敢に猛進したのである。右につきフォード氏の意見として傳へられるところによれば「職工に對しその給与を豊かにすることにより、その作業を壓迫することは、その能率を増進する最善の方法である。収入が豊富で時間に餘裕を生ずる時は、それが直ちに彼等の消費を刺戟し、購買力となつて現はれる。

故に事業を最も賢明に支配する方法は、労働者に高率の給料を與へることにより、その能率を増進せしむるにある。かくすれば資産家は減少し、物價は下落し、労働者に人生を樂しませ、彼等に時間と資本とを得させることが出来る」云々と云つてゐる。以てフォード氏が如何に進歩的頭腦の持主であるか推察することが出来る。

さればフォード氏はかくして職工を信じ、職工はフォード氏を信じ、その結果勞資の協調が極めて円滑に行はれ、工場の能率が百パーセントの成績を擧げてゐるのであるが、而もこれによつ

て利益をうけるのは獨りフォード氏と職工のみではない。現にフォード氏が新政策を採用して以來、米國工業界の受けた刺戟は甚大なものであつて、工場主等はこれによつて、新しい教訓をうけ、勞資の利害の共通することを悟り、所謂フォード主義なるものが全米を風靡し、米國勞働界を裨益したこれには實に計り知るべからざるものである。況んや同氏の大量生産の成功は、一般をして自動車の使用の容易たらしめ、その社會的活動と、生活の向上等を助けることに於て甚大な効果のあつたことは世人の等しく認むるところであつて、世界が舉げて同氏の手腕を賞し、その徳を讃へるのは實に故ありと言ふべきであらう。

時代の寵兒映畫工業 現在時代の尖端を走るものは實に自動車と映畫である。されば自動車工業に就て大略の情勢を示した我等は、映畫工業に就てこれを默過するわけにはゆかない。蓋し世界に於ける映畫の發達は僅かに二十五年にすぎないが、その流行の旺んなことは實に驚くべき程であつて、如何なる寒村に於ても、數百の人口あるところには必ず一軒の活動寫眞館を見るやうな有様であつて、その數が全米國を通じて數萬に上り、その觀覽席は千數百萬を以て數へられ、一週間の平均觀客一億七千萬人以上、一ヶ年の數少くとも百萬、この入場料三十億ドルに達す

ると稱されてゐる。以て米國の映畫事業が如何に偉大なものであるかを知ることが出来る。

さればこれの製作のために、投ぜられる資金は少くとも二十億ドルに達するといはれ、これに劇場側の投資を加へる時は、その總額數十億ドルに達することは想像するに難くない。

映畫の都ハリウッド

映畫の製作地はこれを大別して三地方に區別することが出来る。即ち、

(1) 東部地方——ニューヨーク、ニュージャシー、フロリダ、(2) 西北部地方——北カリフォルニア、ワシントン、オレゴン、(3) 西南部地方——ロスアンゼルス附近であつて、全製作高の八割半乃至九割は右のロスアンゼルス殊にハリウッド區に於て製造せられるのである。これロスアンゼルスまたはハリウッドを映畫王國と稱し、また活動寫眞市と呼ぶ所以であつて、活動寫眞のあるところには必ずその名が聯想されてゐる。ロスアンゼルスに活動寫眞製作の旺んなのは主として同地の氣候、空氣、及び地理的關係に原因するのであつて、その第一が、空氣の透明なことであり、第二は降雨の少きことであり、第三は背景となるべき地形の豊富なことである。

蓋し空氣の透明なのは寫眞技術の成功に最も必要なる條件であり、降雨の少きことは、技術上にも、經濟上にも極めて重大な關係がある。殊に近傍に各種の自然の背景を有することは、映畫

の製作に缺くべからざる要件である。而してこれ等の條件を最も完全に備へたものは即ちロスアンゼルスであつて、この近傍は常に快晴が續き、雨天及び曇天は一ヶ年中僅かに三十日位にすぎないのみならず、同郡内及び、縣外數十マイルのところは、砂漠もあれば海岸もあり、平野、高山、河川、溪谷、森林もあり、熱帯、寒帯の景色、その他あらゆる寫眞の背景が兼ね備はつてゐる。居ながらアフリカ、アラスカその他の地方の寫眞を自由に撮ることが出来るやうになつてゐる。而もロスアンゼルスそれ自身が米國有數の大都會なるため、物資の供給が自由であつて、活動寫眞の製作には、實に理想地と言ふべきである。

主なる撮影所 米國に於ける有名な映畫撮影所は大抵ロスアンゼルス方面に集つてをり、ハリウッド區にはパラマウント、ユナイテッド、アーテイスト、ファースト・ナショナル、フォックス、ワーナー・ブラザース、ユニヴァーサル。シテイには、ユニヴァーサル撮影所があり、カリヴァー。シテイには、メトロ・ゴールドウイン、メーアー等の各撮影所等があり、これ等の大撮影所が、次から次へと並列し、何れも驚くべき壯大な設備を有してゐる。

尤もこれ等の外に、名もなき小資本の撮影會社が無數にあり、中には一臺のカメラを所有し、

日々の出來事を撮影して廻る種類のものが少くない。

映畫の製作とその費用 映畫の製作に最も重要なものは、脚本の選定である。これは大部分社外から買入れるものであるが、先づ會社の脚本部に於て小説または舞臺劇につき、會社のスター及び監督に適當なものを選定し、その映畫権を買ひ、これを映畫脚本化するのであつて、初めから映畫向き脚本の形をしたものを買入れ、または脚本部で創作することは極めて稀だと言はれてゐる。尤も監督又はスターが自己の欲するものを選定し、脚本部に推薦することもないではないが、然し何れにしても、最後の決定には、重役、營業部、配給部等の許可を要することになつてゐる。然し小説または脚本の映畫権はかなり高價であつて、普通は五百ドルから千ドルであるが、多少名のある文士の作品となると一、千ドル以上に上り、中には數萬ドルから十五萬ドルに上るものもあると言はれてゐる。

次に俳優の給料はどの位かと言へば、これも最高から最低には非常な隔たりがある。高給のスターの受ける給料は一週二千ドル乃至一萬ドルであつて、スターとまでは行かなくても相當名のあるものならば週給三百ドル乃至一千ドル位與へられ、臨時雇は最低五ドル最高三十ドルの日給

を與へられてゐる状態であり、如何に米國映畫界にあるものが惠まれてゐるか、知れよう。

映畫の副業 茲に附言したいことは、ロスアンゼルスに映畫製作が盛んになるに連れ、映畫と直接または間接に關係を有する事業も極めて盛んになつてゐることである。例へば最も顯著な副業として小道具、衣裳植木の貸借、人足の供給、庭園設計等の事業であつて、撮影所から電話があれば、即座に數百數千の馬匹、人足、それに伴ふ衣服、小道具等が供給され、それが忽ち戰場の兵士となり、街上の群集となり、または大宴會場の紳士、淑女ともなるので、その組織の完備したること、大規模なことには、驚嘆せずにはゐられない。

愛蘭人と猶太人の勢力 最後に米國映畫界の特異性として二つが擧げられる。それはアイルランド人とユダヤ人とが勢力を有してゐることであり、アイルランド人には名優が多く、映畫製作者劇場主は殆んど總てユダヤ人であることだ。即ちピツクフォード、クーガン、オプライエン、ギツシュ、バリモア等何れも生粋のアイルランド人であり、フォックス、ゴールドウイン、メカー、ワーナー等の有名な映畫製作業者、監督、劇場主等は例外なしにユダヤ人である。これを見ても兩人種が現在でも如何なる方面に勢力を有してゐるかを知らることが出来る。

大仕掛のシカゴ屠牛 最後に、米國の産業のうち、最も見物なのは、シカゴの屠牛である。最近の調査によると、米國に於ける肉の總生産額は百十三億二千萬ポンド、その製造高三十億ドルに達し、これに従事する労働者の数は約十二萬人、動力の使用高は四十九萬馬力、賃銀支拂高は一萬六千萬ドルに上つてゐる。

この事業の中心地はシカゴであつて、屠殺される家畜の集る数は實に驚くべき高に上つてゐる。概略一ケ年に六千三百五十頭、豚八百五十萬頭、犢七十五萬頭、羊五百萬頭に上り、それ等を飼産するための設備である。秣入が全長二十五マイル、水桶が二十マイルに達するのを見てもその大きさが想像されよう。

シカゴの屠牛中最も大なるものはスイフト會社の屠牛場であつて、正に世界第一である。社長スイフト氏は少年の頃父から二十ドルの金を貰ひ、それを資本として、一頭の牛を買ひ、それを肉にした牛に替へ、同様のことを繰返しつゝ次第に資産を作つたのである。今日では、一日に少なくとも牛五千頭、豚八千頭、羊一萬頭位は屠殺し、これを包装してゐるが、その年産額約十億ドルに達し、二萬人近い労働者を使用してゐる。

この驚くべき屠場の光景を見物しようとして、シカゴを通過する旅客は、必ずこゝに足を停めて概観を見物するのが常である。そのため、場内はいつも観覽者によつて充たされてゐるのだ。會社へ行つて見物の許可を願ふと、案内人が數人を一組とし、場内の要所、要所を案内するが、最初の場所では、家畜が自動運搬器に乗せられて來ると、職工が四肢を縛して自動的に次へ送るかうして待ちうけた屠者の手に斃されると、直ちに次へ送られ、皮を剥ぐ。そして見てゐるうちに手足は離され、臟腑が摘出される、殆んど一分の休みもない早さで處理されるのだ。かくて肉はハムとなり、罐詰となり氷藏送りとなるのである。目のあたりこれを見る場合は、いかなる者もその凄慘さに面を覆はずにはゐられない。

軍備

海主陸従主義の米國軍備 半世紀頃までは米國は守勢國防の方針であつた。大統領の統帥權に制限を加へた憲法も、最大の理由は共和の精神ではあるが、一つは積極的對外戰爭を否定する思想も手傳つてゐた。而して陸軍は専ら内亂警察用に、海軍は沿岸の防備に、何れも消極守勢の綱

領の下に置かれてゐるのだ。

南北戰爭の頃五萬であつた常備軍は、米西戰爭の時には三萬に下つてゐた。海軍とても日露戰爭の頃は日本よりも遙かに劣勢であつた。要するに日露戰爭前は「米國に軍備なし」と稱するも大過はなかつた。然るに日露戰爭は兵備の價値と必要を米國に致へた結果となり、一方、米國の外交が積極的となるに従つて先づ海軍力の小擴張が計畫され、陸軍もこれに伴ひ、かくて世界大戰を迎へたのである。それまでの米國は、軍事的には第二流の國に過ぎなかつたのだ。

然るに大戰によつて米國の軍事観は一變した。必然こゝに軍備熱を煽ることになり、反動的、猪進的に擴張が行はれたのである。現在の米國の軍備は、カナダやメキシコに備ふるには餘り大なる陸軍、海岸線や貿易を護るには餘りにも強大なる海軍が整備された。即ち言論による平和主義主義が、武力による平和人道主義に一變したのである。これを戰略的に見れば、守勢より攻勢への變針、防禦より遠征への轉向を明瞭に知らすものである。

斯かる國防方針の轉換の間に、米國が一貫して尊重する戰略方針は海主陸従主義である。現在の米國の富を以てすれば、陸軍十二ヶ師團は小規模の觀があるが、これこそ陸従主義を不言實行